

# 久喜市子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書

平成 26 年 3 月



久喜市

# ○目 次

---

はじめに .....	1
1 調査の実施概要 .....	2
1. 調査の目的 .....	2
2. 実施概要 .....	2
3. 回収結果 .....	2
2 報告書をみるにあたっての注意点 .....	2
第1章 就学前児童調査結果 .....	3
1 お子さまとご家族の状況について .....	4
2 子育てをめぐる環境について .....	7
3 お子さまの保護者の就労状況について .....	17
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について .....	22
5 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	35
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について .....	42
7 病気の際の対応について .....	44
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について .....	49
9 来年度、小学校入学予定の児童を持つ保護者の方にかがいます .....	54
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について .....	59
第2章 就学児童調査結果 .....	71
1 お子さまとご家族の状況について .....	72
2 子育てをめぐる環境について .....	75
3 お子さまの保護者の就労状況について .....	82
4 放課後の過ごし方について .....	87
5 児童センター・児童館の利用について .....	92
6 病気の際の対応について .....	96
7 一時預かりの利用について .....	99
8 子育て支援施策について .....	105

はじめに

# 1 調査の実施概要

## 1. 調査の目的

本調査は、平成 26 年度に「(仮称) 久喜市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたっての基礎資料を得るため、子育てをしている市民の子ども・子育てに関する生活実態、教育・保育事業の利用状況や利用意向、その他子育て施策全般に係るご意見、ご要望を把握することを目的として実施しました。

## 2. 実施概要

- ◇ 調査地域： 久喜市全域
- ◇ 調査対象者： ①就学前児童とその保護者 3,000 件  
②小学 1・2 年生児童とその保護者 1,000 件  
※ともに平成 25 年 9 月 1 日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 平成 25 年 9 月 26 日～10 月 14 日
- ◇ 調査方法： 郵送配布・郵送回収（督促状発送 1 回）

## 3. 回収結果

調査種類	配布件数	回収件数	回収率
①就学前児童	3,000	1,765	58.8%
②就学児童	1,000	616	61.6%
合計	4,000	2,381	59.5%

## 2 報告書をみるにあたっての注意点

- 1 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- 2 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しています。そのため、その合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は 100%を超える場合があります。
- 4 図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 5 選択肢の語句が長い場合、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合があります。
- 6 クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目の「無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
- 7 クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸の中で最も数値が多いセルは （色塗り）、2 番目に多いセルは （太枠）としています。

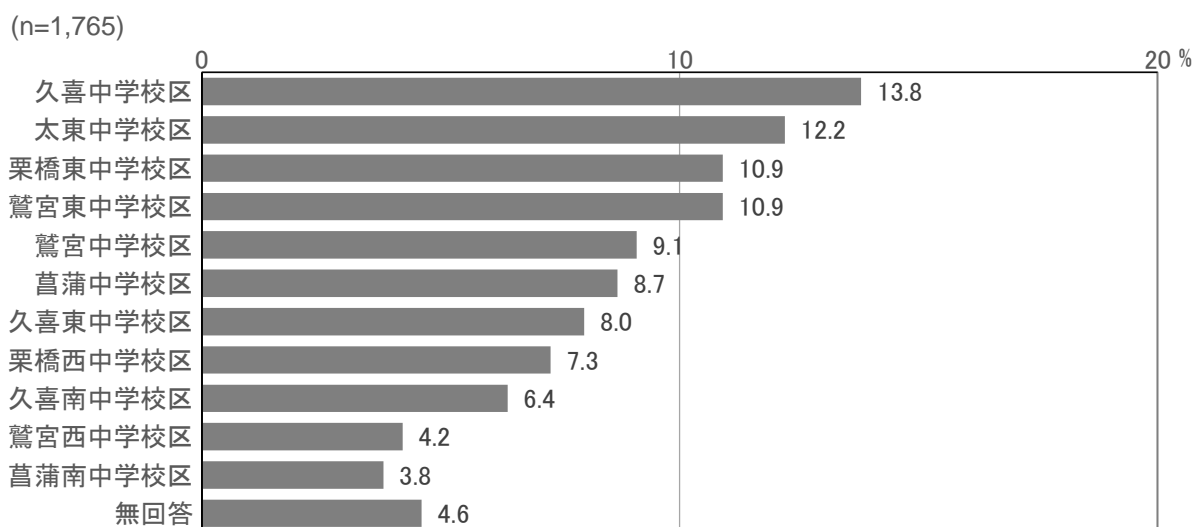
# 第 1 章

## 就学前児童調査結果

# 1 お子さまとご家族の状況について

## 問1 お住まいの地区はどちらですか。(単数回答)

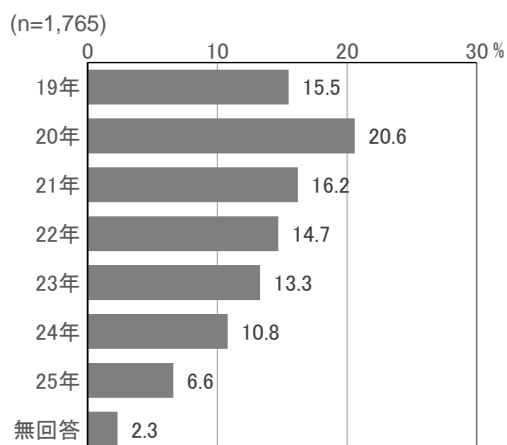
お住まいの地区は、「久喜中学校区」が13.8%で最も高く、次いで「太東中学校区」が12.2%、「栗橋東中学校区」と「鷺宮東中学校区」がともに10.9%となっています。



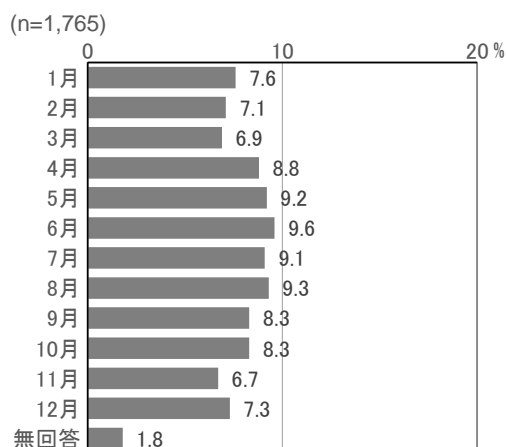
## 問2 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。(数量回答)

生年月から換算した宛名のお子さまの年齢は、「5歳」が20.8%で最も高く、以降年齢が低くなるごとに割合も低下していきます。また、「6歳」は8.5%となっています。

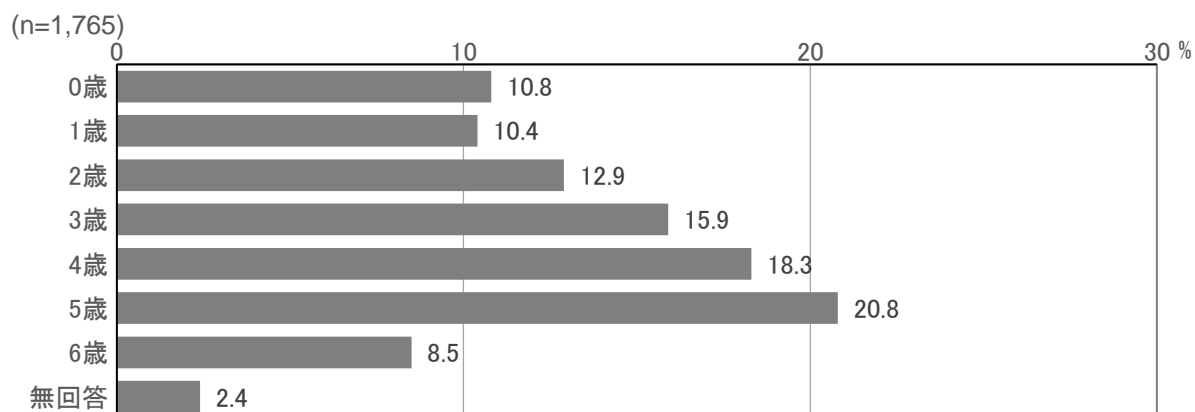
### 〔生まれ年〕



### 〔生まれ月〕



〔年齢（基準日：平成 25 年 9 月 1 日）〕



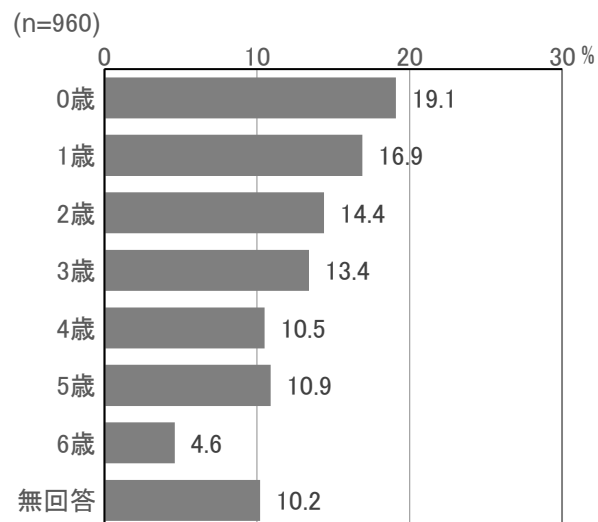
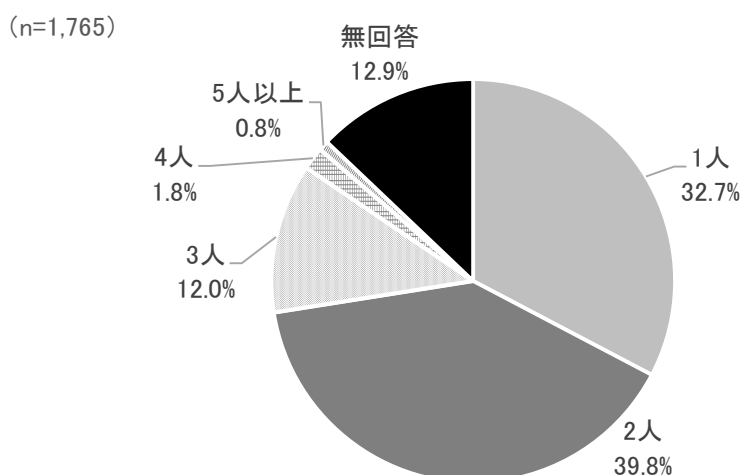
**問3 宛名のお子さまのきょうだいは、何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さまがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。（数量回答）**

お子さまのきょうだいの人数（宛名のお子さま含めた人数）は、「2人」が39.8%で最も高く、次いで「1人」が32.7%となっています。

末子の年齢は、「0歳」が19.1%で最も高く、以降「1歳」が16.9%、「2歳」が14.4%となっています。

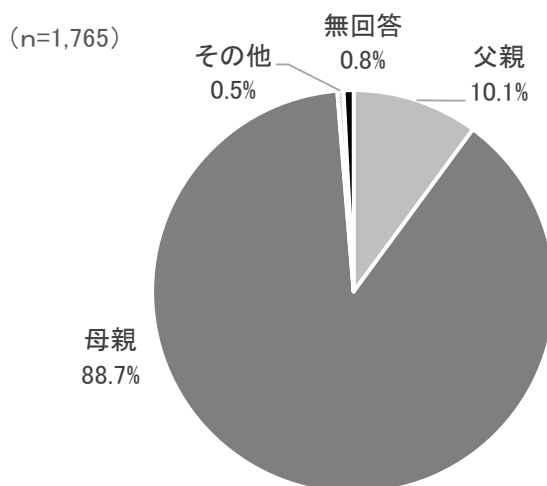
〔きょうだい数〕

〔末子の年齢（きょうだい2人以上のみ）〕



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。(単数回答)

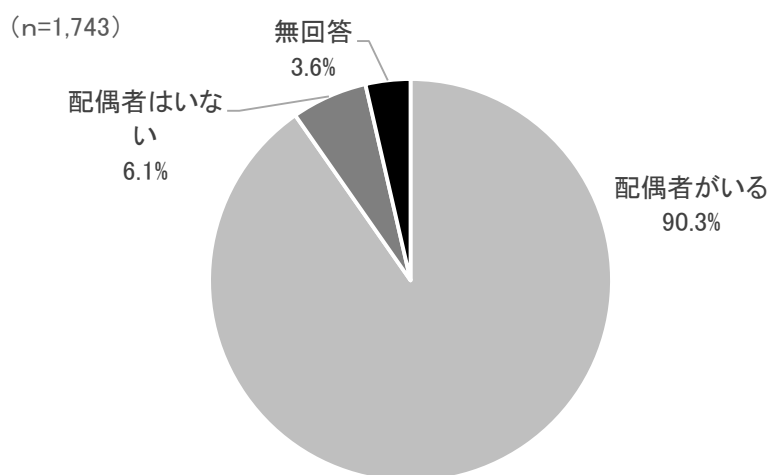
調査票の回答者は、「母親」が88.7%で多数を占めており、「父親」は10.1%となっています。



※問4で「父親」、「母親」と回答した方

問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(単数回答)

調査回答者(お子さまの保護者)の配偶関係については、「配偶者がいる」が90.3%で多数を占め、「配偶者がいない」は6.1%となっています。

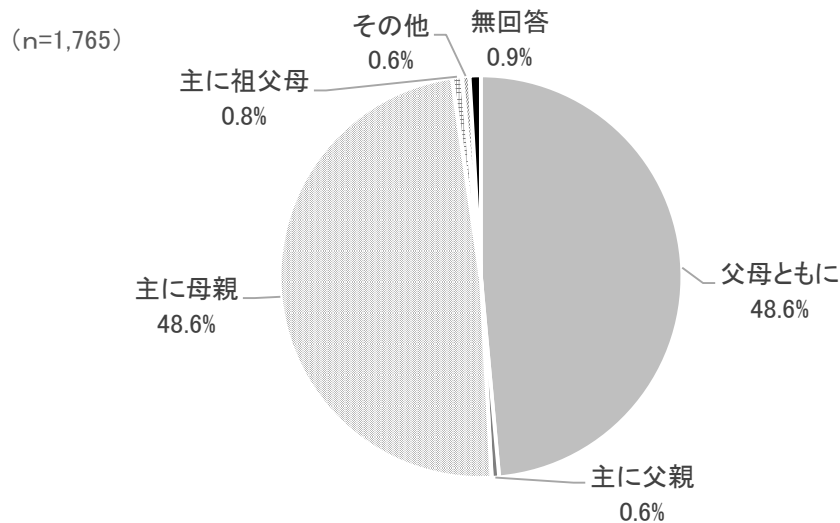




**問6 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。（単数回答）**

お子さまの子育てを主に行っている人は、「父母ともに」と「主に母親」がともに48.6%で2分する結果となっています。「主に父親」は0.6%となっています。

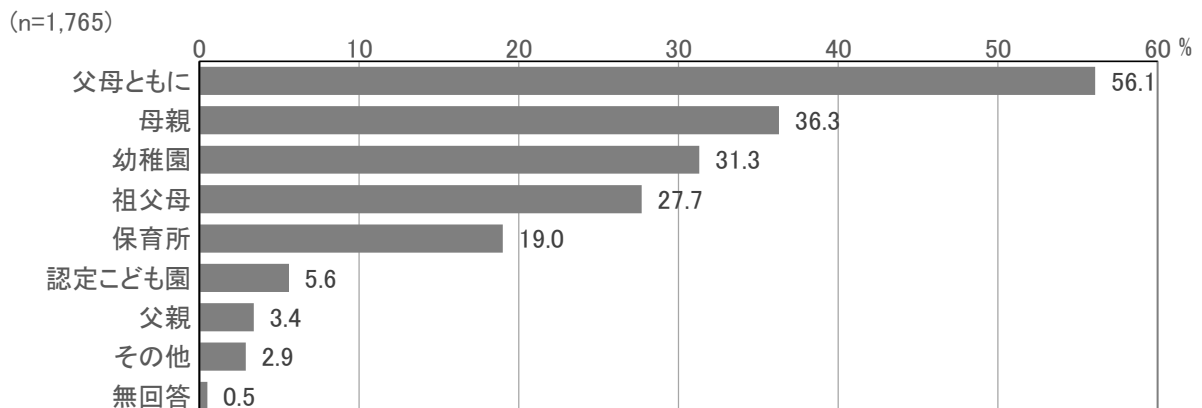
「父母ともに」が約半数となっていますが、「主に母親」も半数の割合となっており、母親に子育ての負担が偏っている家庭が多いことがうかがえます。



## 2 子育てをめぐる環境について

**問7 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。（複数回答）**

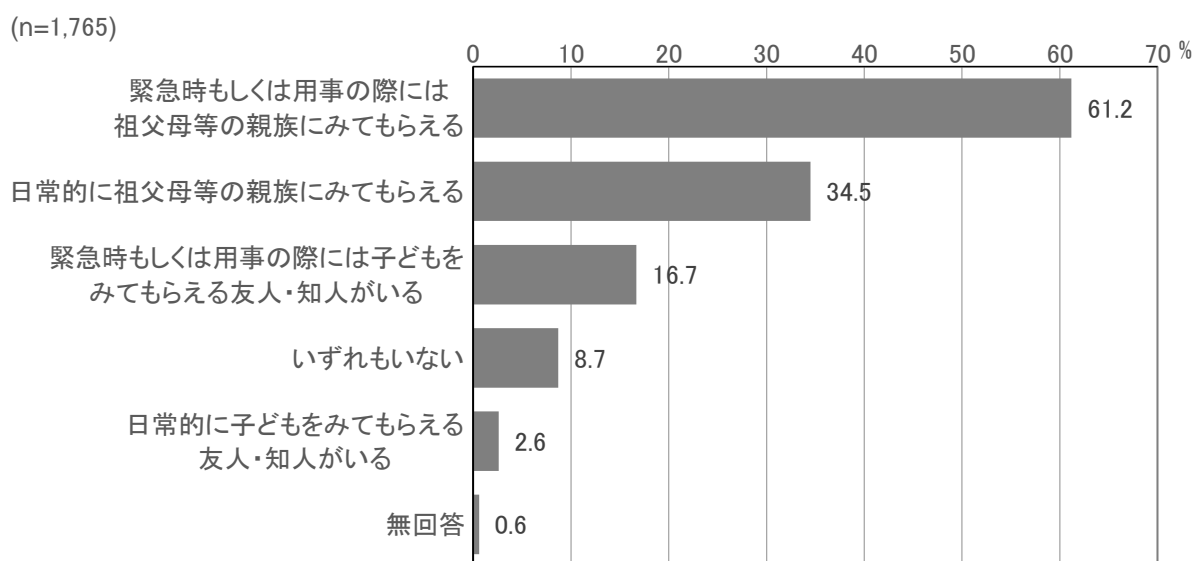
お子さまの子育てに日常的に関わっている人（施設）では、「父母ともに」が56.1%で最も高く、次いで「母親」が36.3%、「幼稚園」が31.3%となっています。問6の結果に引き続き、父親と母親の差が顕著となっています。



**問8 日頃、宛名のお子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)**

日頃、お子さまをみてもらえる親族や知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.2%で半数を超える割合となっています。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.5%で次いで高くなっており、子育てにおける親族の関わりがうかがえます。

多くの方が日常的に、もしくは緊急時等に親族や友人にみてもらえると回答していますが、「いずれもない」に8.7%の回答があり、潜在的に支援を必要としている家庭と考えられます。

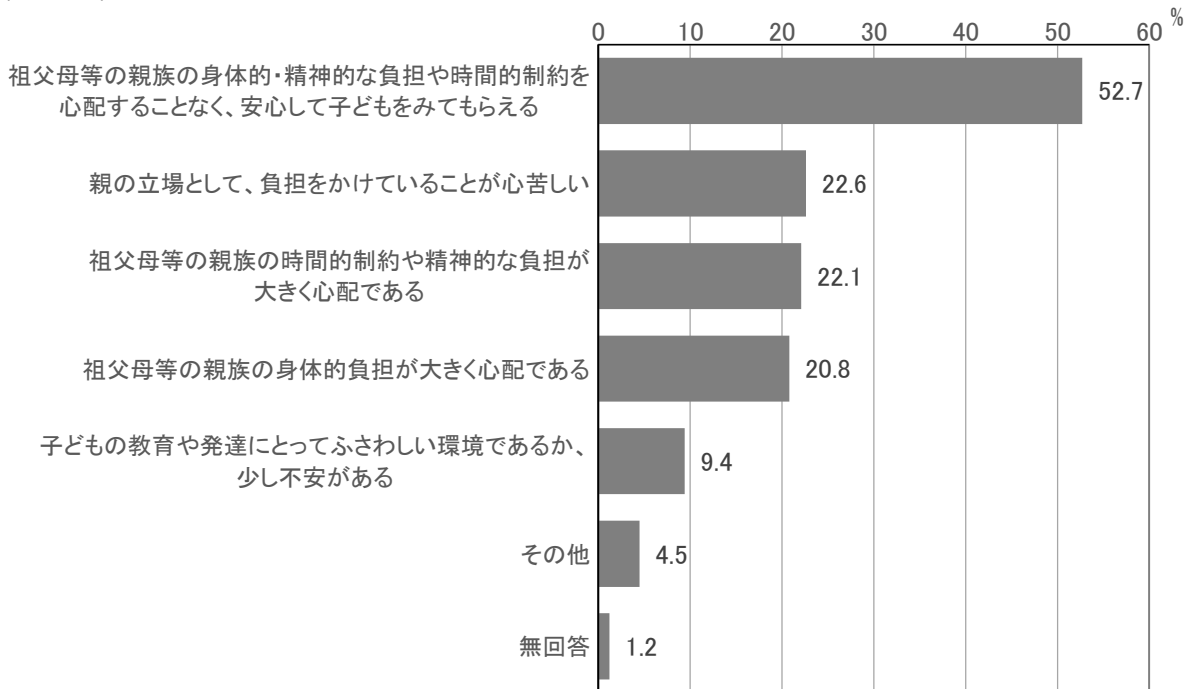


※問8で「祖父母等の親族にみてもらえる」を選択した方

問8-1 祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。  
(複数回答)

祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況は、「安心して子どもをみてもらえる」が52.7%で半数以上となっています。次いで、「負担をかけていることが心苦しい」が22.6%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が22.1%となっています。

(n=1,560)



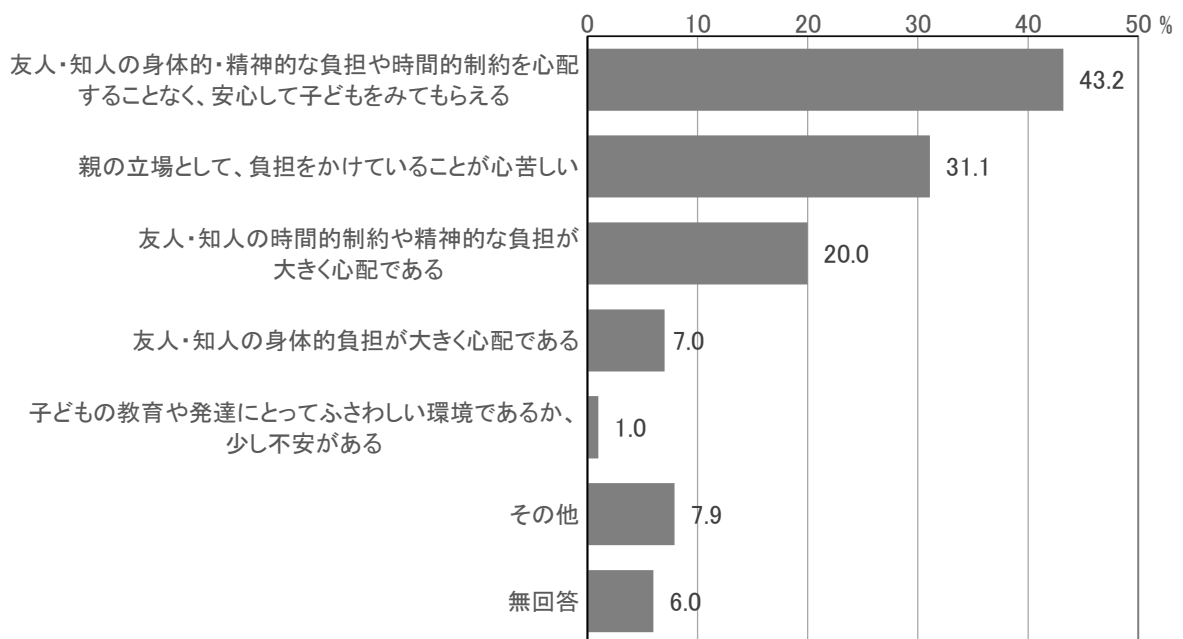
※問8で「友人・知人にみてもらえる」を選択した方

問8-2 友人・知人にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

友人・知人にお子さまをみてもらっている状況は、「安心して子どもをみてもらえる」が43.2%で最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が31.1%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が20.0%となっています。

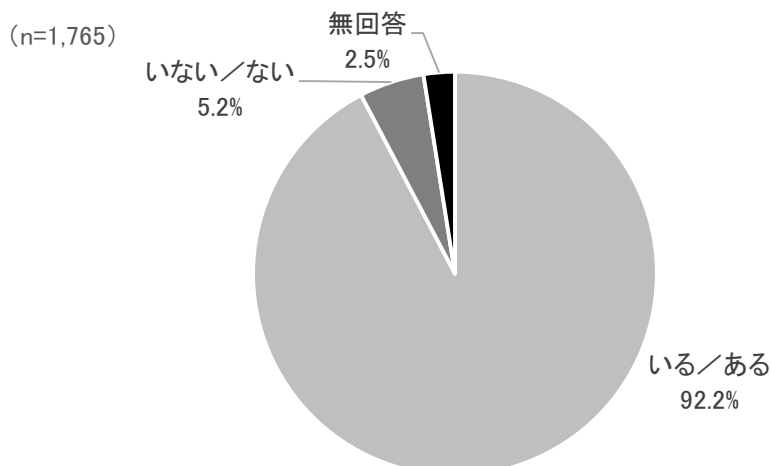
問8-1の祖父母等の親族にみてもらっている状況に比べると、「安心して子どもをみてもらえる」の割合が10%近く低く、友人・知人に何らかの負担をかけていることに対して心苦しきや心配を感じている親が多いことがうかがえます。

(n=315)



問9 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(単数回答)

相談相手(場所)の有無は、「いる/ある」が92.2%で多数を占めており、「いない/ない」は5.2%となっています。



※問9で「いる／ある」を選択した方

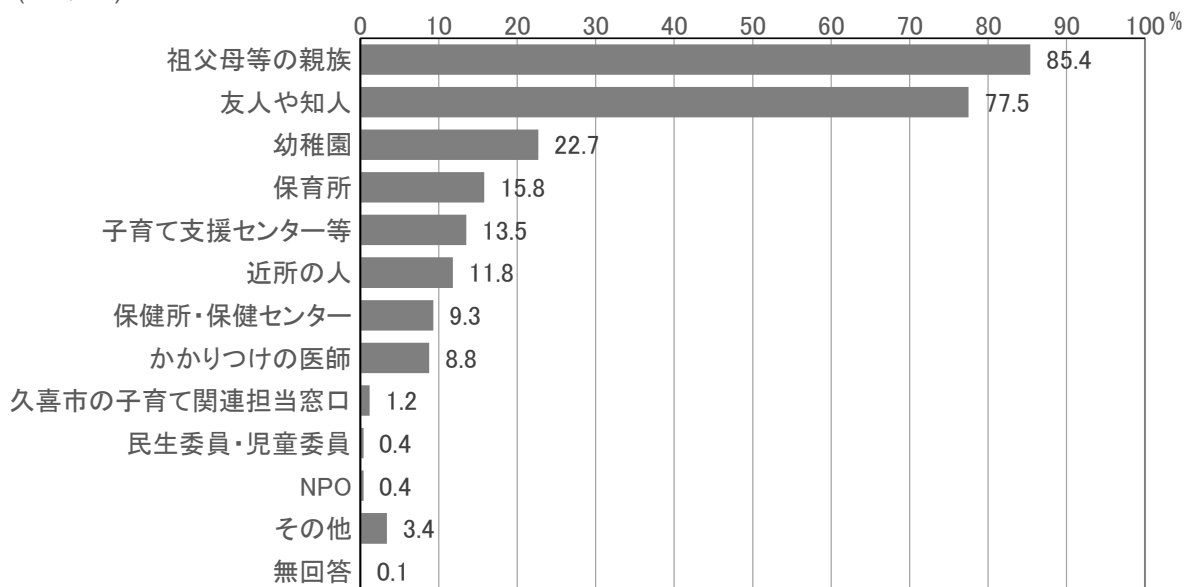
問9-1 お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

相談相手（場所）は、「祖父母等の親族」が85.4%で最も高く、次いで「友人や知人」が77.5%とこの2項目の割合が高くなっています。次いで「幼稚園」の22.7%、「保育所」の15.8%、「子育て支援センター等」の13.5%と、子どもに関連する施設の割合が高くなっています。

定期的な教育・保育事業の利用別にみると、「祖父母等の親族」と「友人や知人」は利用の有無に関わらず回答が上位2項目となっています。また、利用者では「幼稚園」と「保育所」、未利用者では「子育て支援センター等」がそれぞれ2割以上となっています。

子育ての相談相手として「祖父母等の親族」や「友人・知人」の存在は大きいことがうかがえます。また、教育・保育施設利用者は、その利用先の施設の存在が大きいことがうかがえ、教育・保育施設の未利用者においては「子育て支援センター」の存在の大きさがうかがえます。

(n=1,628)



◇定期的教育・保育事業利用（問14）別

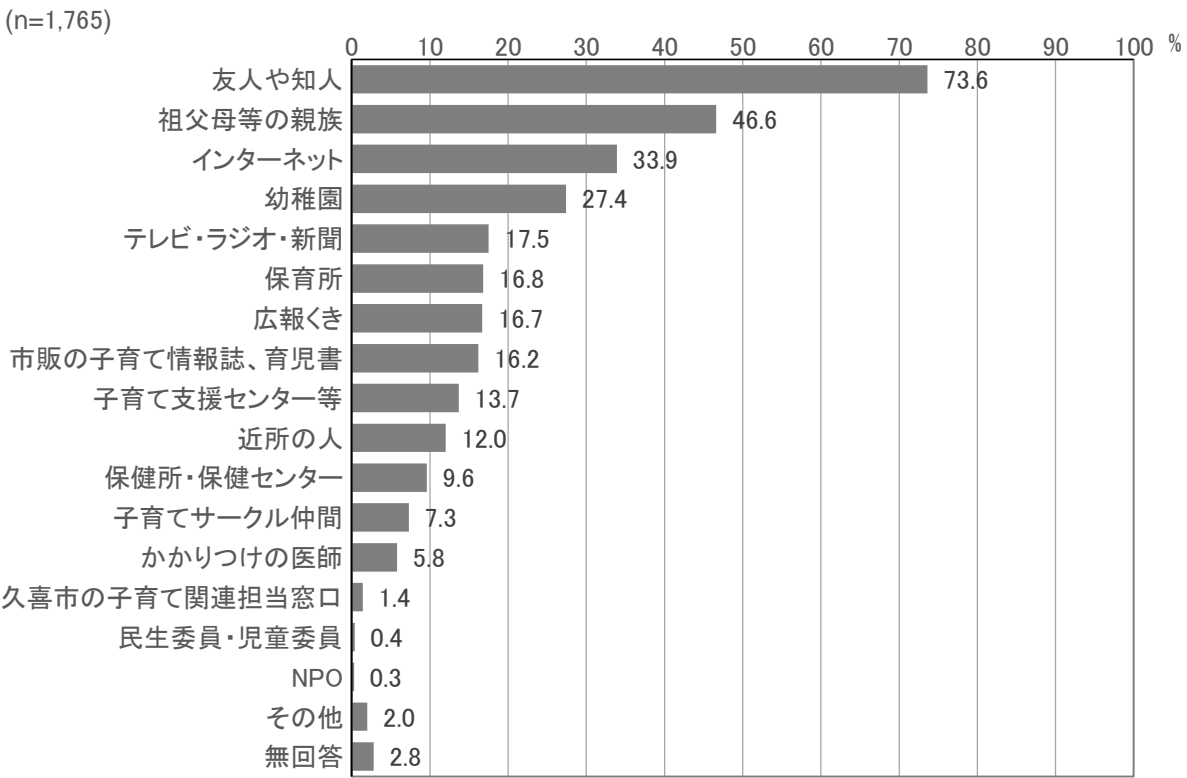
		表示: %													
	n	親 祖 族 父 母 等 の	友 人 や 知 人	近 所 の 人	児 民 童 生 委 員 ・	の か 医 師 か り つ け	幼 稚 園	保 育 所	セ 子 ン 育 タ ー 支 援	N P O	健 保 セ 健 ン セ タ ン タ ー ・ 保	当 育 久 窓 市 口 関 連 の 担 子	そ の 他	無 回 答	
利用している	1,079	82.8	79.4	12.0	0.2	8.6	33.1	23.5	8.1	0.4	7.4	1.4	4.2	0.2	
利用していない	533	90.6	73.7	11.3	0.8	8.8	1.9	0.2	24.2	0.4	13.1	0.6	2.1	-	

**問 10 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。(複数回答、3つまで○)**

子育てに関する情報の入手は、「友人や知人」が73.6%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が46.6%と、上位2項目は問9の相談相手と同様に割合の高い項目となっています。次いで「インターネット」が33.9%、「幼稚園」が27.4%となっています。

定期的な教育・保育事業の利用別にみると、「友人や知人」と「祖父母等の親族」は利用の有無に関わらず回答がそれぞれ上位2項目となっています。また、問9-1の相談先の結果と同様に、利用者では「幼稚園」や「保育所」、未利用者では「子育て支援センター等」の回答がそれぞれ2割以上で多くなっているほか、未利用者では「市販の子育て情報誌、育児書」や「インターネット」の回答が、利用者比べて多くなっています。

問9-1の結果と同様に、子育ての相談相手として「祖父母等の親族」や「友人・知人」の存在は大きいことがうかがえます。また、教育・保育施設利用者の利用先の施設、教育・保育施設の未利用者における「子育て支援センター」の存在の大きさがうかがえます。



◇定期的教育・保育事業利用（問14）別

	n	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	子育てサークル仲間	幼稚園	保育所	子育て支援センター等	NPO	保健所・保健センター	久喜市の子育て関連担当窓口	広報くき	市販の子育て情報誌、育児書	インターネット	テレビ・ラジオ・新聞	その他	無回答
利用している	1,167	43.0	77.3	12.3	0.2	5.5	5.6	39.5	24.8	7.5	0.2	6.9	1.6	17.0	12.5	29.1	17.9	1.9	2.9
利用していない	580	53.8	66.2	11.4	0.7	6.4	10.5	3.6	1.0	25.7	0.5	15.0	0.9	16.2	24.1	43.4	16.7	2.2	2.4

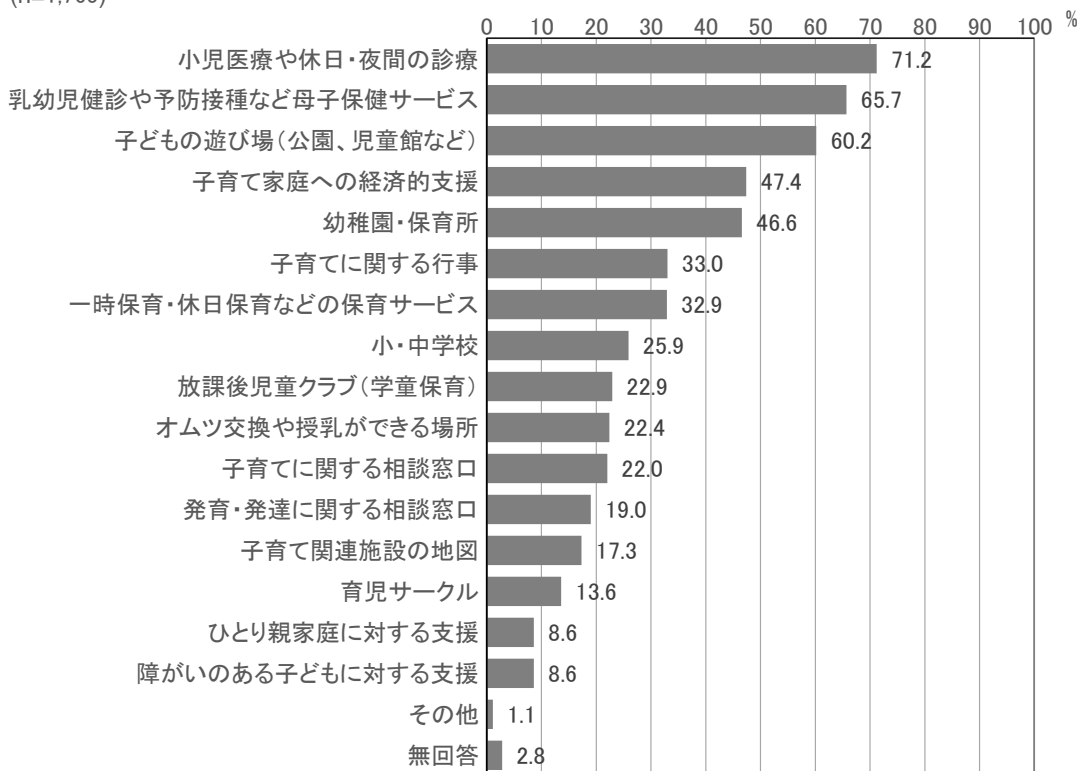
**問 11 子育てに関する情報について、どのような情報が必要ですか。(複数回答)**

必要な子育て情報は、「小児医療や休日・夜間の診療」が 71.2%、「母子保健サービス」が 65.7% で上位 2 項目は保健衛生に関する項目が占めています。次いで「子どもの遊び場（公園、児童館など）」が 60.2%、「子育て家庭への経済的支援」が 47.4%、「幼稚園・保育所」が 46.6% となっています。

年齢別でみると、「育児サークル」、「子育てに関する行事」、「一時保育・休日保育などの保育サービス」や「オムツ交換や授乳ができる場所」は年齢が低くなるほど回答が多くなる傾向がみられます。

情報の必要度の高い項目は、現状では満足はいく情報を得られていないことも考えられるため、こうしたニーズに対応していくことが課題といえます。

(n=1,765)



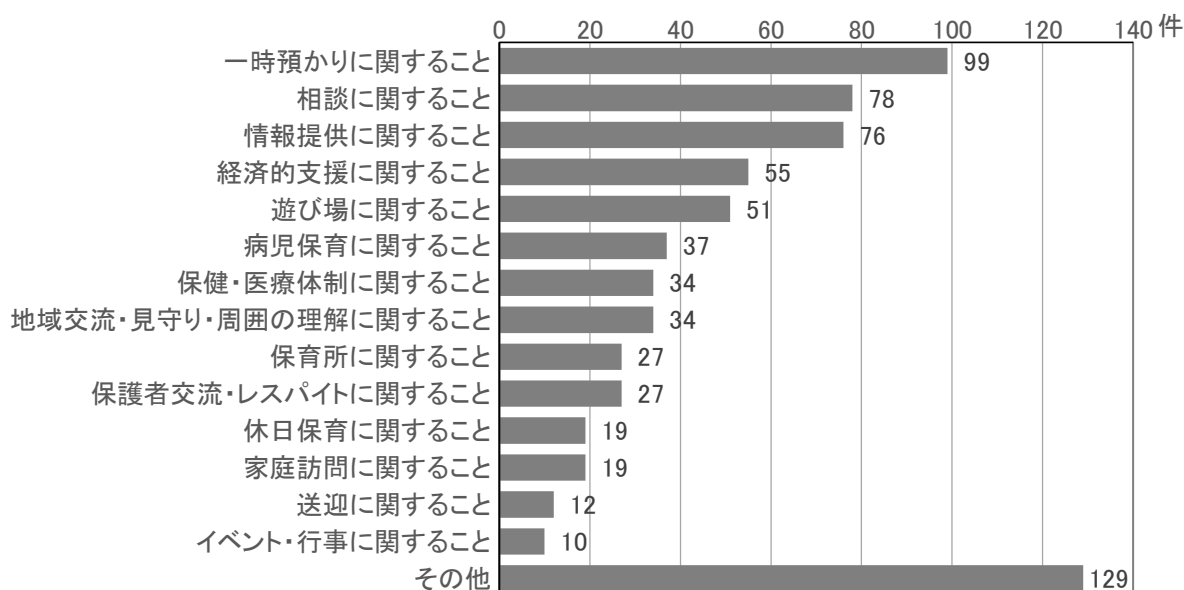
◇年齢別

表示:%

年齢	n	乳幼児健診や予防接種など	小児医療や休日・夜間の診療	子育て家庭への経済的支援	育児サークル	子育てに関する行事	一時保育・休日保育などの保育サービス	オムツ交換や授乳ができる場所	子どもの遊び場(公園、児童館など)	子育てに関する相談窓口	発育・発達に関する相談窓口	幼稚園・保育所	小・中学校	放課後児童クラブ(学童保育)	ひとり親家庭に対する支援	障がいのある子どもに対する支援	子育て関連施設の地図	その他	無回答
0歳	191	77.5	77.0	58.1	28.8	41.9	36.6	48.7	57.6	33.0	25.1	52.4	15.7	14.7	6.3	6.3	20.9	0.5	2.1
1歳	184	73.9	67.9	46.7	13.0	38.0	35.9	27.7	63.0	23.9	23.9	54.9	15.2	13.0	6.5	7.1	18.5	-	2.2
2歳	228	74.1	67.5	47.4	15.8	37.7	32.5	25.4	62.3	21.5	14.5	55.7	13.2	16.2	7.5	7.9	19.7	0.4	1.3
3歳	280	70.0	69.3	53.2	14.6	33.9	32.1	24.3	67.5	23.2	21.8	49.3	20.0	18.2	7.9	8.9	17.1	1.1	2.9
4歳	323	63.2	72.1	45.5	9.9	29.4	34.1	17.0	60.7	20.1	16.7	45.2	31.3	26.9	9.3	8.7	18.0	1.5	4.3
5歳	367	54.0	71.9	39.8	8.7	27.5	30.8	12.0	54.0	18.8	18.0	39.5	39.2	31.9	10.1	10.6	12.8	1.9	2.7
6歳	150	58.7	76.7	48.0	8.0	28.7	28.7	10.7	58.7	16.7	14.0	34.0	37.3	32.0	7.3	7.3	16.7	-	2.7

**問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（自由記述）**

自由記述には、656人（1,765人の37.2%）、延べ707件の書き込みがありました。最も件数の多かった項目は「一時預かりに関すること」で99件、次いで「相談に関すること」が78件、「情報提供に関すること」が76件となっています。



※10個以上意見のあった項目を掲載、それ以下のものは「その他」にまとめて集計しています。

以下に、それぞれの項目の主な意見を抜粋して掲載します。

**◇一時預かりに関すること**

- ・急な用事等で子どもを気軽に預かってもらえるサポートが身近にあればもっと良い。
- ・気軽に低価格な一時的に子どもを預けられる所があれば母親がもっと働けると思います。
- ・特別緊急の場合以外にも気軽に数時間、子どもを預けられるような所があると助かります。
- ・家の中だけで子育てをしていると親も子どもも視野が狭まり息詰まってしまう。仕事以外でも様々な用事のある時に手軽に安心して子どもを見ていただけるシステムがあると良い。
- ・自分が体調不良等、世話をできない時に、見てもらえれば安心できる。
- ・乳児期は手が離せないので一時保育を数回やってもらえると嬉しい。

**◇相談に関すること**

- ・気軽にどんなささいな事でも相談できる環境。
- ・しっかり相談にのれる人を置いてほしい。
- ・発達が遅れ気味の子どもの相談をしやすい所があまりなかったので、そういう場所や機会が増えると親の不安が解消されると思う。
- ・子育てに対する疑問や不安、心配事などに対して気軽に相談できる場所がもっとあればいい。また、相談にのるだけでなく、必要に応じて病院や支援出来る場所を紹介して、その後のフォローもしてほしい。
- ・特に相談する事がなくても、子どもの日常的な事を聞いてくれる場があると良いと思います。



### ◇情報提供に関すること

- ・幼稚園選びの際、情報収集がうまくできず困りました。見学に行きたくてもなかなか難しいのでホームページを充実してほしい。
- ・子どもと遊べる場所（公園や公共ではない施設なども）をまとめた情報サイトがあると助かる。
- ・子育て+産後のママのケアも含め、もっといろいろな情報があると、また、教えていただく場があると助かります。
- ・月齢に合った行事など、広報を見ないと分からない事があり、見落としてしまうこともあるため、郵送してお知らせしてほしい。
- ・子どもと一緒に参加出来る行事や、おすすめの場所等をメールや手紙などで伝えてもらえるとうありがたい。

### ◇経済的支援に関すること

- ・幼稚園や保育所の費用の援助、もしくは減額。
- ・子どものオムツ、ミルク代が安くなれば良い。
- ・出産後のベビーベッドレンタル、ベビーシートレンタルが無料でできたら良い。

### ◇遊び場に関すること

- ・子どもが自由かつ安全、安心して遊べる場所がほしい。
- ・雨の日でも思いっきり遊べるような場所が近くにあるといい。
- ・遊具などが充実した公園が無いので子どもの遊び場に困っています。

### ◇病児保育に関すること

- ・当日でも病気の子を少しの時間、預かってほしい。
- ・子どもが病中、病後になった時、子どもをみてもらえる環境が今よりあると嬉しいです。
- ・病児保育がもう少し手続きがしやすく、利用しやすい環境がほしい。

### ◇保健・医療体制に関すること

- ・予防接種を忘れてしまいがちなので、通知があると助かります。
- ・小児医療の充実（特に休日、夜間において）。
- ・予防接種をもっと無料でできるようにしてほしい。

### ◇地域交流・見守り・周囲の理解に関すること

- ・お互い様なお付き合いができる人たちが身近にいてサポートしあえたら、ちょっと買い物、とかの間、子どもをみてもらえると助かる。
- ・子どもが安心、安全に学校等へ行けるよう登下校時の付き添いサポートをしていただきたいです。
- ・買い物に出かけた際、袋詰を手伝ってくれたり、重たい物を持ってくれたり、気軽に話しかけてくれるような環境だと、とても助かります。

### ◇保育所に関すること

- ・保育所に入りたけれど入れない状態なので、待機児童がなくなるようにしてほしい。
- ・第二子を妊娠し、育休に入ると退園しなければならない制度をなくしてほしい。
- ・保育所に0歳クラスからも入りやすくしてほしい。

### ◇保護者交流・レスパイトに関すること

- ・子どもと一緒にでも母親がリラックス、リフレッシュできる時間があつたらいいなと思います。
- ・もう少し近場で子どもと親との交流の場をつくってほしい。
- ・相談等はママ友など身近な人の方がしやすいので、子育てサークルの様な所で知り合う機会があると、子どもが成長してからも付き合いが続き、相談もできると思います。

### ◇休日保育に関すること

- ・保育所の土曜日半日、休日等の営業。
- ・幼稚園での祝日保育。

#### ◇家庭訪問に関すること

- ・子どもがいる家庭への定期的な家庭訪問（助産師、保健師、保育士等）。来ていただけるのは母親の負担も軽くなる。
- ・行政担当者からの定期的な訪問、電話など、話を聞いてもらえるサポートが増えたら良いと思います。

#### ◇送迎に関すること

- ・子どもが病気になった時の保育所へのお迎え。
- ・車が無いと予防接種とかに行けないので、シャトルバスとか送迎のようなものがあるとよいと思う。

#### ◇イベント・行事に関すること

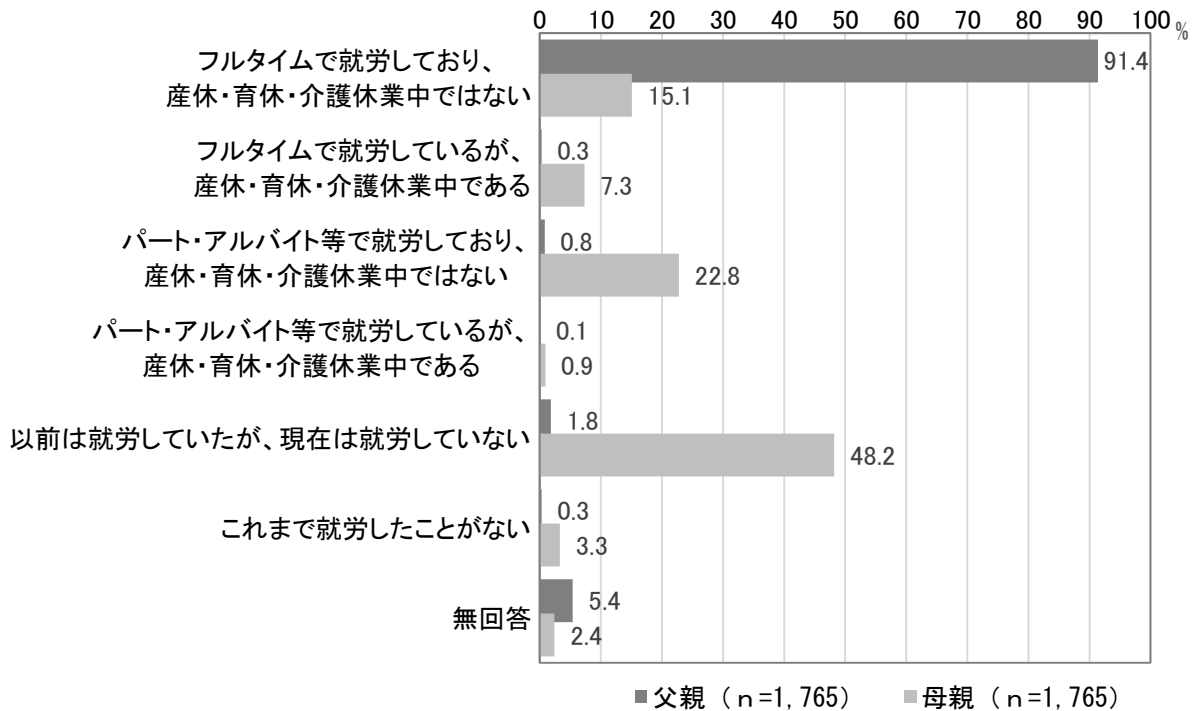
- ・児童センター主催のバス旅行や遠足等の土、日、祝日のイベントをもう少し多くやってくれれば楽しいのに、と思います。
- ・同年齢の子どもたちが集う事ができるイベントをもっとたくさん増やしてほしい。

### 3 お子さまの保護者の就労状況について

問 13 宛名のお子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

父親の就労状況では、「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が 91.4%で多数となっています。

母親の就労状況では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 48.2%で最も高くなっており、「これまで就労したことがない」の 3.3%と合わせて5割が現在就労していない状態であることがうかがえます。次いで、「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」が 22.8%、「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が 15.1%となっています。



※問 13 で「就労している」を選択した方

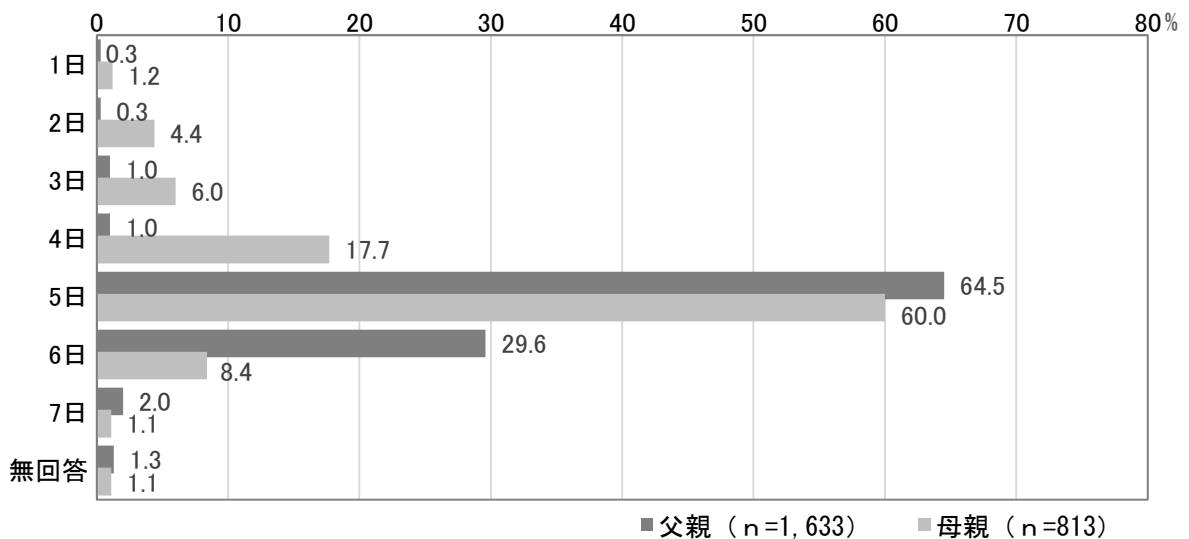
問 13 ①-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数量回答）

週当たりの就労日数は、父母ともに「5日」が6割以上で最も高く、次いで、父親は「6日」が29.6%、母親は「4日」が17.7%で高くなっています。

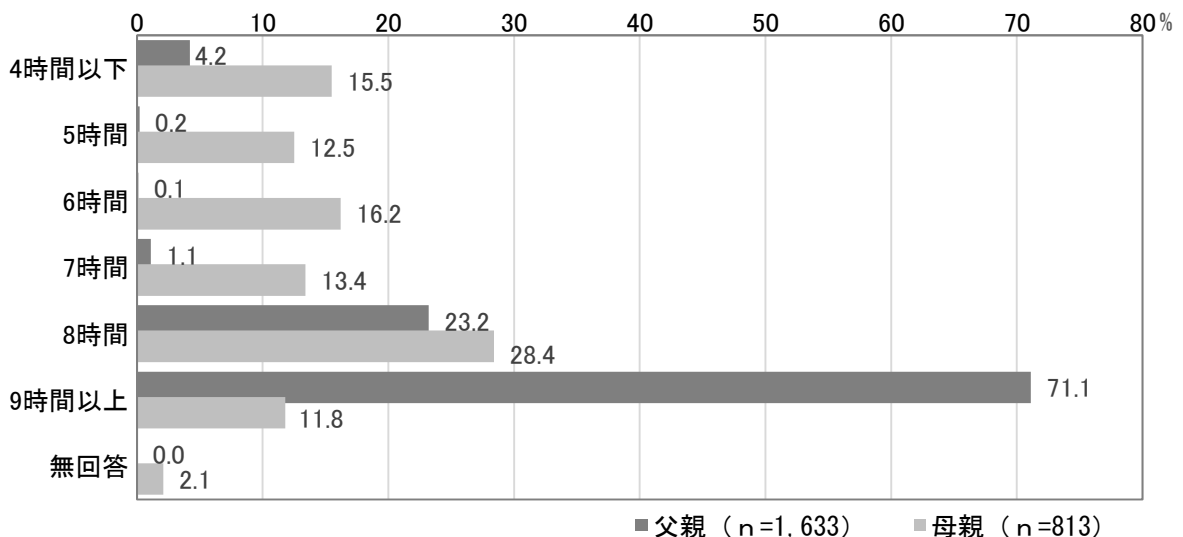
1日当たりの就労時間では、母親は「8時間」が28.4%で最も高いものの、他の項目はそれぞれ1割強の回答があり、多様な働き方があることがうかがえます。一方で、父親は「9時間以上」が71.1%で最も高く、次いで高い「8時間」は23.2%となっています。

父親は「9時間以上」が多数で、長時間労働がうかがえます。子育てが主に母親に偏っていることにも影響があると考えられ、ワークライフバランスの実践が課題といえます。

〔1週当たり就労日数〕



〔1日当たり就労時間〕



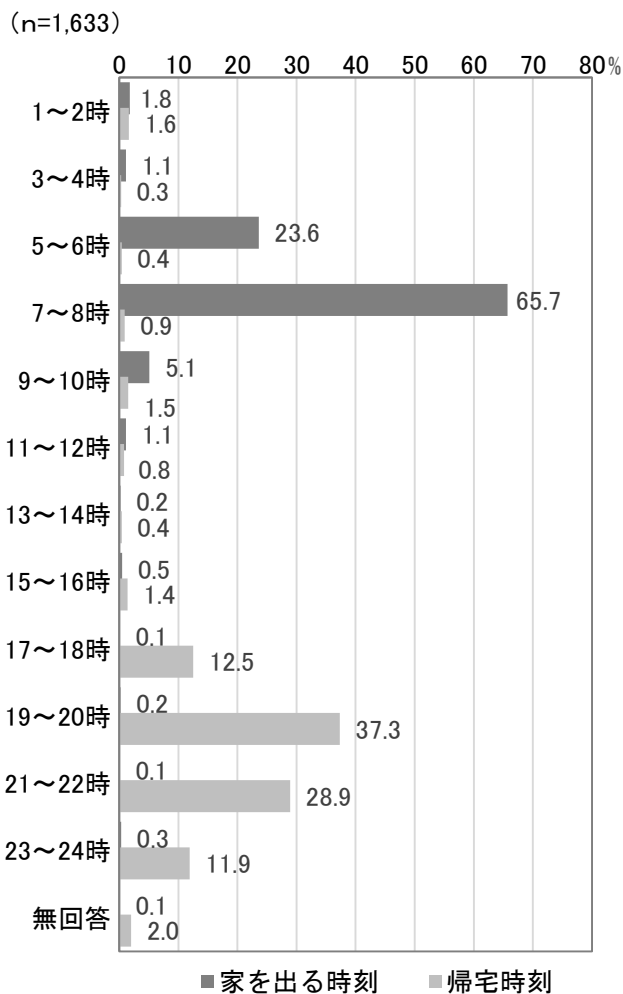
※問 13 で「就労している」を選択した方

問 13 ①-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数量回答)

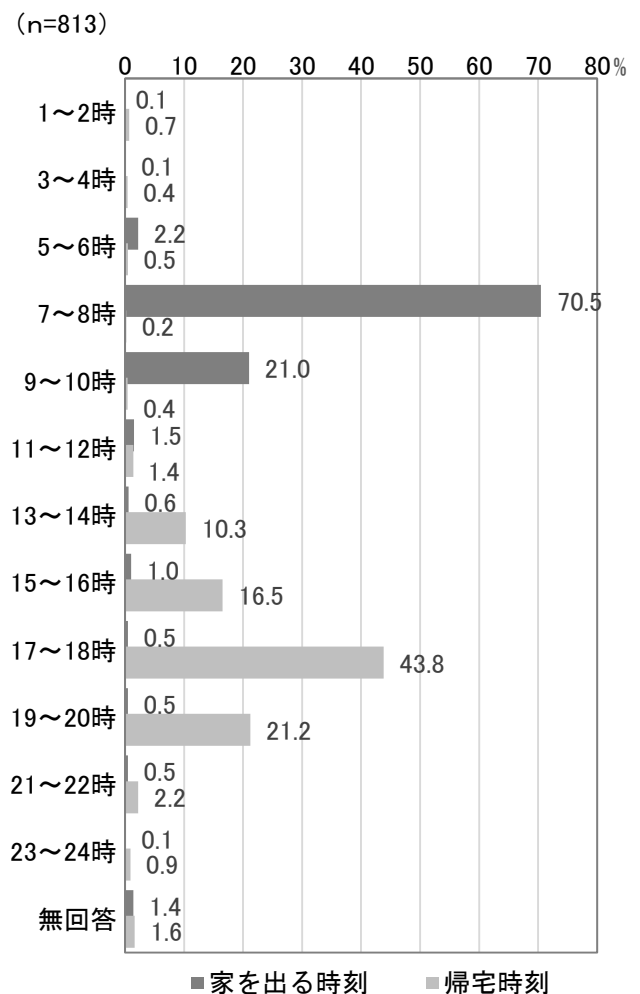
家を出る時刻は、父親は「5～6時」で割合は高くなりはじめ、父母ともに「7～8時」が約70%でピークを迎えています。

帰宅時刻では、母親は「17～18時」が43.8%で最も高くなっています。父親は「19～20時」が37.3%で最も高くなっていますが、21時以降の合計割合は40.8%となっています。

〔父親〕



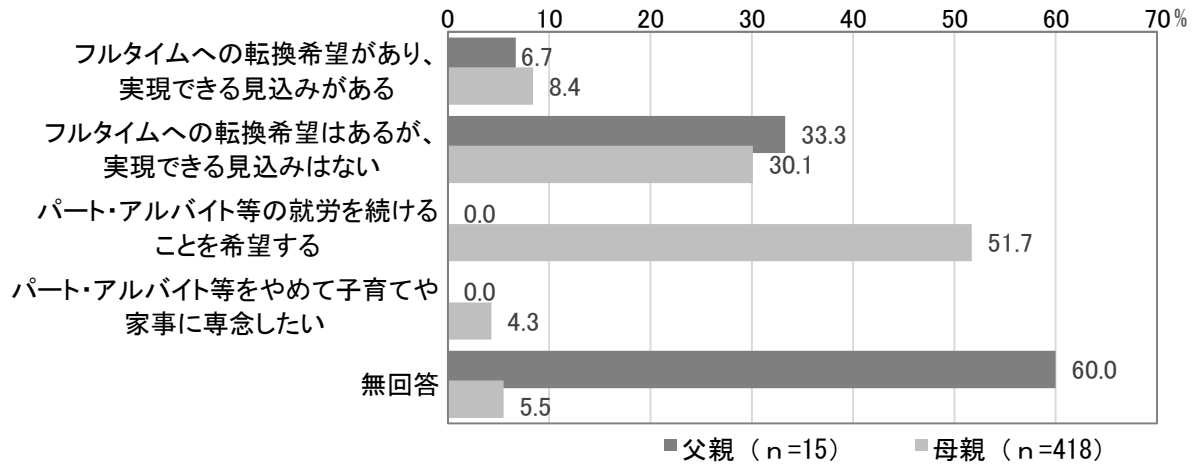
〔母親〕



※問 13 で「パート・アルバイト等で就労」を選択した方

問 13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

フルタイムへの転換希望は、母親は5割以上が「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」としています。約4割はフルタイムへの転換希望があるものの、「実現できる見込みはない」が3割となっています。



※問 13 で「就労していない・就労したことがない」を選択した方

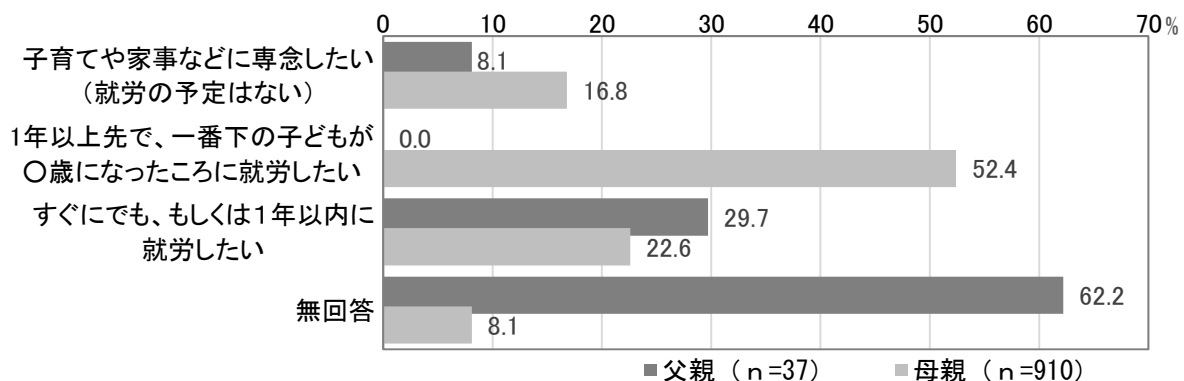
問 13-2 就労したいという希望はありますか。(単数回答)

現在就労していない保護者の今後の就労希望は、母親は「1年以上先で、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」に52.4%と半数以上の回答があります。また、父母ともに「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に2割台の回答があります。

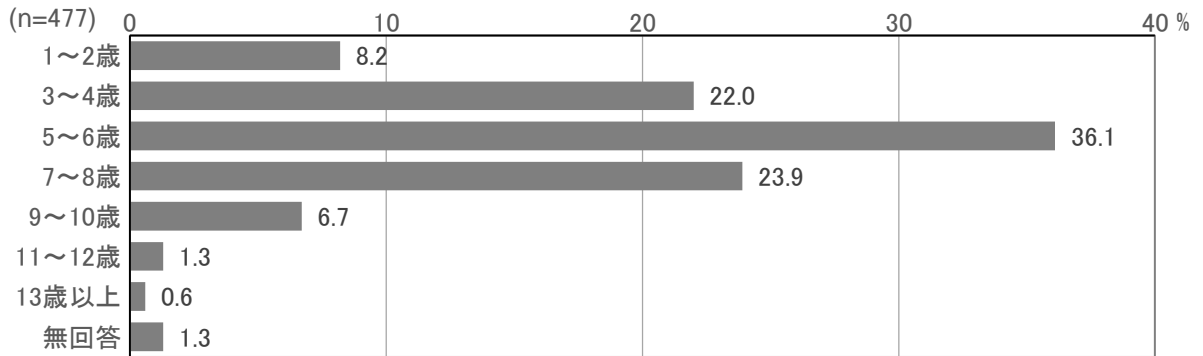
一番下の子どもが何歳になったら就労したいかでは、「5～6歳」が36.1%で最も高く、次いで「7～8歳」が23.9%、「3～4歳」が22.0%となっています。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」とした母親の大半は「パート・アルバイト等」を希望しており、就業条件としてはおおむね3～4日で1日当たり4時間前後を希望していることがうかがえます。

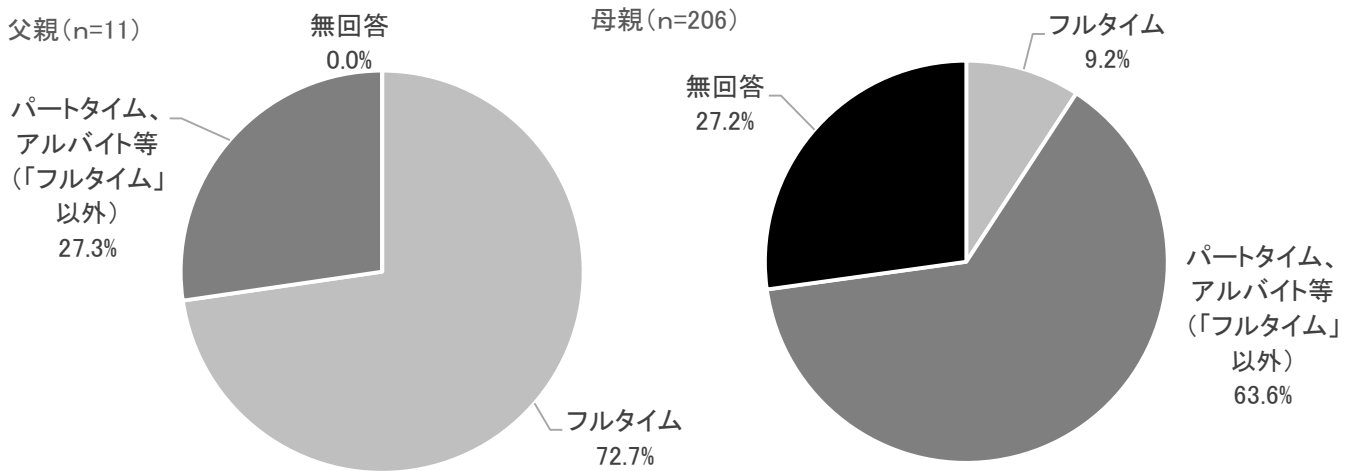
現在家事や子育てに専念していると考えられる無職の母親の多数が就労意向を持っていることは、それだけ保育ニーズも高まることが予想されるため、そうした母親のニーズに対応することが求められるといえます。



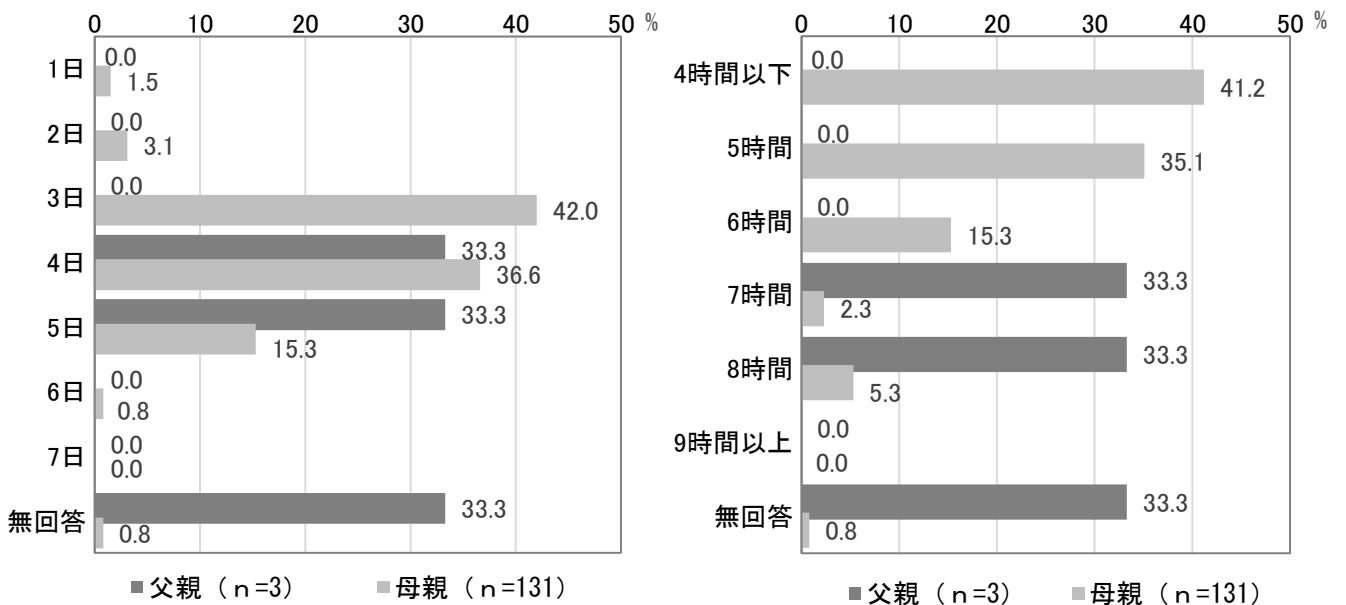
〔就労を考える一番下の子どもの年齢〕 ※「父親」は対象サンプルがないため省略



〔すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態〕



〔上記で「パートタイム・アルバイト等」を選んだ方の希望就労日数 (左)、就労時間 (右)〕



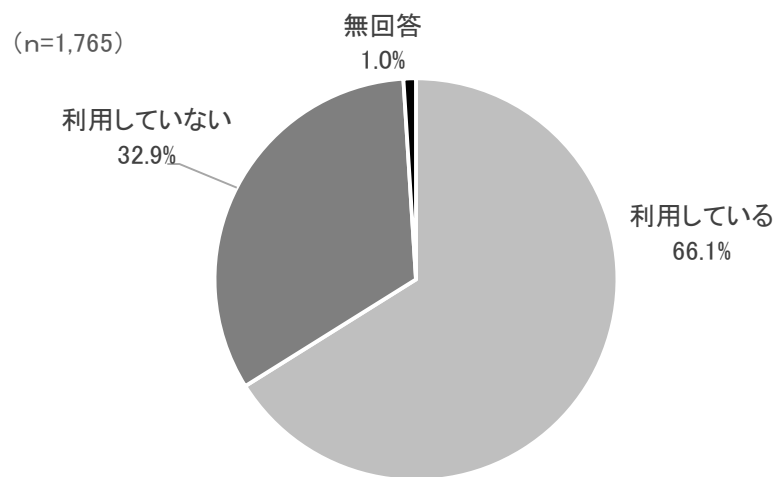
## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さまは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(単数回答)

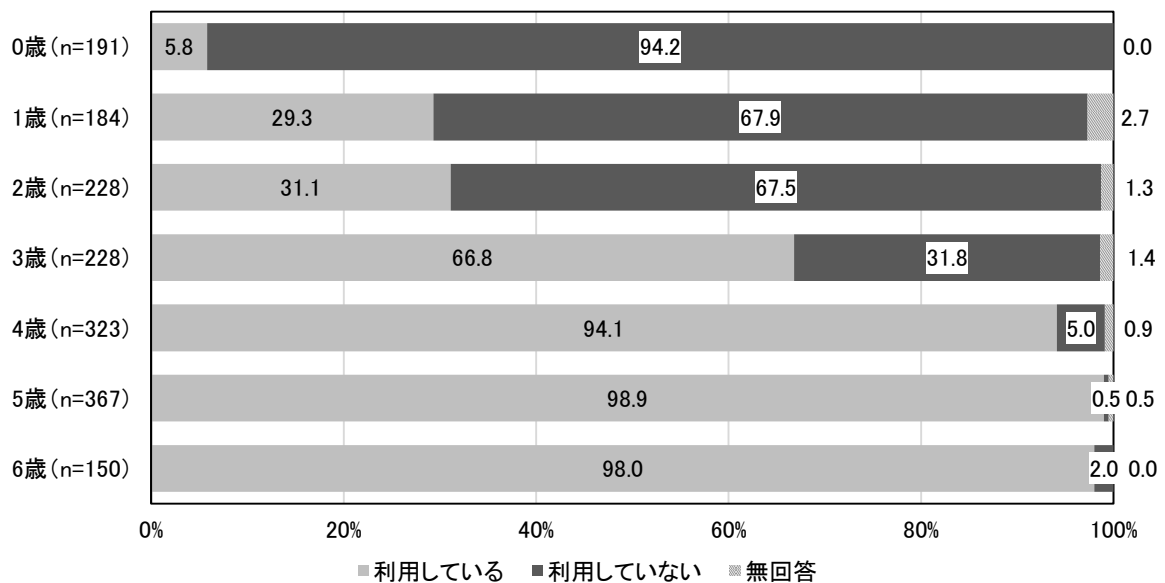
定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が66.1%で半数を超える割合となっており、「利用していない」は32.9%となっています。

年齢別でみると、0歳の9割強、1歳・2歳の6割強が「利用していない」と回答していますが、3歳の6割強、4歳以上では9割以上が「利用している」と回答しています。

多くの方が「3歳」から教育・保育事業を利用し始める実態がうかがえます。



### ◇年齢別





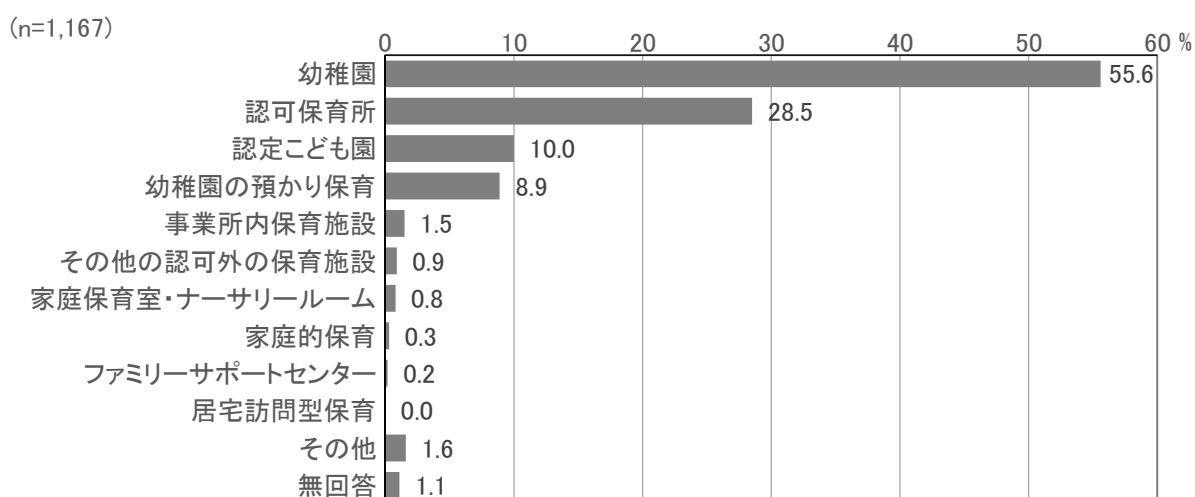
※問 14 で「利用している」を選択した方

問 14-1 宛名のお子さまは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。また、その事業の現在の利用状況と今後の利用意向をご記入ください。(複数回答、数量回答)

現在利用している教育・保育事業は、「幼稚園」が 55.6%で最も高く、次いで、「認可保育所」が 28.5%、「認定こども園」が 10.0%、「幼稚園の預かり保育」が 8.9%となっています。

年齢別で見ると、1歳・2歳は「認可保育所」が5割を超えており、また、1歳から3歳では「認定こども園」が1割を超えています。また、4歳以上では「幼稚園」が6割強となっているほか、「認可保育所」に2割強の回答があります。

地区別で見ると、菖蒲中学校区、栗橋東中学校区、栗橋西中学校区、鷺宮中学校区、鷺宮東中学校区で、「認定こども園」の割合が1割強となっています。



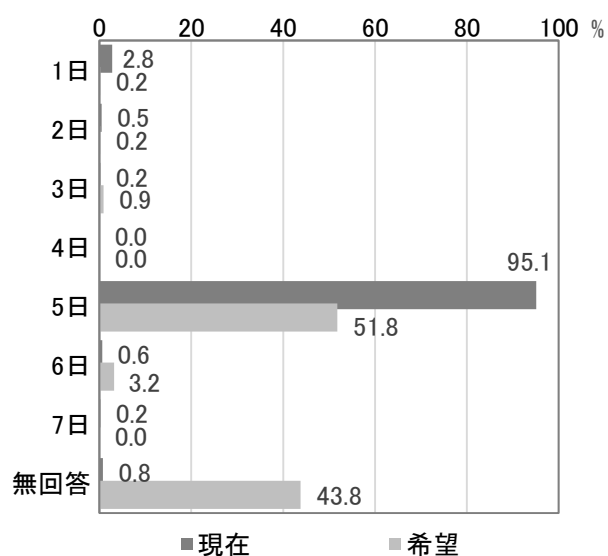
◇年齢別・地区別

表示:%

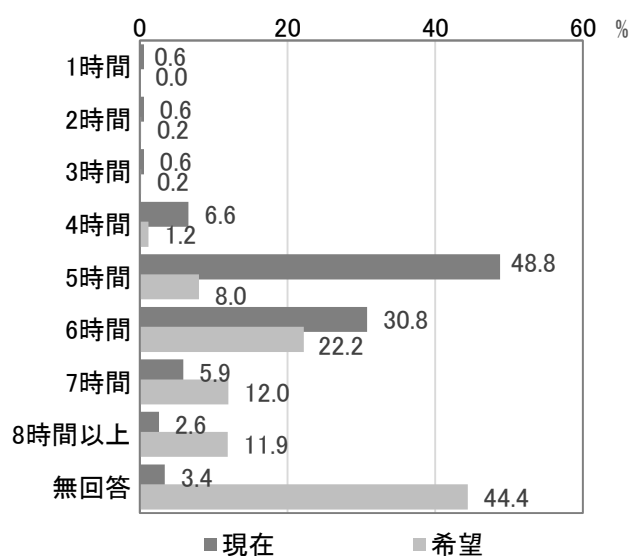
	n	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	家庭保育室・ナーサリールーム	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
0歳	11	-	-	18.2	18.2	-	18.2	9.1	18.2	-	-	18.2	-
1歳	54	1.9	-	61.1	18.5	-	9.3	1.9	5.6	-	-	3.7	-
2歳	71	12.7	2.8	56.3	11.3	-	5.6	1.4	2.8	-	-	5.6	1.4
3歳	187	46.5	2.7	33.2	13.9	-	1.6	1.1	1.1	-	-	2.7	1.1
4歳	304	64.5	9.9	22.4	8.2	0.3	0.7	-	-	-	-	1.3	1.6
5歳	363	66.4	14.6	23.1	8.8	0.3	0.3	0.6	0.3	-	-	0.3	0.6
6歳	147	66.7	8.8	23.1	8.2	-	-	-	0.7	-	1.4	-	2.0
久喜中学校区	169	59.2	11.2	32.5	1.2	1.2	1.2	0.6	1.2	-	-	2.4	-
久喜南中学校区	72	66.7	11.1	29.2	2.8	-	1.4	1.4	-	-	1.4	1.4	-
久喜東中学校区	84	60.7	7.1	25.0	8.3	-	2.4	1.2	2.4	-	1.2	-	-
太東中学校区	142	47.2	11.3	35.2	8.5	-	2.8	-	1.4	-	-	1.4	1.4
菖蒲中学校区	96	53.1	7.3	25.0	15.6	-	2.1	2.1	-	-	-	3.1	1.0
菖蒲南中学校区	49	53.1	8.2	32.7	8.2	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	-	4.1
栗橋東中学校区	134	44.0	6.7	33.6	19.4	-	-	-	0.7	-	-	-	2.2
栗橋西中学校区	97	56.7	10.3	25.8	10.3	-	1.0	-	1.0	-	-	2.1	1.0
鷺宮中学校区	106	61.3	4.7	20.8	10.4	-	2.8	1.9	1.9	-	-	2.8	-
鷺宮東中学校区	120	62.5	10.0	17.5	15.8	-	0.8	0.8	-	-	-	3.3	0.8
鷺宮西中学校区	47	57.4	8.5	34.0	4.3	-	2.1	-	-	-	-	-	2.1

〔幼稚園の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=649）〕

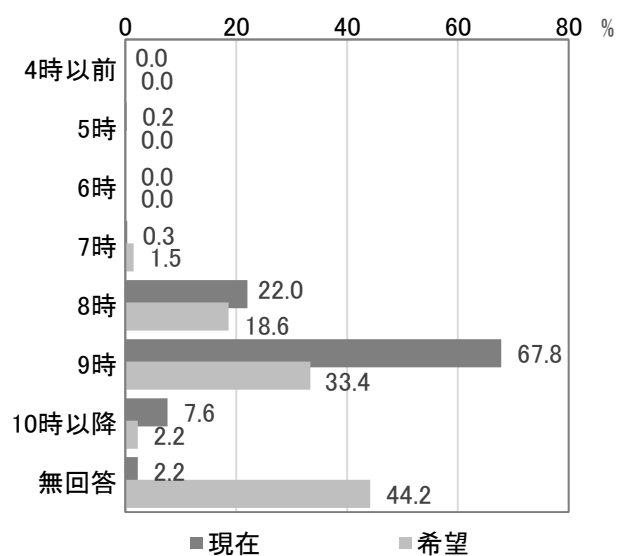
【1週当たり利用日数】



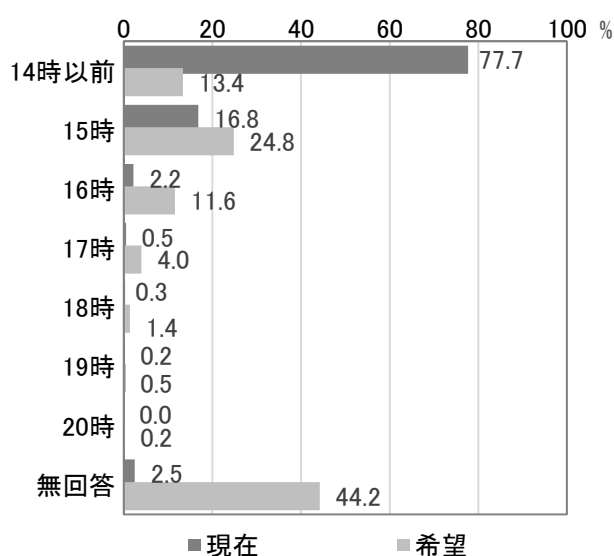
【1日当たり利用時間】



【開始時刻】

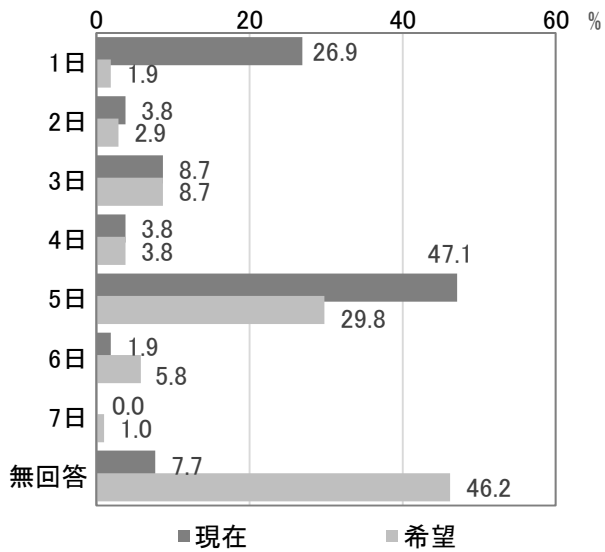


【終了時刻】

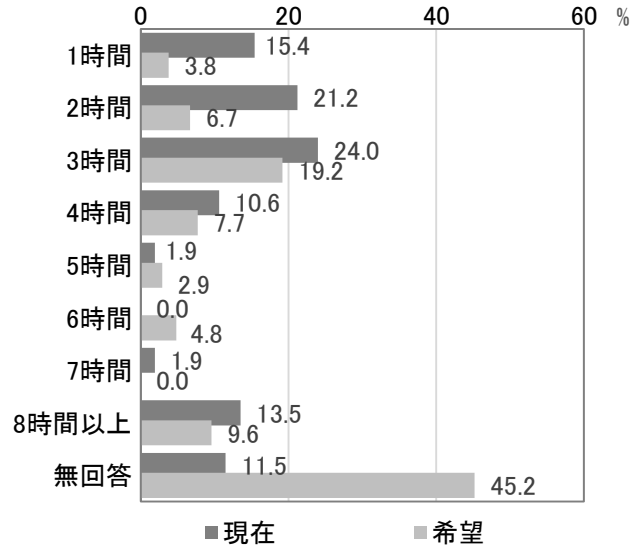


〔幼稚園の預かり保育の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=104）〕

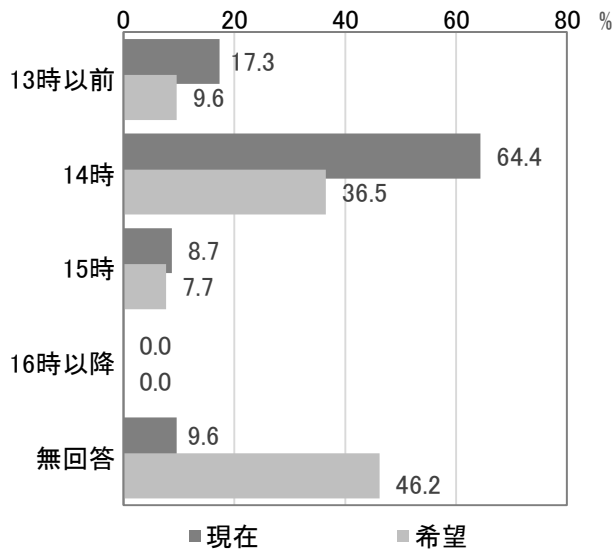
【1週当たり利用日数】



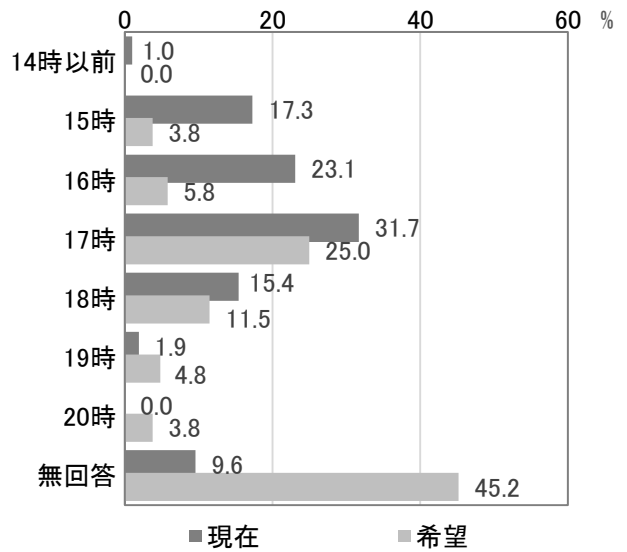
【1日当たり利用時間】



【開始時刻】

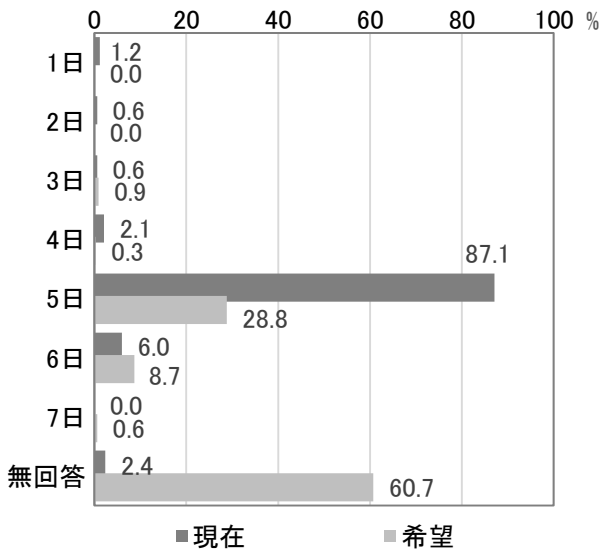


【終了時刻】

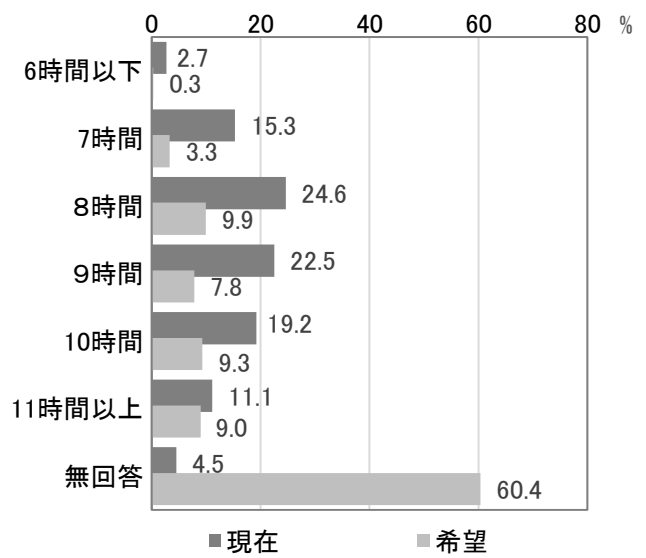


〔認可保育所の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=333）〕

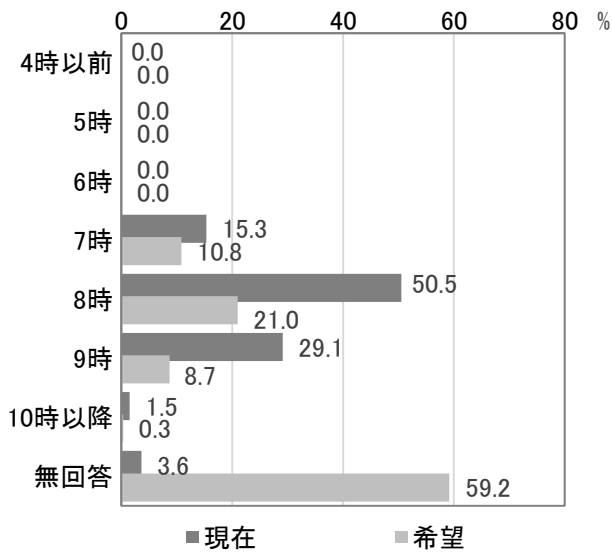
【1週当たり利用日数】



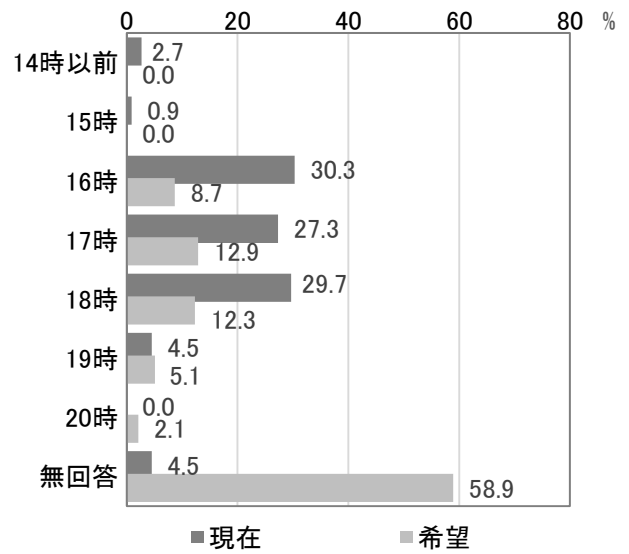
【1日当たり利用時間】



【開始時刻】

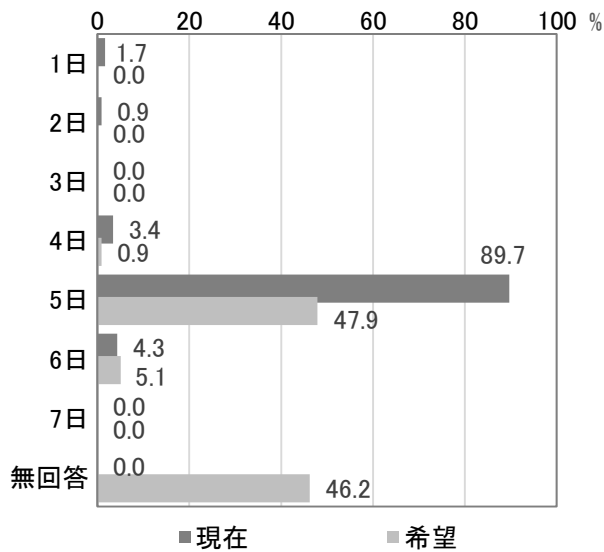


【終了時刻】

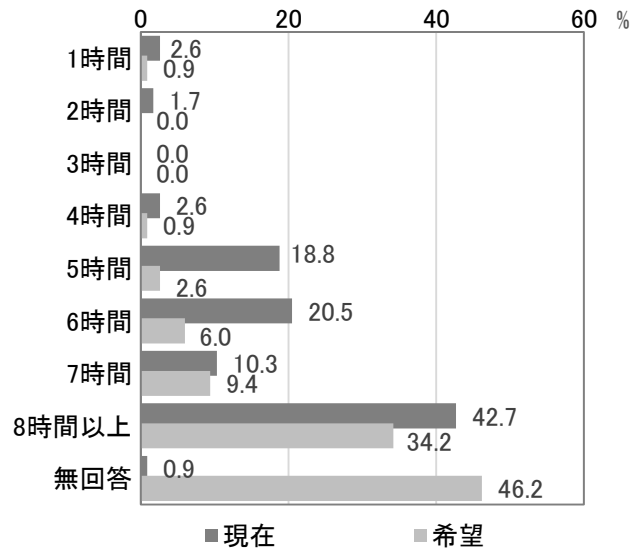


〔認定こども園の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=117）〕

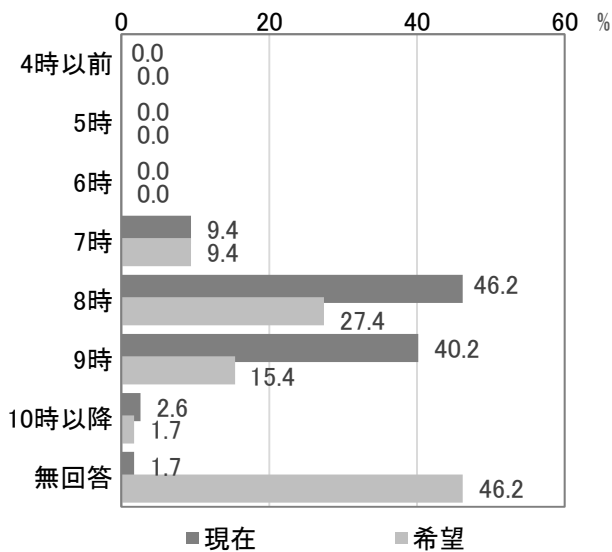
【1週当たり利用日数】



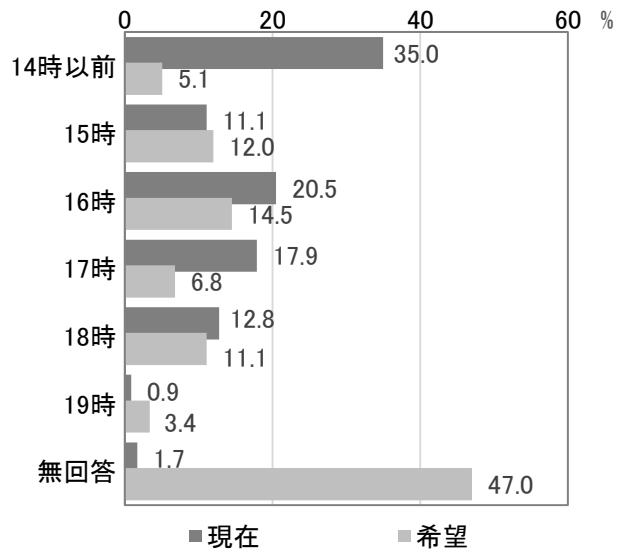
【1日当たり利用時間】



【開始時刻】



【終了時刻】



※「家庭的保育」から「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

〔家庭的保育の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=3）〕

1週当たり利用日数

	現在	希望
1日	0.0	0.0
2日	0.0	0.0
3日	0.0	0.0
4日	0.0	0.0
5日	0.0	0.0
6日	0.0	0.0
7日	0.0	33.3
無回答	100.0	66.7

1日当たり利用時間

	現在	希望
1時間	0.0	0.0
2時間	0.0	0.0
3時間	0.0	0.0
4時間	0.0	0.0
5時間	0.0	0.0
6時間	0.0	0.0
7時間	0.0	0.0
8時間以上	0.0	33.3
無回答	100.0	66.7

開始時刻

	現在	希望
4時以前	0.0	0.0
5時	0.0	0.0
6時	0.0	0.0
7時	0.0	0.0
8時	0.0	0.0
9時	0.0	0.0
10時以降	0.0	0.0
無回答	100.0	100.0

終了時刻

	現在	希望
14時以前	0.0	0.0
15時	0.0	0.0
16時	0.0	0.0
17時	0.0	0.0
18時	0.0	0.0
19時	0.0	0.0
無回答	100.0	100.0

〔事業所内保育施設の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=18）〕

1週当たり利用日数

	現在	希望
1日	5.6	0.0
2日	0.0	0.0
3日	0.0	0.0
4日	22.2	11.1
5日	66.7	16.7
6日	0.0	0.0
7日	5.6	5.6
無回答	0.0	66.7

1日当たり利用時間

	現在	希望
1時間	0.0	0.0
2時間	5.6	0.0
3時間	0.0	0.0
4時間	5.6	0.0
5時間	16.7	0.0
6時間	0.0	0.0
7時間	0.0	0.0
8時間以上	72.2	33.3
無回答	0.0	66.7

開始時刻

	現在	希望
4時以前	0.0	0.0
5時	0.0	0.0
6時	0.0	0.0
7時	0.0	0.0
8時	44.4	16.7
9時	27.8	11.1
10時以降	16.7	0.0
無回答	11.1	72.2

終了時刻

	現在	希望
14時以前	11.1	0.0
15時	5.6	0.0
16時	5.6	5.6
17時	38.9	16.7
18時	27.8	5.6
19時	0.0	0.0
無回答	11.1	72.2

〔家庭保育室・ナーサリールームの【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=9）〕

1週当たり利用日数

	現在	希望
1日	11.1	0.0
2日	0.0	0.0
3日	0.0	0.0
4日	0.0	0.0
5日	77.8	33.3
6日	0.0	11.1
7日	11.1	11.1
無回答	0.0	44.4

1日当たり利用時間

	現在	希望
1時間	0.0	0.0
2時間	11.1	0.0
3時間	11.1	0.0
4時間	0.0	0.0
5時間	0.0	0.0
6時間	0.0	0.0
7時間	0.0	0.0
8時間以上	77.8	55.6
無回答	0.0	44.4

開始時刻

	現在	希望
4時以前	0.0	0.0
5時	0.0	0.0
6時	0.0	0.0
7時	0.0	11.1
8時	66.7	33.3
9時	11.1	0.0
10時以降	11.1	0.0
無回答	11.1	55.6

終了時刻

	現在	希望
14時以前	22.2	0.0
15時	0.0	0.0
16時	22.2	0.0
17時	22.2	11.1
18時	22.2	33.3
19時	0.0	0.0
無回答	11.1	55.6

〔その他の認可外の保育施設の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=11）〕

1週当たり利用日数

	現在	希望
1日	0.0	0.0
2日	0.0	0.0
3日	18.2	0.0
4日	9.1	0.0
5日	72.7	45.5
6日	0.0	0.0
7日	0.0	9.1
無回答	0.0	45.5

1日当たり利用時間

	現在	希望
1時間	0.0	0.0
2時間	0.0	0.0
3時間	0.0	0.0
4時間	9.1	0.0
5時間	0.0	0.0
6時間	0.0	9.1
7時間	18.2	9.1
8時間以上	72.7	36.4
無回答	0.0	45.5

開始時刻

	現在	希望
4時以前	0.0	0.0
5時	0.0	0.0
6時	0.0	0.0
7時	0.0	0.0
8時	45.5	27.3
9時	54.5	27.3
10時以降	0.0	0.0
無回答	0.0	45.5

終了時刻

	現在	希望
14時以前	9.1	0.0
15時	0.0	9.1
16時	27.3	9.1
17時	27.3	9.1
18時	36.4	18.2
19時	0.0	9.1
無回答	0.0	45.5

〔ファミリーサポートセンターの【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=2）〕

1週当たり利用日数

	現在	希望
1日	0.0	0.0
2日	100.0	0.0
3日	0.0	50.0
4日	0.0	0.0
5日	0.0	0.0
6日	0.0	0.0
7日	0.0	0.0
無回答	0.0	50.0

1日当たり利用時間

	現在	希望
1時間	100.0	50.0
2時間	0.0	0.0
3時間	0.0	0.0
4時間	0.0	0.0
5時間	0.0	0.0
6時間	0.0	0.0
7時間	0.0	0.0
8時間以上	0.0	0.0
無回答	0.0	50.0

開始時刻

	現在	希望
4時以前	0.0	0.0
5時	0.0	0.0
6時	0.0	0.0
7時	0.0	0.0
8時	50.0	0.0
9時	0.0	0.0
10時以降	50.0	50.0
無回答	0.0	50.0

終了時刻

	現在	希望
14時以前	50.0	0.0
15時	0.0	0.0
16時	0.0	0.0
17時	0.0	0.0
18時	50.0	50.0
19時	0.0	0.0
無回答	0.0	50.0

〔その他の【現在】の利用量と【希望】の利用量（それぞれn=19）〕

1週当たり利用日数

	現在	希望
1日	42.1	15.8
2日	21.1	5.3
3日	5.3	5.3
4日	10.5	0.0
5日	15.8	10.5
6日	0.0	0.0
7日	0.0	0.0
無回答	5.3	63.2

1日当たり利用時間

	現在	希望
1時間	15.8	5.3
2時間	31.6	15.8
3時間	15.8	5.3
4時間	26.3	10.5
5時間	0.0	0.0
6時間	5.3	0.0
7時間	0.0	0.0
8時間以上	0.0	0.0
無回答	5.3	63.2

開始時刻

	現在	希望
4時以前	0.0	0.0
5時	0.0	0.0
6時	0.0	0.0
7時	0.0	0.0
8時	0.0	0.0
9時	21.1	5.3
10時以降	73.7	31.6
無回答	5.3	63.2

終了時刻

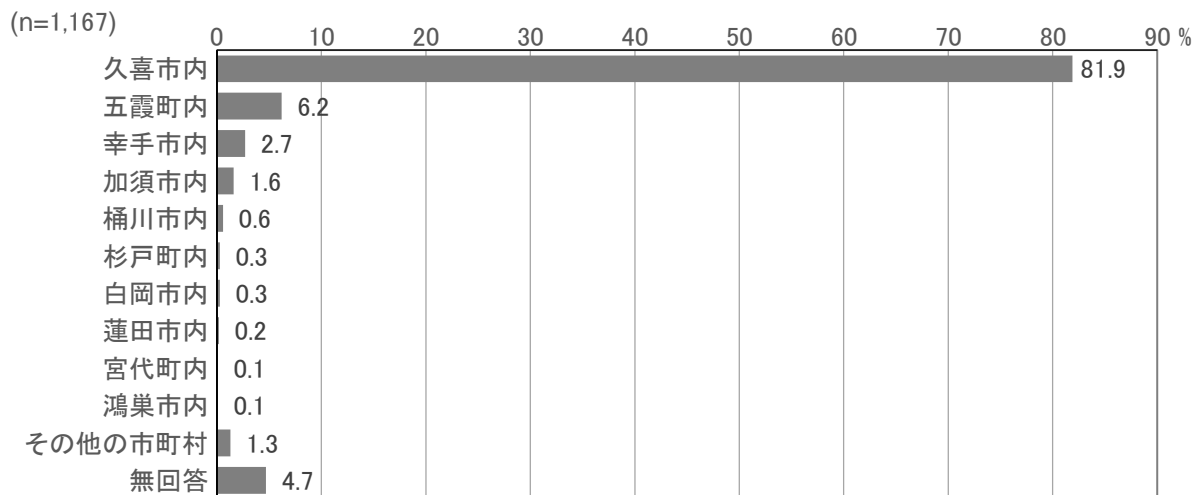
	現在	希望
14時以前	68.4	26.3
15時	0.0	0.0
16時	10.5	5.3
17時	5.3	0.0
18時	10.5	5.3
19時	0.0	0.0
無回答	5.3	63.2

※問 14 で「利用している」を選択した方

問 14-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。(単数回答)

現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「久喜市内」が 81.9%で高くなっており、次いで高いのは、「五霞町内」の 6.2%、「幸手市内」の 2.7%となっています。

地区別でみると、いずれも「久喜市内」が最も高くなっていますが、栗橋西中学校区及び鷺宮東中学校区で「五霞町内」、菖蒲南中学校で「桶川市内」がやや高くなっています。



◇地区別

表示: %

	n	久喜市内	幸手市内	杉戸町内	宮代町内	白岡市内	蓮田市内	桶川市内	鴻巣市内	加須市内	五霞町内	市その他の	無回答
久喜中学校区	169	89.9	1.8	-	-	-	-	-	-	-	3.0	0.6	4.7
久喜南中学校区	72	87.5	4.2	-	1.4	-	-	-	-	4.2	-	1.4	1.4
久喜東中学校区	84	83.3	6.0	-	-	-	1.2	-	-	-	2.4	1.2	6.0
太東中学校区	142	85.9	4.9	-	-	1.4	-	-	-	-	1.4	2.1	4.2
菖蒲中学校区	96	90.6	-	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	1.0	5.2
菖蒲南中学校区	49	77.6	-	-	-	-	-	12.2	-	-	-	2.0	8.2
栗橋東中学校区	134	78.4	0.7	0.7	-	-	-	-	-	3.0	9.7	2.2	5.2
栗橋西中学校区	97	63.9	5.2	-	-	-	-	-	-	1.0	27.8	1.0	1.0
鷺宮中学校区	106	82.1	2.8	-	-	0.9	-	0.9	-	3.8	5.7	-	3.8
鷺宮東中学校区	120	71.7	3.3	1.7	-	-	-	-	-	4.2	13.3	0.8	5.0
鷺宮西中学校区	47	83.0	-	-	-	-	-	-	-	2.1	2.1	4.3	8.5



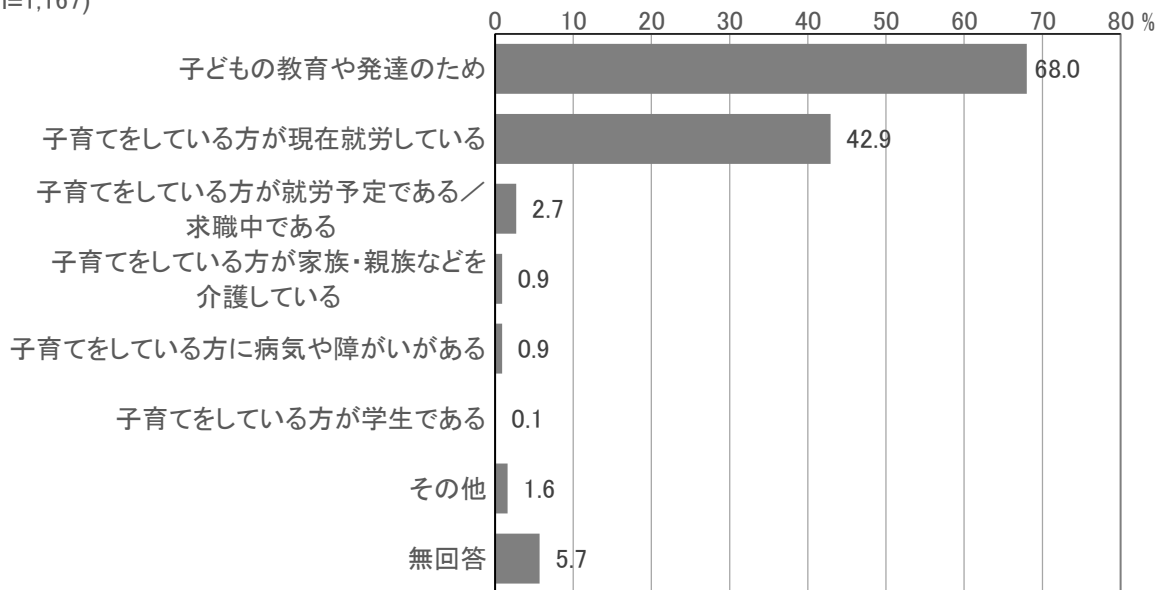
※問 14 で「利用している」を選択した方

問 14-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(複数回答)

定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が 68.0%で最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が 42.9%で、この2項目が高い結果となっています。

保護者は教育・保育事業を利用するにあたっては、「子どもの教育や発達」を期待しており、教育・保育施設として、そうした期待に応えていく必要があります。

(n=1,167)



※問 14 で「利用していない」を選択した方

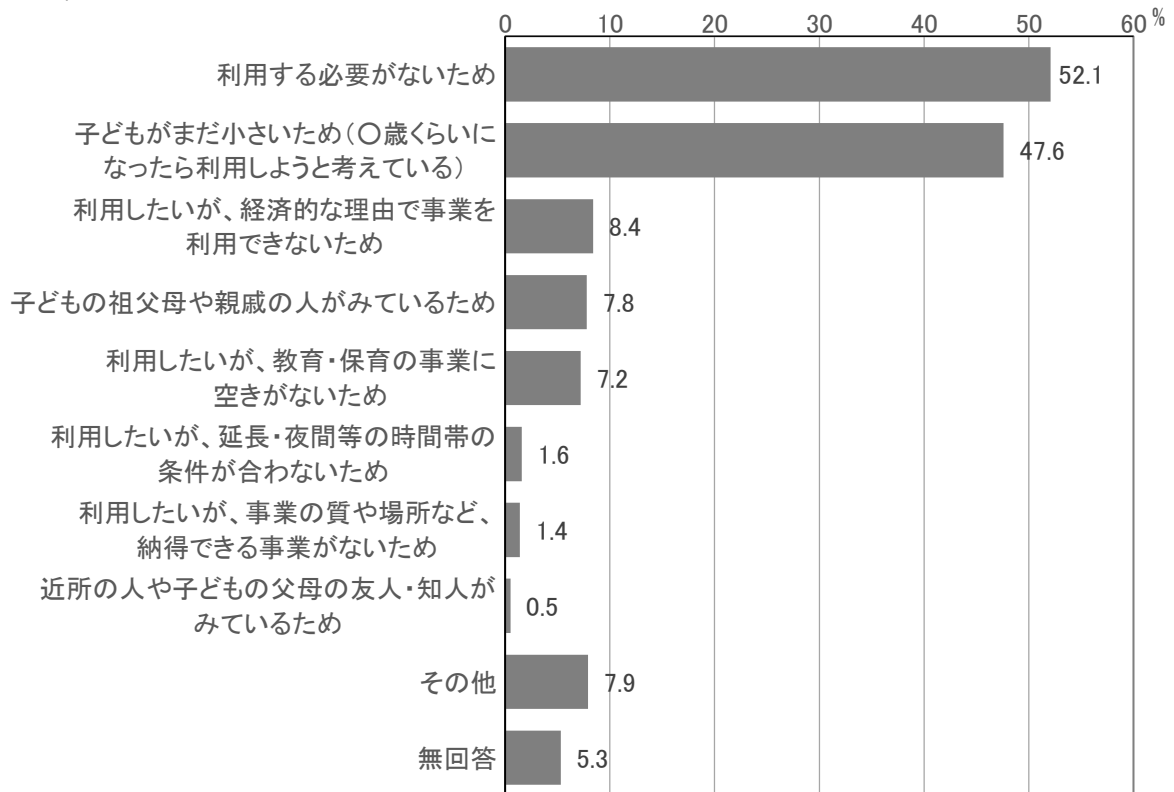
問 14-4 利用していない理由は何ですか。(複数回答、数量回答)

利用していない理由は、「利用する必要がないため」が 52.1%で最も高く、次いで同じくらいの割合で「子どもがまだ小さいため」が 47.6%となっています。

「子どもがまだ小さいため」と回答した方の、利用を考える子どもの年齢については、「3歳」が 53.6%で最も高く、次いで「4歳」が 19.6%、「1歳」が 13.0%となっています。

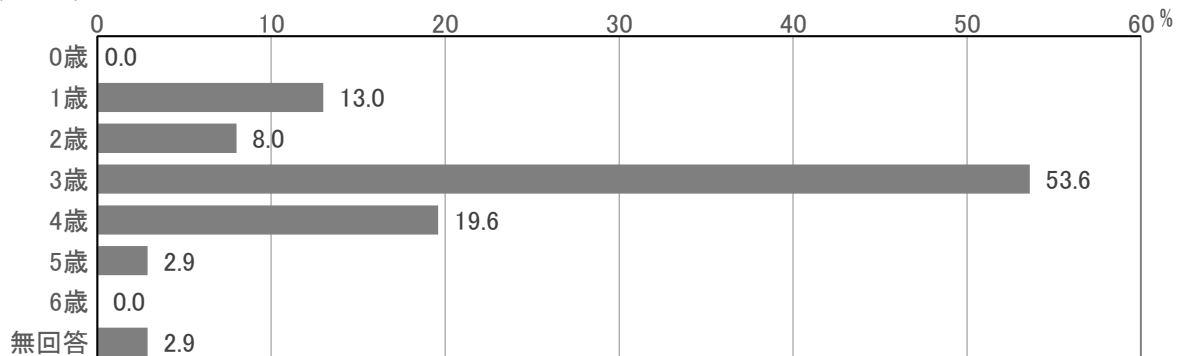
「子どもがまだ小さいため」の回答で、利用開始を考えている年齢が「3歳」で最も高いことは問 14 の傾向と符合する結果となっています。視点を変えると、2歳まではそうした教育・保育施設を利用せずに子育てをすると考える親が多いことがうかがえるため、そうした親に対する支援を厚くすることも必要といえます。

(n=580)



〔教育・保育事業の利用を考える子どもの年齢〕

(n=276)

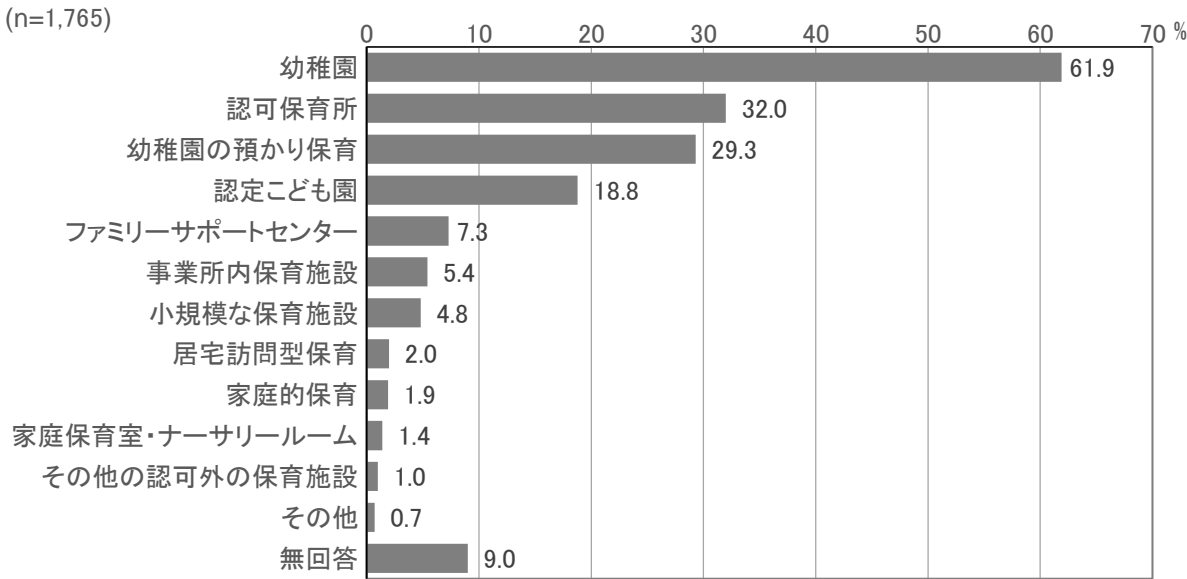


問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さまの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。  
(複数回答)

定期的に利用したいと考える事業は、「幼稚園」が61.9%で最も高く、次いで、「認可保育所」が32.0%、「幼稚園の預かり保育」が29.3%、「認定こども園」が18.8%となっています。

年齢別で見ると、いずれの年齢でも「幼稚園」の利用意向が5割を超えています。また、0歳・1歳で「認定こども園」の回答が2割を超えています。

「幼稚園」と「保育所」は現在の利用割合と変化はあまりないものの、「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっており、ニーズの高さがうかがえます。



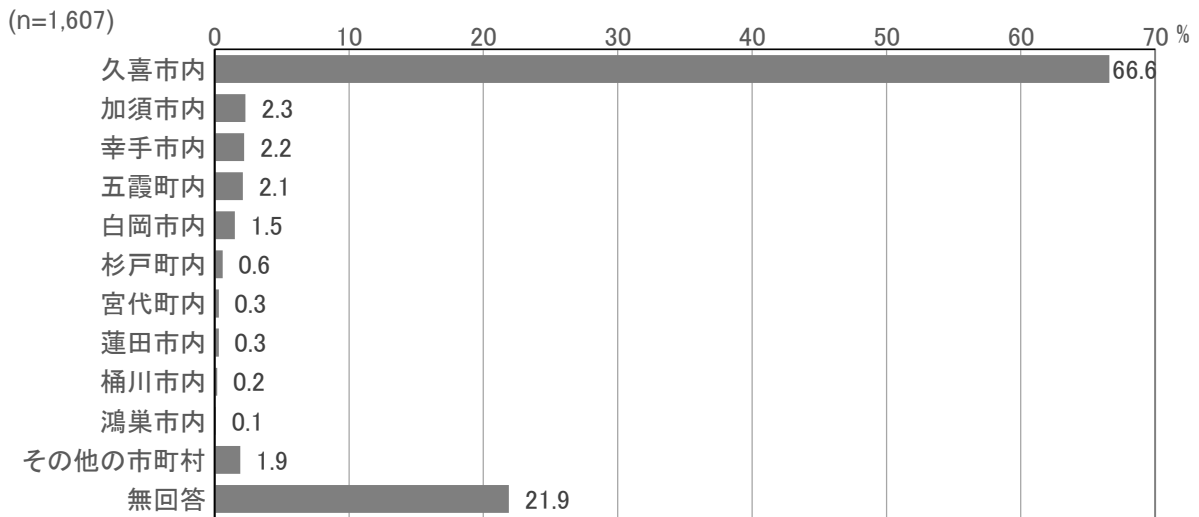
◇年齢別

	n	表示: %												
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	家庭保育室・ナーサリールーム	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
0歳	191	55.5	28.3	58.6	28.3	13.6	4.7	11.0	4.7	2.6	4.7	9.4	1.0	7.9
1歳	184	54.9	22.3	39.1	22.8	7.6	4.9	7.1	2.2	1.1	1.6	6.5	1.1	6.5
2歳	228	65.4	26.3	34.6	18.9	6.1	1.3	6.6	0.4	0.9	0.9	3.5	0.9	7.5
3歳	280	66.1	26.8	27.1	17.9	2.5	1.1	3.9	1.1	0.7	1.1	6.8	0.7	9.3
4歳	323	62.2	33.7	25.1	15.8	3.7	1.9	4.6	0.6	0.3	1.5	8.4	0.6	10.5
5歳	367	62.1	31.6	26.7	15.5	1.1	0.3	3.3	0.8	0.5	2.7	7.9	0.5	8.7
6歳	150	65.3	33.3	22.7	18.7	4.0	1.3	4.0	0.7	2.0	2.0	7.3	-	12.0

問 15-1 現在、利用していないが、今後、教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(単数回答)

教育・保育事業を利用したい場所は、「久喜市内」が 66.6%で高くなっています。次いで、「加須市内」が 2.3%、「幸手市内」が 2.2%となっています。

地区別でみると、いずれの地区も「久喜市内」が6割以上で最も高くなっています。



◇地区別

表示: %

	n	久喜市内	幸手市内	杉戸町内	宮代町内	白岡市内	蓮田市内	桶川市内	鴻巣市内	加須市内	五霞町内	市その他の	無回答
久喜中学校区	228	72.8	0.9	0.9	-	2.6	-	-	-	0.9	0.4	0.9	20.6
久喜南中学校区	103	61.2	1.0	-	-	2.9	1.0	-	-	-	-	1.0	33.0
久喜東中学校区	127	69.3	7.1	-	1.6	0.8	-	-	-	-	-	1.6	19.7
太東中学校区	191	64.9	4.2	2.1	0.5	1.0	0.5	-	-	0.5	0.5	2.1	23.6
菖蒲中学校区	139	64.7	-	0.7	1.4	4.3	1.4	0.7	1.4	2.2	-	2.2	20.9
菖蒲南中学校区	59	66.1	-	-	-	-	1.7	1.7	-	1.7	-	3.4	25.4
栗橋東中学校区	179	64.8	2.8	1.1	-	-	-	0.6	-	5.0	5.0	3.4	17.3
栗橋西中学校区	122	68.0	1.6	-	-	-	-	-	-	3.3	8.2	1.6	17.2
鷺宮中学校区	150	62.7	1.3	-	-	0.7	-	-	-	6.0	4.0	0.7	24.7
鷺宮東中学校区	177	70.6	2.8	-	-	0.6	-	-	-	1.7	3.4	2.3	18.6
鷺宮西中学校区	66	65.2	1.5	-	-	1.5	-	-	-	6.1	-	3.0	22.7

## 5 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 16 宛名のお子さまは、現在、久喜市の地域子育て支援拠点事業を利用していますか。  
 おおよその利用回数もご記入ください。（複数回答、数量回答）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が 69.9%で最も高くなっています。一方、「子育て支援センター、児童館、児童センター」の利用割合は 25.5%、「つどいの広場」の利用割合は 3.3%となっています。

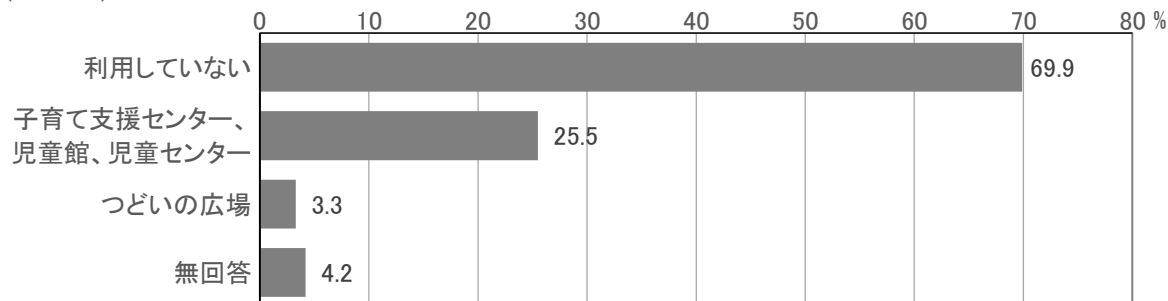
それぞれの利用頻度は、いずれも「週 1 回」もしくは「月 1 回」が最も高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「利用していない」が最も高くなっていますが、1 歳では「子育て支援センター、児童館、児童センター」が 4 割強で「利用していない」割合とほぼ同程度となっています。また、定期的教育・保育事業利用別では、未利用者の約半数にあたる 43.8%が「子育て支援センター、児童館、児童センター」と回答しています。

それぞれの利用頻度は、いずれも「週 1 回」もしくは「月 1 回」が最も高くなっています。

教育・保育未利用者や 0 歳・2 歳の方でも半数以上が「利用していない」を回答しています。未利用者にとって子育て支援センターは相談先や情報入手先としての役割も大きく、また、3 歳までは教育・保育施設を利用せずに子育てをする親が多いことから、未利用者における利用率をあげることが課題といえます。

(n=1,765)



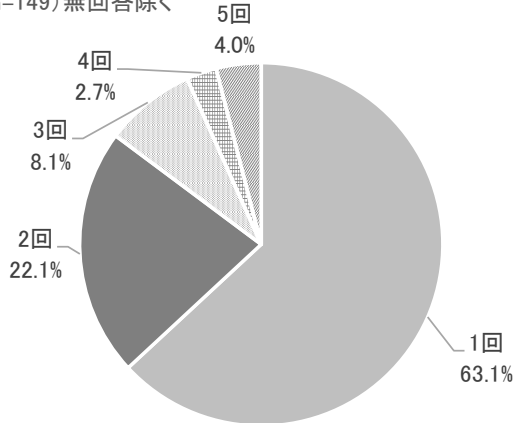
### ◇年齢別・定期的教育・保育事業利用（問 14）別

表示: %

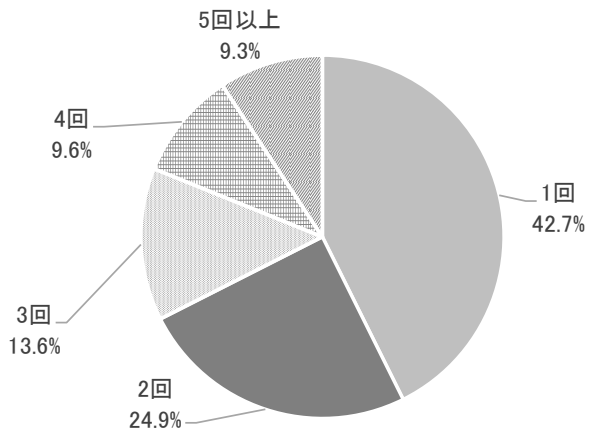
	n	子育て支援センター、児童館、児童センター	つどいの広場	利用していない	無回答
0歳	191	31.9	5.2	65.4	2.6
1歳	184	46.2	6.5	48.9	4.3
2歳	228	36.4	7.0	60.1	2.2
3歳	280	29.6	2.1	64.6	5.4
4歳	323	18.0	0.9	78.3	3.7
5歳	367	12.3	1.9	81.5	5.7
6歳	150	17.3	1.3	78.0	4.7
利用している	1,167	16.1	1.1	78.7	5.0
利用していない	580	43.8	7.4	52.9	2.4

〔子育て支援センター、児童館、児童センターの利用頻度（週もしくは月当たり）〕

1週当たり(n=149)無回答除く

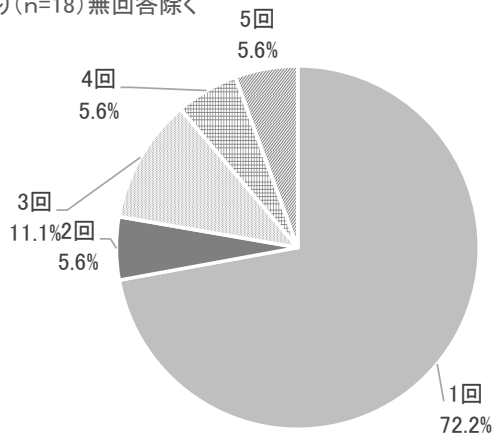


1月当たり(n=354)無回答除く

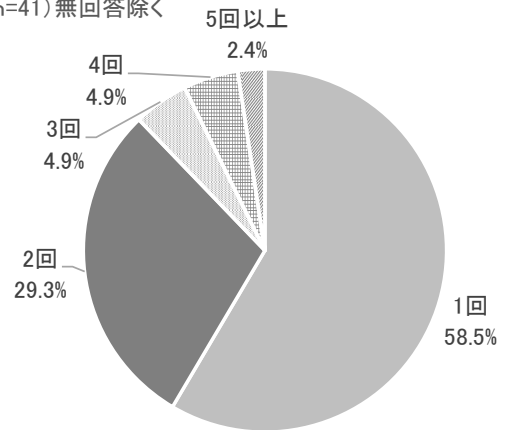


〔つどいの広場の利用頻度（週もしくは月当たり）〕

1週当たり(n=18)無回答除く



1月当たり(n=41)無回答除く

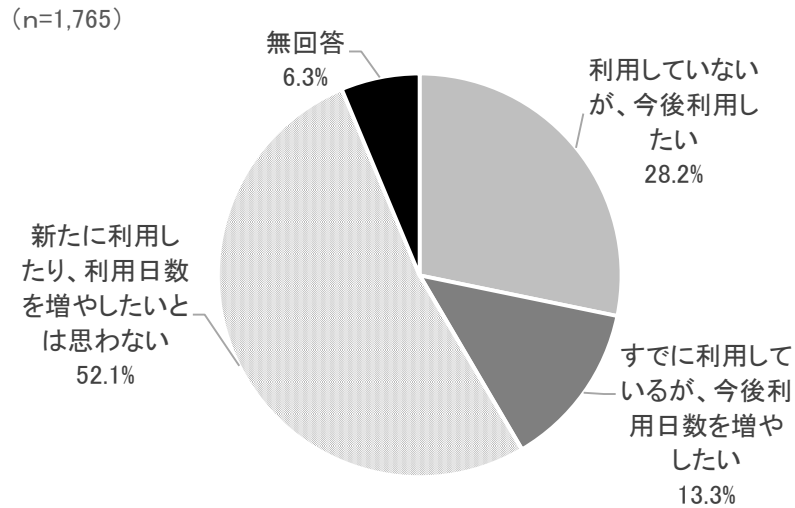


問 17 久喜市の地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（単数回答、数量回答）

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.1%で半数を超える割合となっています。次いで、「利用していないが、今後利用したい」が28.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.3%となっています。

年齢別でみると、0歳で「利用していないが、今後利用したい」が約5割となっています。また、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の回答は1歳で32.6%、0歳・2歳・3歳も1割強で、4歳以上の回答割合に比べて高くなっています。また、定期的教育・保育事業利用別では、未利用者の33.6%が「利用していないが、今後利用したい」と回答しています。

今後の利用意向では、「利用していないが、今後利用したい」が約3割と潜在的なニーズは高いといえます。



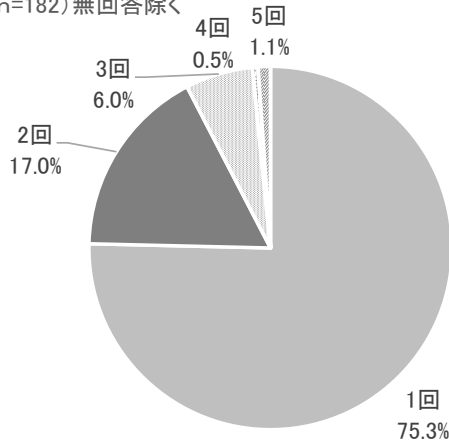
◇年齢別・定期的教育・保育事業利用（問14）別

表示:%

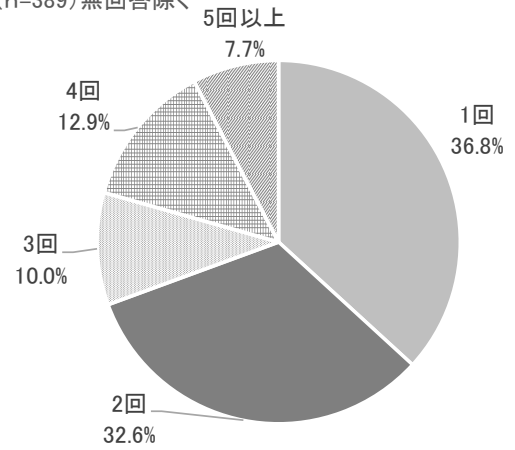
	n	今利用していないが、今後利用したい	増やしたいが、すでに利用している	新たに利用したい	無回答
0歳	191	49.2	17.8	27.2	5.8
1歳	184	26.1	32.6	35.9	5.4
2歳	228	29.4	16.2	50.0	4.4
3歳	280	26.1	16.1	51.1	6.8
4歳	323	27.6	7.1	59.4	5.9
5歳	367	22.6	6.0	63.8	7.6
6歳	150	22.7	6.0	62.7	8.7
利用している	1,167	25.7	7.4	59.9	7.0
利用していない	580	33.6	25.2	36.7	4.5

〔「利用していないが、今後利用したい」方の利用頻度（週もしくは月当たり）〕

1週当たり(n=182)無回答除く

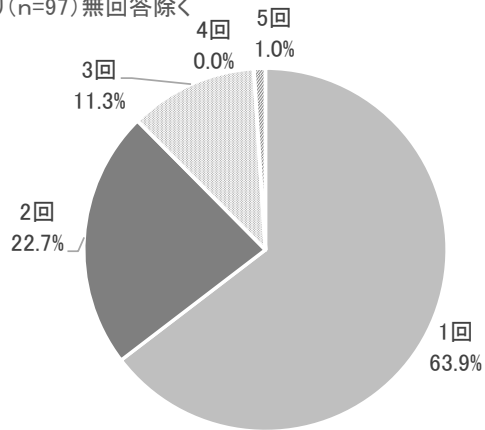


1月当たり(n=389)無回答除く

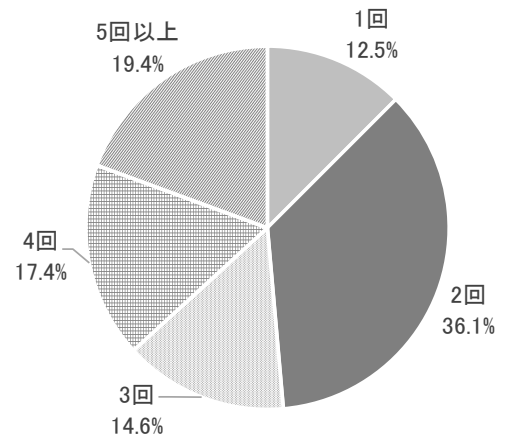


〔「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方の利用頻度（週もしくは月当たり）〕

1週当たり(n=97)無回答除く



1月当たり(n=144)無回答除く





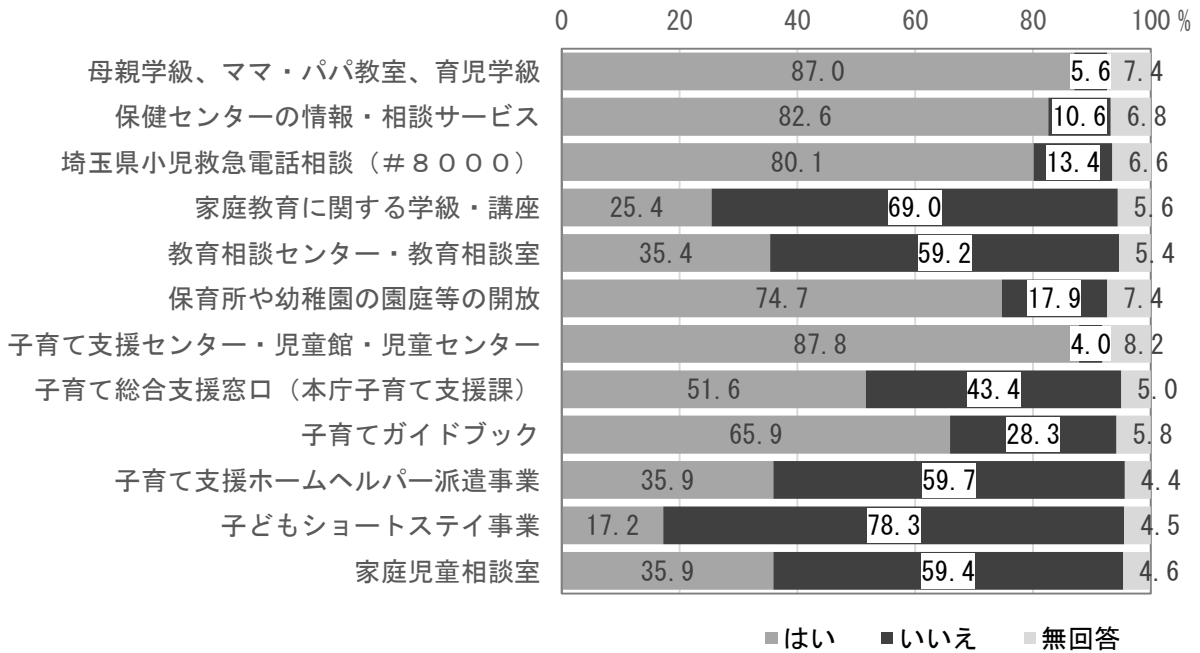
問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(1~12 それぞれ、A~Cの項目ごとに単数回答)

周知度の高いものとして、「母親学級、ママ・パパ教室、育児学級」、「保健センターの情報・相談サービス」、「埼玉県小児救急電話相談」、「子育て支援センター・児童館・児童センター」は「はい」の割合が80%以上となっています。

一方で、周知度の低いものについては、「子どもショートステイ事業」の「はい」が17.2%で最も低く、次いで、「家庭教育に関する学級・講座」が25.4%、「教育相談センター・教育相談室」が35.4%となっています。

〔周知度〕

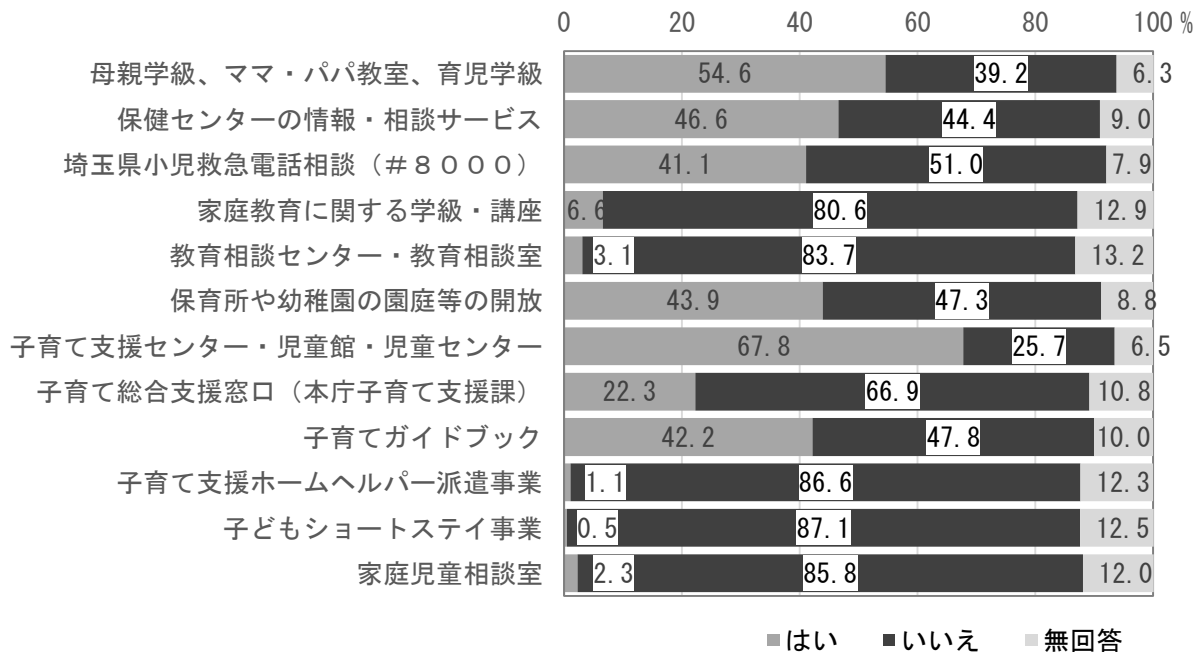
(n=1,765)



利用経験のあるものでは、「子育て支援センター・児童館・児童センター」が67.8%で最も高く、次いで、「母親学級、ママ・パパ教室、育児学級」が54.6%、「保健センターの情報・相談サービス」の46.6%となっています。

### 〔利用経験の有無〕

(n=1,765)

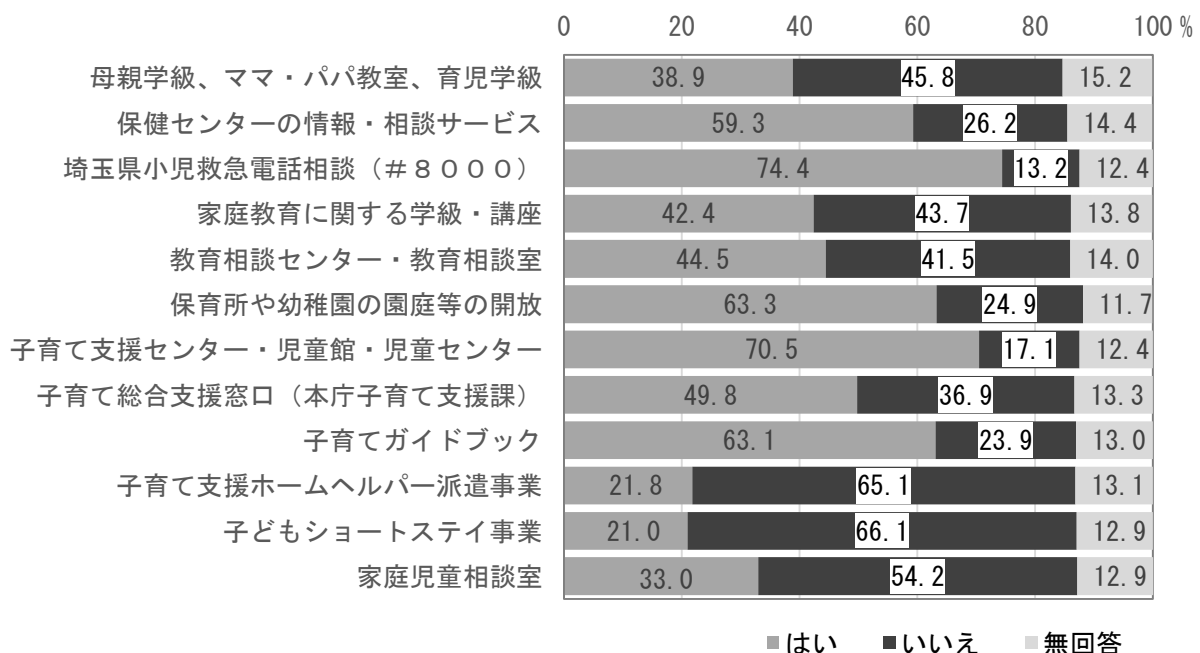


■はい ■いいえ ■無回答

今後の利用意向が高いものは、「埼玉県小児救急電話相談」が74.4%で最も高く、次いで、「子育て支援センター・児童館・児童センター」が同じく70%を超える割合となっています。また、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」と「子育てガイドブック」がともに60%を超える利用意向となっています。

### 〔今後の利用意向〕

(n=1,765)



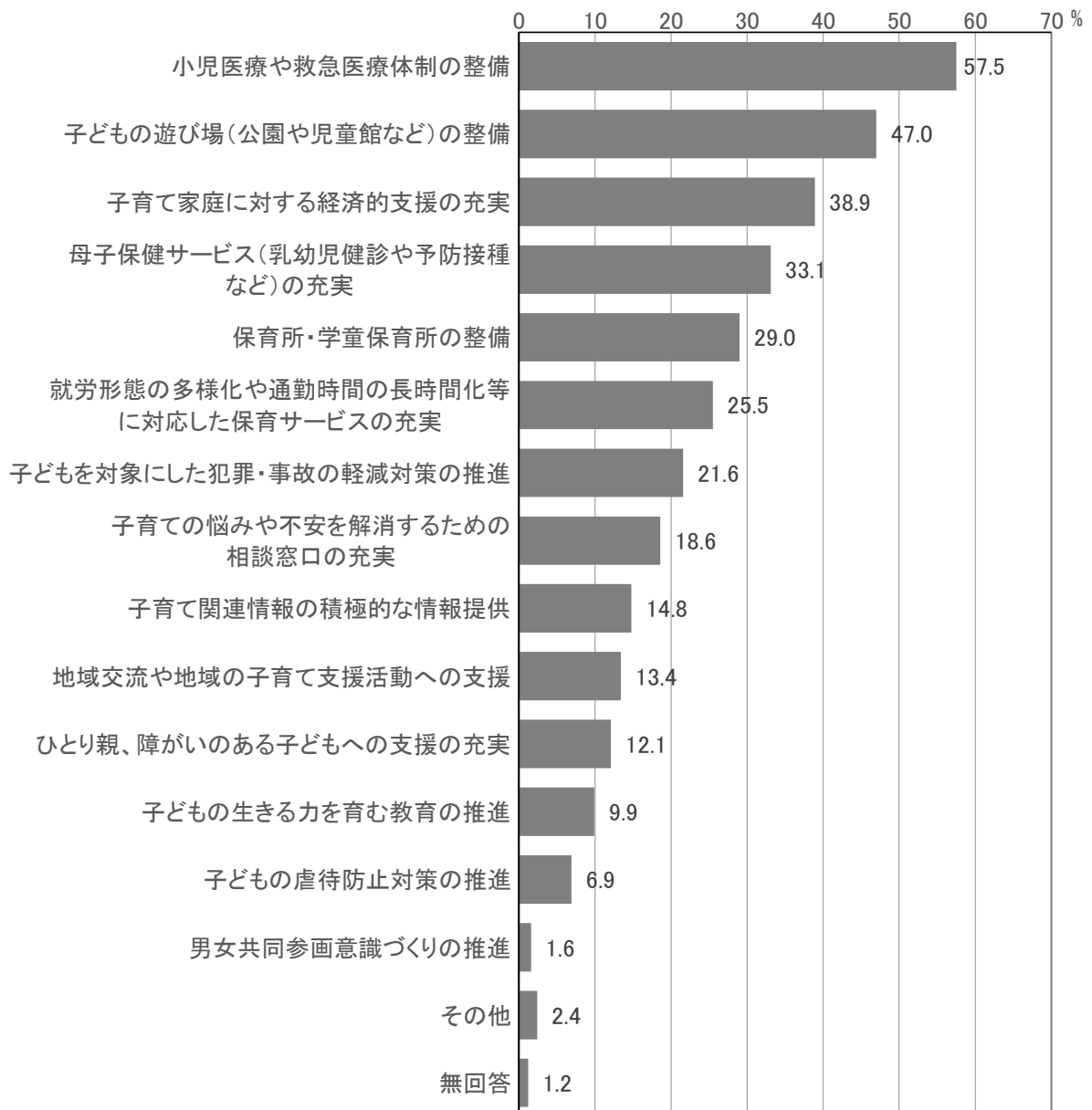
■はい ■いいえ ■無回答

**問 19 今後、久喜市の子育て環境を良くしていくために、ぜひ充実していくべきだと思うものはありますか。(複数回答、3つまで○)**

充実していくべきと思うものでは、「小児医療や救急医療体制の整備」が 57.5%で最も高く、次いで、「子どもの遊び場の整備」が 47.0%、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が 38.9%となっています。

「小児医療や救急医療体制の整備」と「子どもの遊び場の整備」の回答の高さは、問 11 の必要とする情報の結果とも符合しており、「医療サービス」と「遊び場」に対する児童、保護者のニーズは高いといえます。

(n=1,765)



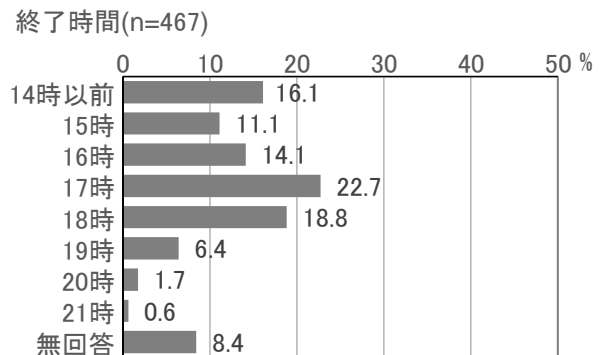
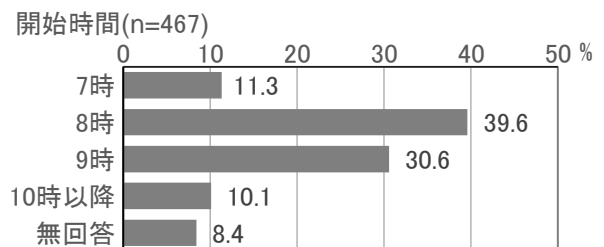
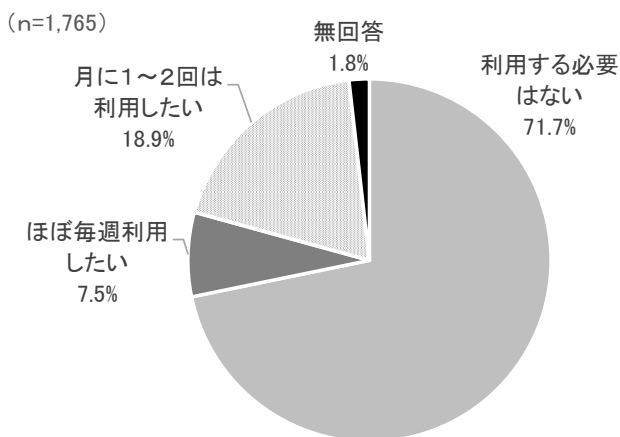
## 6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。（それぞれ単数回答、数量回答）

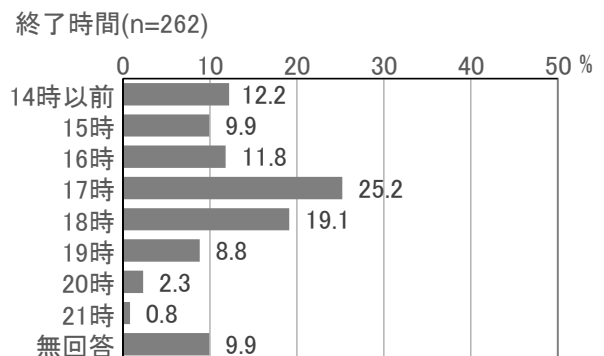
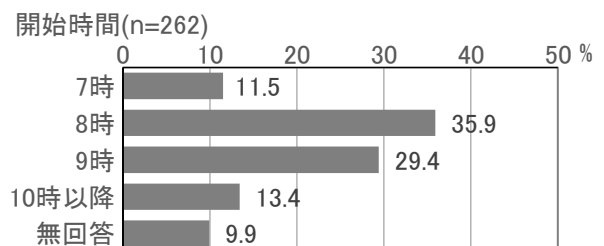
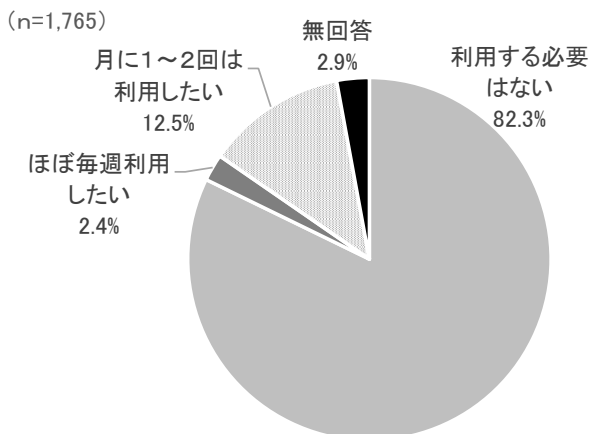
土曜日の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が71.7%で大半を占めていますが、「月に1～2回は利用したい」が18.9%、「ほぼ毎週利用したい」が7.5%で、合わせて2割強の利用意向があります。利用時間帯は、おおむね8～9時から17時前後にかけてとなっています。

日曜日・祝日の利用希望では、土曜日よりは減るものの、1割強の利用意向があります。利用時間帯は土曜日とほぼ同じ結果となっています。

### 〔土曜日〕



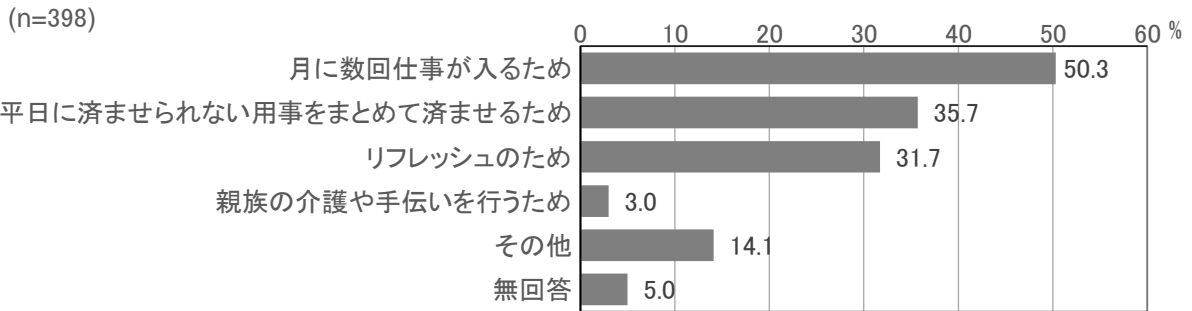
### 〔日曜日・祝日〕



※問 20 の土曜日または日曜日・祝日で「月に1～2回は利用したい」を選択した方

問 20-1 毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由はなんですか。(複数回答)

土曜日や休日の教育・保育事業を月に1～2回利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が50.3%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.7%、「リフレッシュのため」が31.7%となっています。



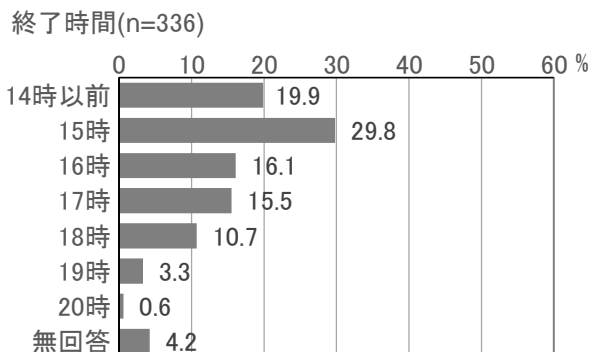
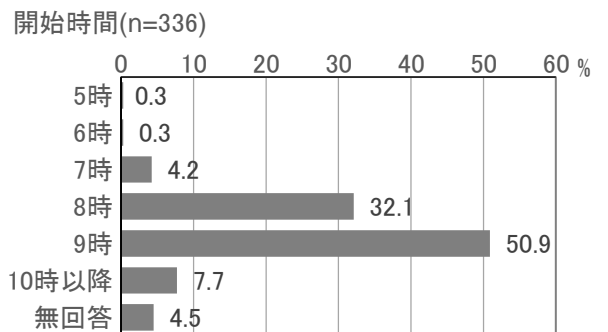
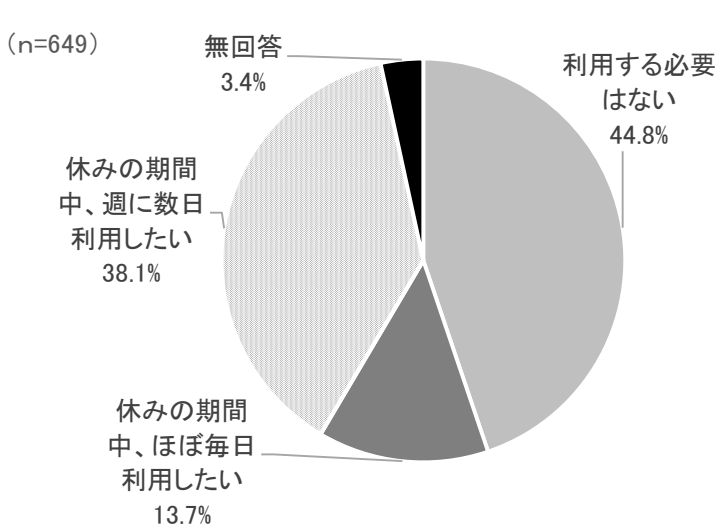
※幼稚園を利用されている方

問 21 宛名のお子さまについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(単数回答、数量回答)

長期休暇期間中の教育・保育事業利用については、「利用する必要はない」が44.8%で最も高くなっていますが、「週に数日利用したい」が38.1%、「ほぼ毎日利用したい」が13.7%で、合わせると51.8%に利用意向があるといえます。

利用したい時間帯は、開始は8～9時からがほとんどで、終了時間は「15時」が29.8%「14時以前」が19.9%、16時以降が46.2%となっています。

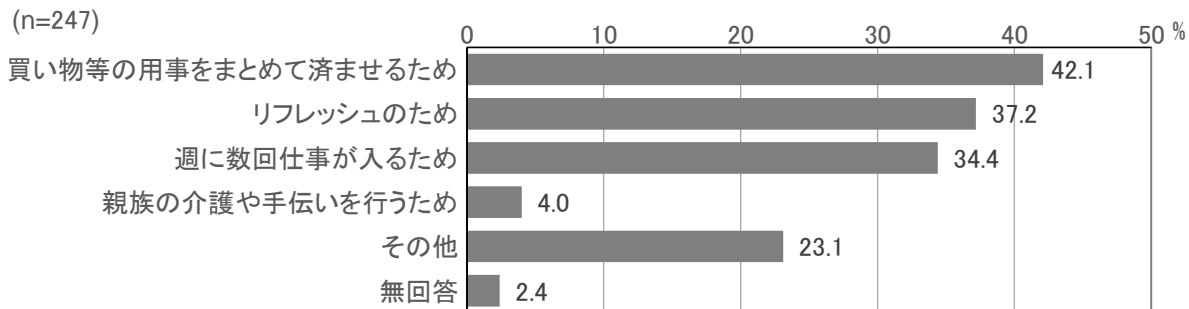
5割が『利用したい』と回答しており、ニーズの高さがうかがえます。



※問 21 で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した方

問 21-1 毎日ではなく、週に数日利用したい理由はなんですか。（複数回答）

週に数日利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 42.1%で最も高く、次いで、「リフレッシュのため」が 37.2%、「週に数回仕事が入るため」が 34.4%となっています。

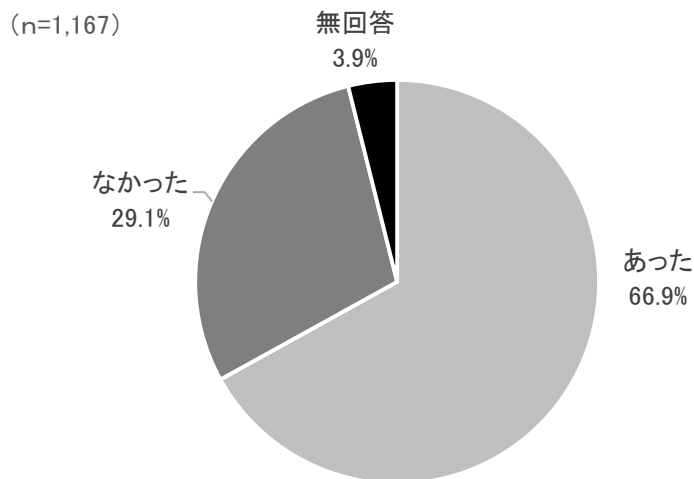


## 7 病気の際の対応について

※平日に定期的な教育・保育事業を利用されている方

問 22 この 1 年間に、宛名のお子さまが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（単数回答）

病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が 66.9%、「なかった」が 29.1%で、3 人に 2 人の割合で「あった」と回答しています。

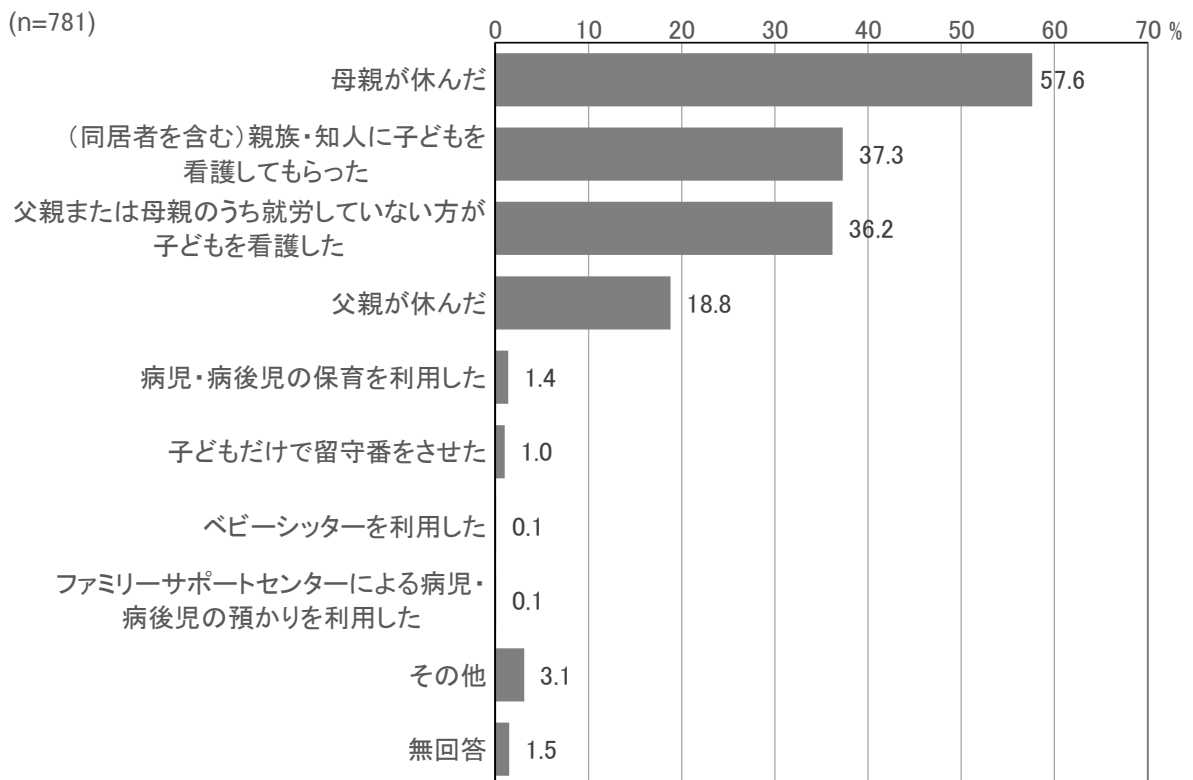


※問 22 で「あった」を選択した方

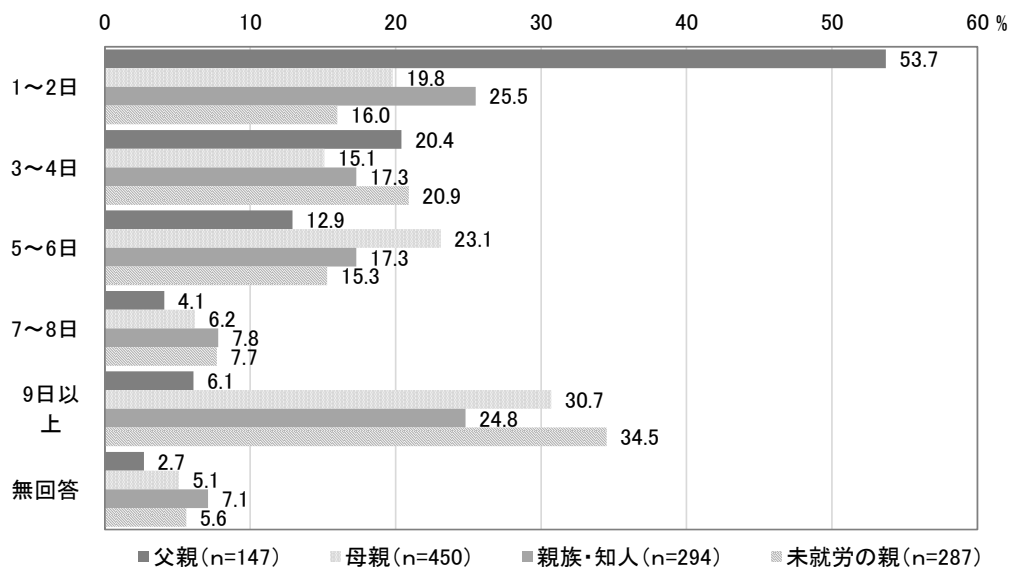
問 22-1 宛名のお子さまが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応はどれですか。それぞれの日数（おおよそ）もご記入ください。（複数回答、数量回答）

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対応は、「母親が休んだ」が 57.6%で最も高く、次いで、「親族・知人に子どもを看護してもらった」が 37.3%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看護した」が 36.2%、「父親が休んだ」が 18.8%となっています。

対応に要した日数では、父親は「1～2日」が 53.7%で大半の割合となっていますが、母親、未就労の親の対応は「9日以上」が 30%前後で最も高くなっています。



〔対応に要した日数〕



※「病児・病後児の保育を利用した」から「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

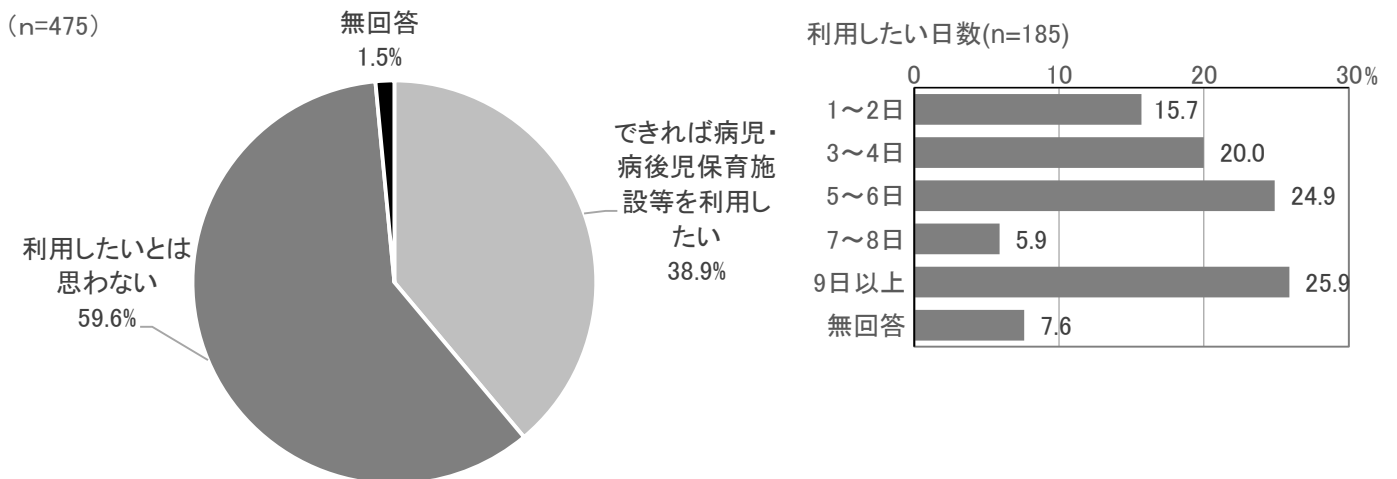
	病児・病後児 (n=11)	ベビーシッター (n=1)	ファミリーサ ポートセンター (n=1)	子どもが留守番 (n=9)	その他 (n=27)
1～2日	27.3	0.0	100.0	55.6	14.8
3～4日	18.2	0.0	0.0	22.2	7.4
5～6日	27.3	0.0	0.0	11.1	7.4
7～8日	9.1	0.0	0.0	0.0	22.2
9日以上	9.1	100.0	0.0	11.1	22.2
無回答	9.1	0.0	0.0	0.0	25.9

※問 22-1 で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」のどちらかを選択した方

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。利用したい日数（おおよそ）についてもご記入ください。（単数回答、数量回答）

病児・病後児の施設等の利用意向は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 38.9% であるのに対し、「利用したいとは思わない」は 59.6% で半数を超える割合となっています。

また、利用意向がある方の利用日数は、「9日以上」が 25.9% で最も高く、次いで「5～6日」が 24.9%、「3～4日」が 20.0% となっています。

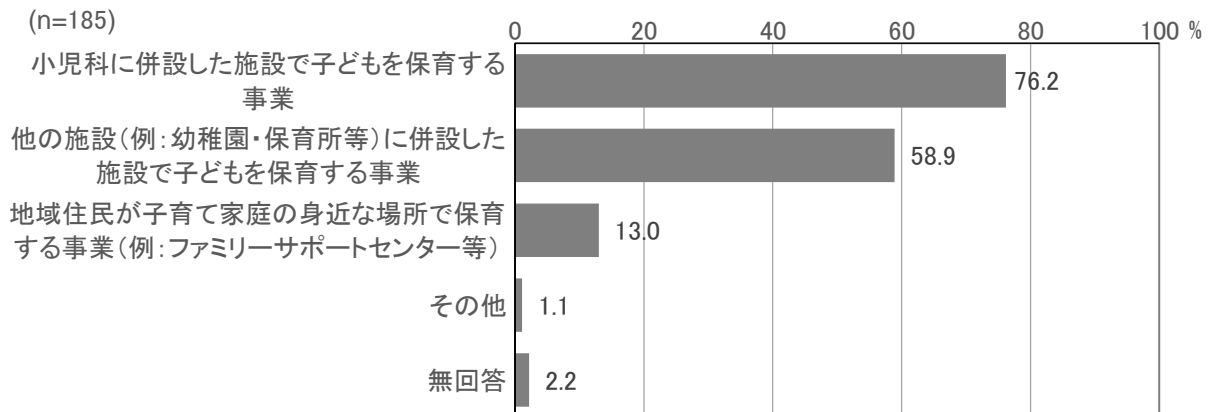




※問 22-2 で「できれば利用したい」を選択した方

問 22-3 病気やケガに対応する目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(複数回答)

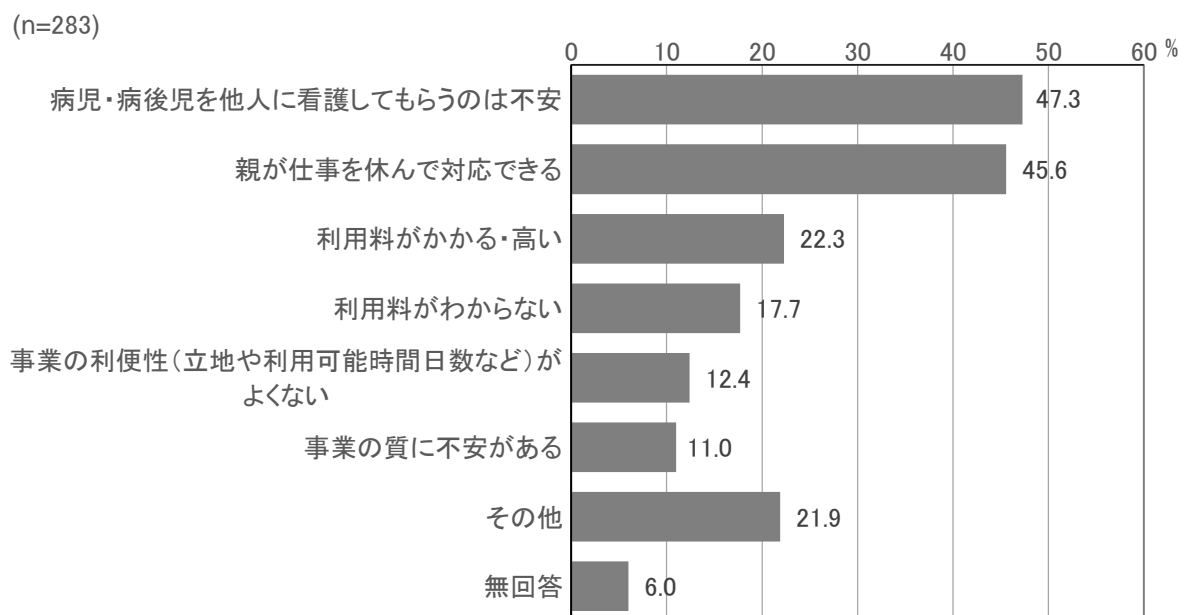
望ましい事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 76.2%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 58.9%と、この 2 項目の回答が高くなっています。



※問 22-2 で「利用したいと思わない」を選択した方

問 22-4 利用したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

病児・病後児施設を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が 47.3%、「親が仕事を休んで対応できる」が 45.6%で、この 2 項目の回答が高くなっています。



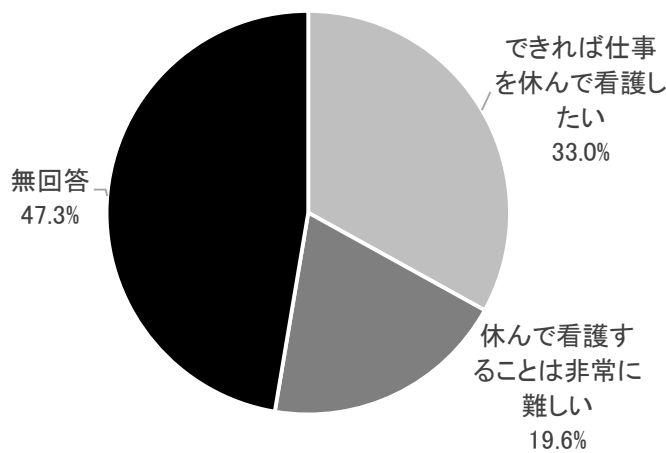
※問 22-1 で両親が休む以外の対応を選択した方

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。また、問 22-1 の選択肢「親族・知人」から「その他」で回答した日数のうち、仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。  
(単数回答、数量回答)

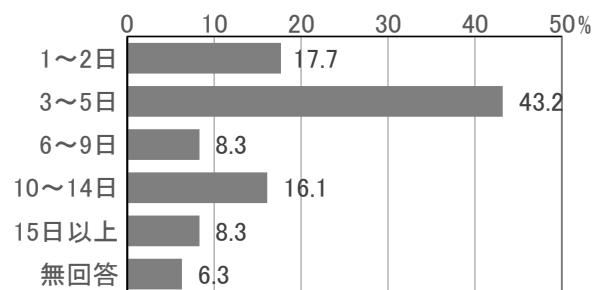
仕事を休んで対応したかったかどうかについては、「できれば仕事を休んで看護したい」が 33.0%、「休んで看護することは非常に難しい」が 19.6%となっています。

また、休んで看護したかった日数は、「3～5日」が 43.2%で最も高く、次いで「1～2日」が 17.7%、「10～14日」が 16.1%となっています。

(n=581)



仕事を休んで看護したかった日数(n=192)

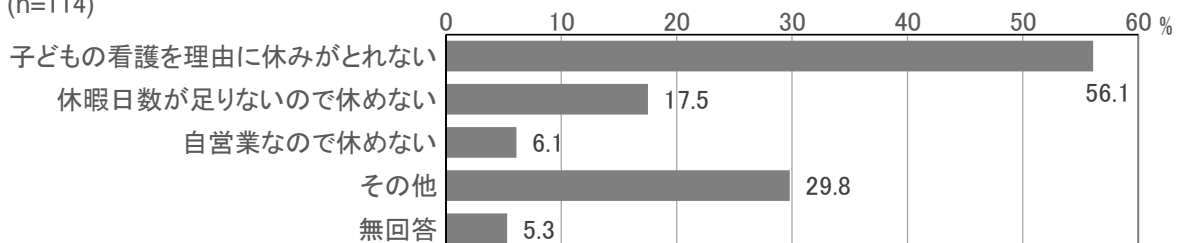


※問 22-5 で「休んで看護することは非常に難しい」を選択した方

問 22-6 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

仕事を休んで看護することは難しいと思う理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 56.1%で最も高く、次いで、「その他」が 29.8%、「休暇日数が足りないので休めない」が 17.5%となっています。

(n=114)



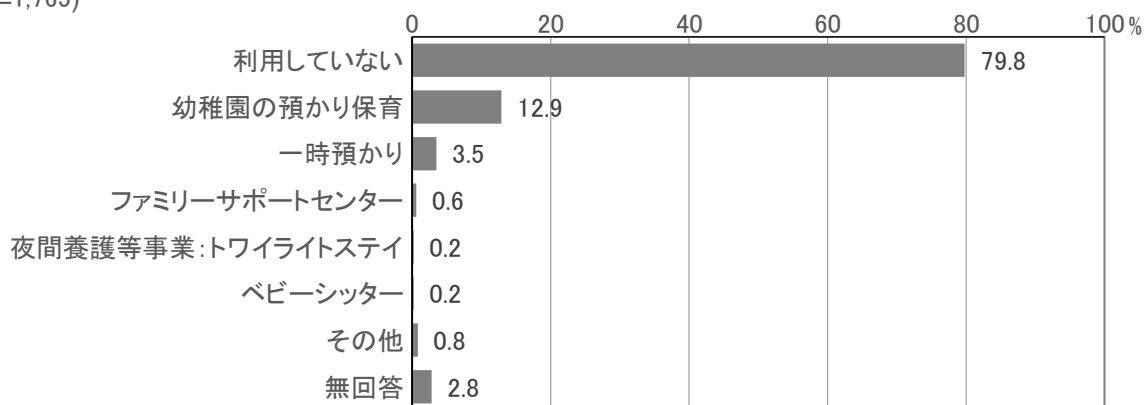
## 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さまについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（複数回答、数量回答）

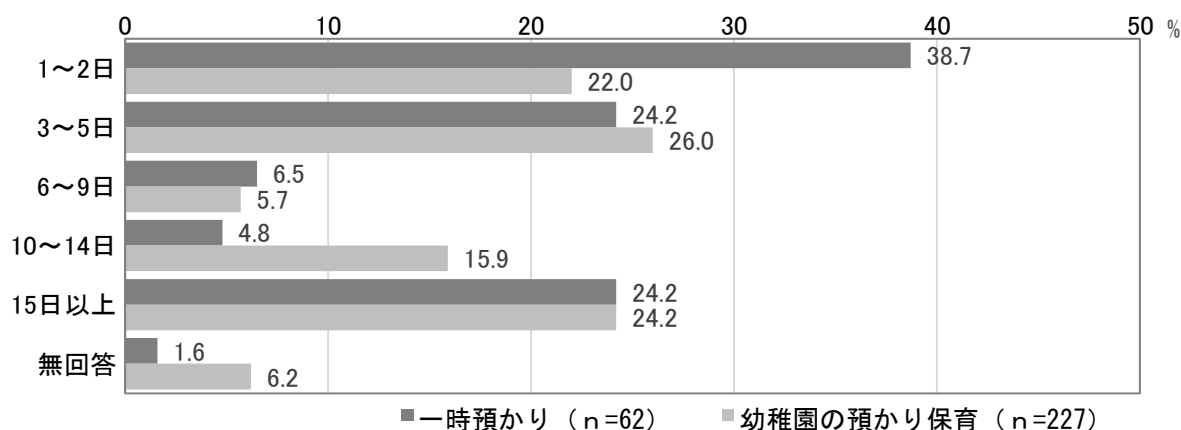
不定期的に利用している事業は、「利用していない」が79.8%で最も高くなっていますが、「幼稚園の預かり保育」が12.9%、「一時預かり」が3.5%となっています。

利用日数では、一時預かりは「1～2日」が38.7%、幼稚園の預かり保育では「3～5日」が26.0%で最も高くなっています。

(n=1,765)



〔1年間の利用日数〕



※「ファミリーサポートセンター」から「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載

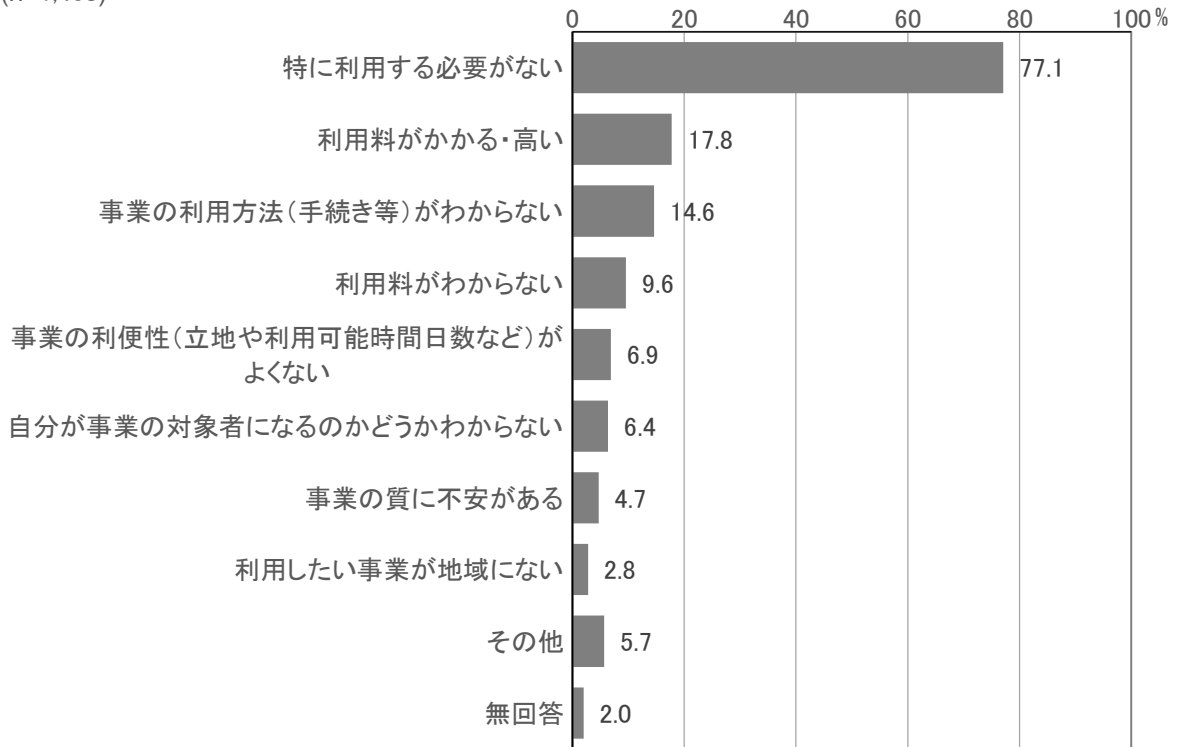
	ファミリーサポートセンター (n=11)	トワイライトステイ (n=3)	ベビーシッター (n=4)	その他 (n=14)
1～2日	36.4	0.0	25.0	7.1
3～5日	18.2	33.3	25.0	21.4
6～9日	9.1	0.0	0.0	0.0
10～14日	18.2	0.0	0.0	14.3
15日以上	0.0	0.0	50.0	42.9
無回答	18.2	66.7	0.0	14.3

※問 23 で「利用していない」を選択した方

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 77.1%と高くなっています。次いで、「利用料がかかる・高い」が 17.8%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 14.6%となっています。

(n=1,408)

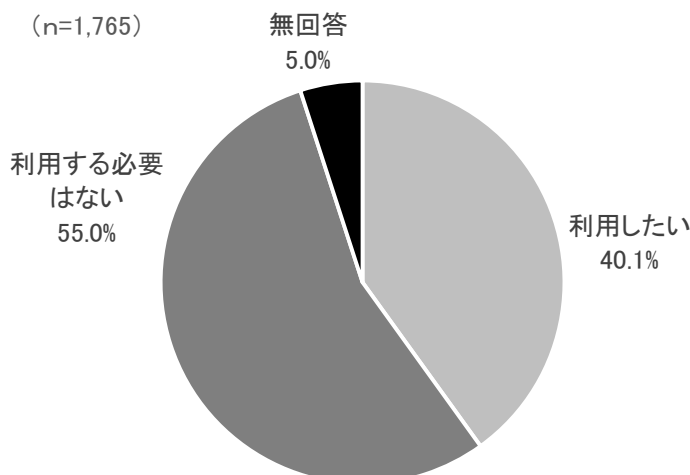


問 24 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。(複数回答、数量回答)

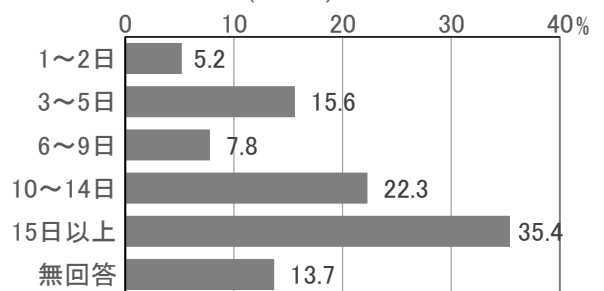
一時預かりの利用希望は、「利用したい」が 40.1%、「利用する必要はない」が 55.0%となっています。

利用したい日数の合計は、「15 日以上」が 35.4%となっています。

(n=1,765)



利用したい合計日数(n=707)



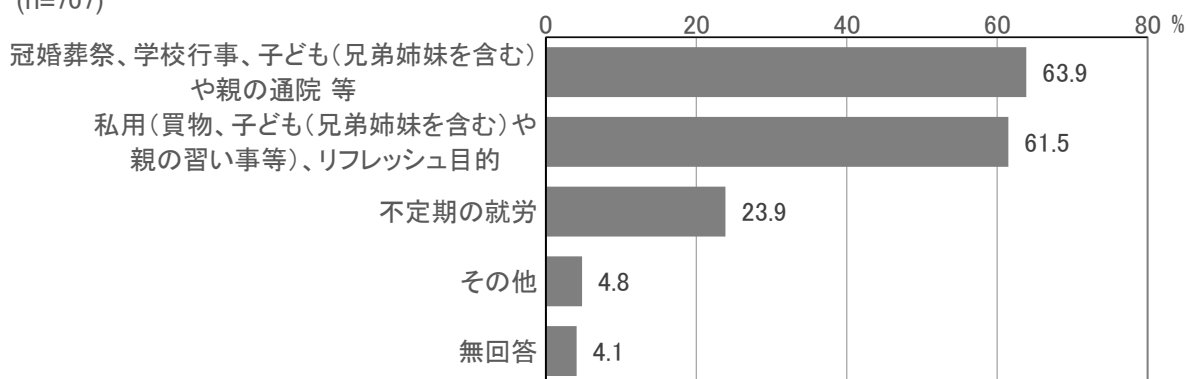
利用目的では、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が63.9%、「私用、リフレッシュ目的」が61.5%でそれぞれ60%を超える割合となっています。次いで、「不定期の就労」が23.9%となっています。

利用したい日数では、「私用、リフレッシュ目的」は「10～14日」が30.1%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は「3～5日」が37.8%、「不定期の就労」は「15日以上」が42.0%で、それぞれ最も高くなっています。

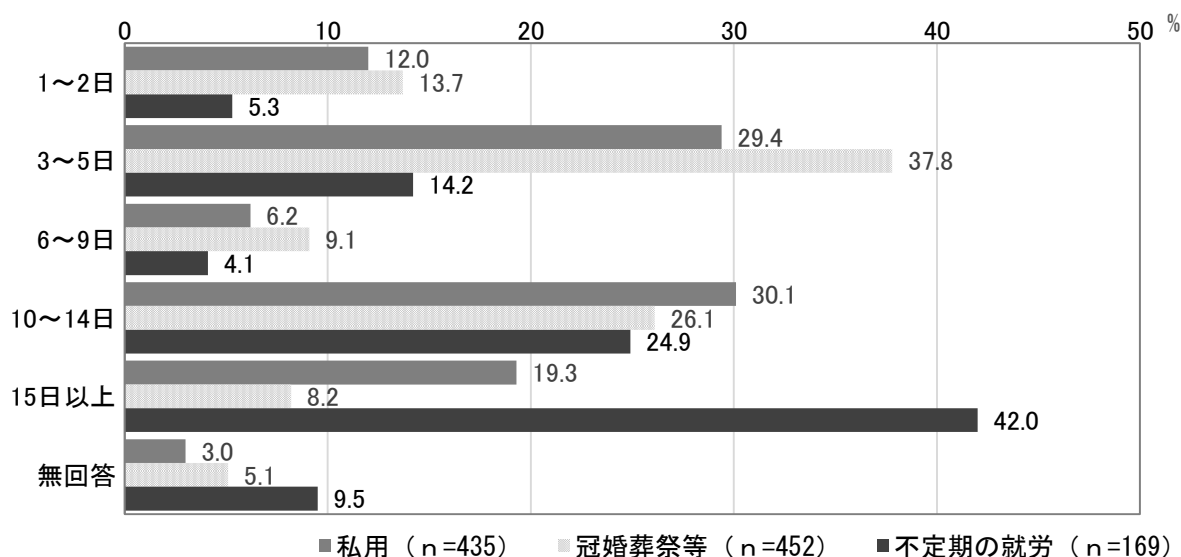
「私用、リフレッシュ目的」に6割を超える回答があり、就学前児童の保護者のリフレッシュ対策の必要性がうかがえます。

### 〔利用目的〕

(n=707)



### 〔利用目的別の利用したい日数〕



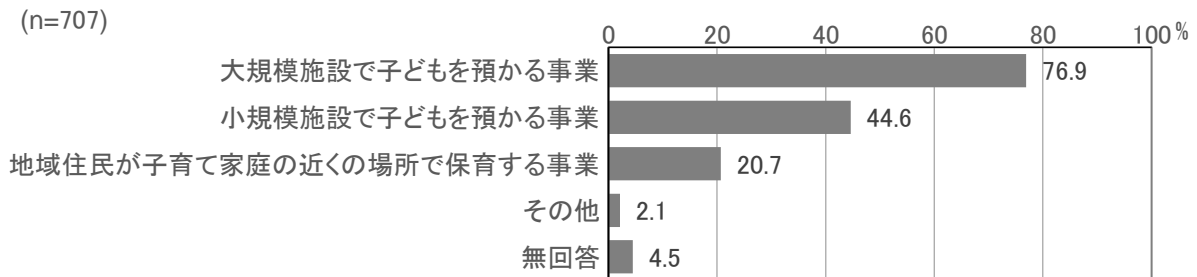
※「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載

	その他 (n=34)
1～2日	20.6
3～5日	26.5
6～9日	0.0
10～14日	29.4
15日以上	11.8
無回答	11.8

※問 24 で「利用したい」を選択した方

問 24-1 問 24 の目的でお子さまを預ける場合、望ましいと思われる事業形態は何ですか。(複数回答)

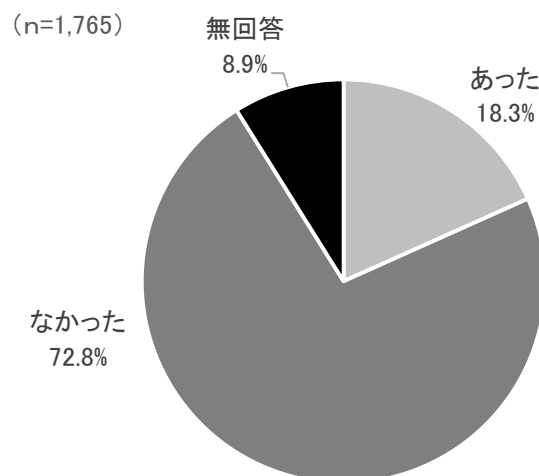
お子さまを一時預かりで預ける場合の望ましい事業形態では、「大規模施設で子どもを預かる事業」が 76.9%で最も高く、次いで、「小規模施設で子どもを預かる事業」が 44.6%、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業」が 20.7%となっています。



問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さまを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応を選択し、それぞれの日数もご記入ください。(複数回答、数量回答)

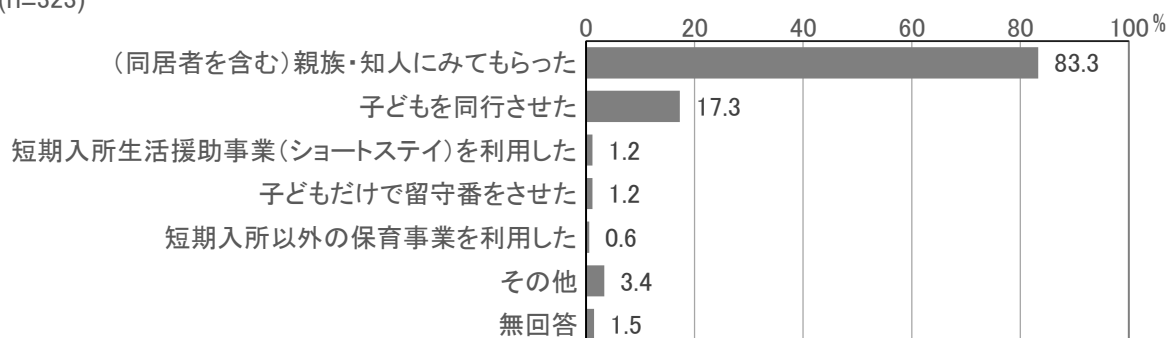
泊りがけでお子さまを家族以外にみてもらわなければならないことは、「あった」が 18.3%、「なかった」が 72.8%となっています。

あった場合の対応では、「親族・知人にみてもらった」が 83.3%で最も高く、次いで、「子どもを同行させた」が 17.3%となっています。対応に要した日数では、先の2項目はともに「1～2泊」が約4割で最も高く、次いで高い「3～5泊」を合わせると、6割強が5泊以内の対応が発生していることがうかがえます。

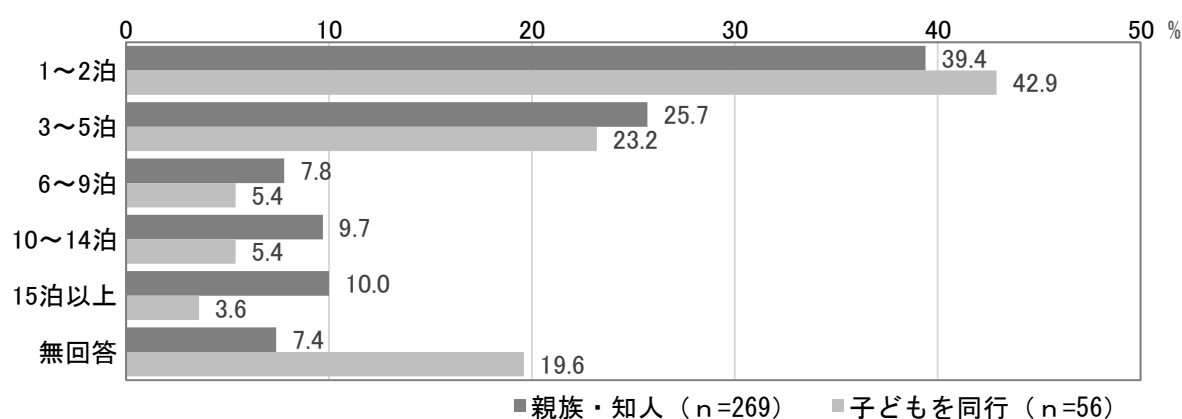


〔泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったときの対応〕

(n=323)



〔対応に要した日数〕



※「短期入所生活援助事業」、「短期入所以外の保育事業」、「子どもだけで留守番」、「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	短期入所 (n=4)	短期入所以外 (n=2)	子ども留守番 (n=4)	その他 (n=11)
1~2泊	50.0	50.0	25.0	36.4
3~5泊	25.0	0.0	50.0	36.4
6~9泊	0.0	0.0	0.0	0.0
10~14泊	0.0	0.0	0.0	9.1
15泊以上	0.0	50.0	0.0	0.0
無回答	25.0	0.0	25.0	18.2

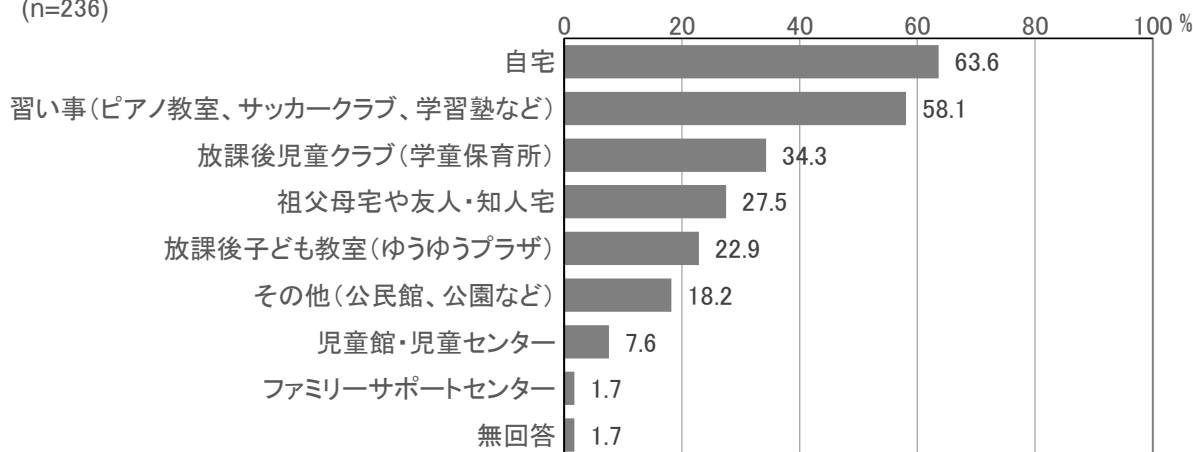
## 9 来年度、小学校入学予定の児童を持つ保護者の方にかがいます

問 26 宛名のお子さまについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（複数回答、数量回答）

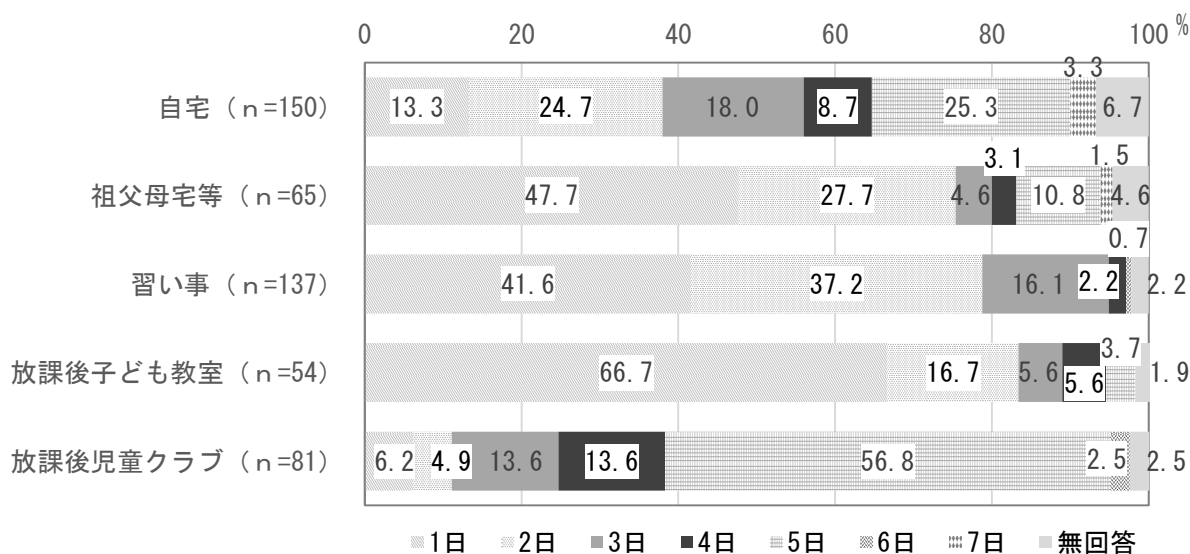
小学校低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が63.6%で最も高く、次いで「習い事」が58.1%、「放課後児童クラブ」が34.3%となっています。利用したい日数では、「祖父母宅等」、「習い事」、「放課後子ども教室」は週に1～2日の割合が高くなっていますが、放課後児童クラブは「5日」が56.8%で最も高くなっています。

また、放課後児童クラブの利用したい時間については、「18時」が40.7%で最も高く、次いで「17時」と「19時」がともに約20%となっています。

(n=236)

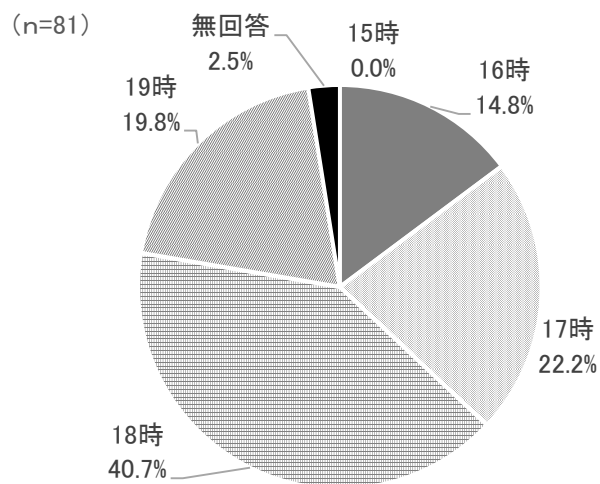


〔希望する利用日数〕





〔放課後児童クラブを何時まで利用したいかの意向〕



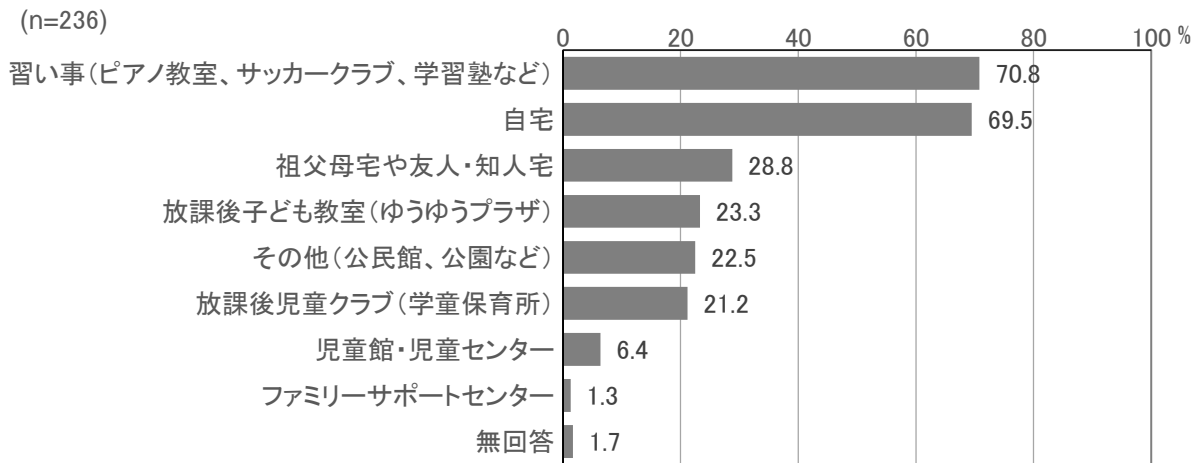
※「児童館・児童センター」、「ファミリーサポートセンター」、「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	児童館・児童センター (n=18)	ファミリーサポートセンター (n=4)	その他 (n=43)
1日	83.3	25.0	32.6
2日	5.6	0.0	34.9
3日	0.0	0.0	18.6
4日	5.6	25.0	0.0
5日	5.6	50.0	4.7
6日	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	4.7
無回答	0.0	0.0	4.7

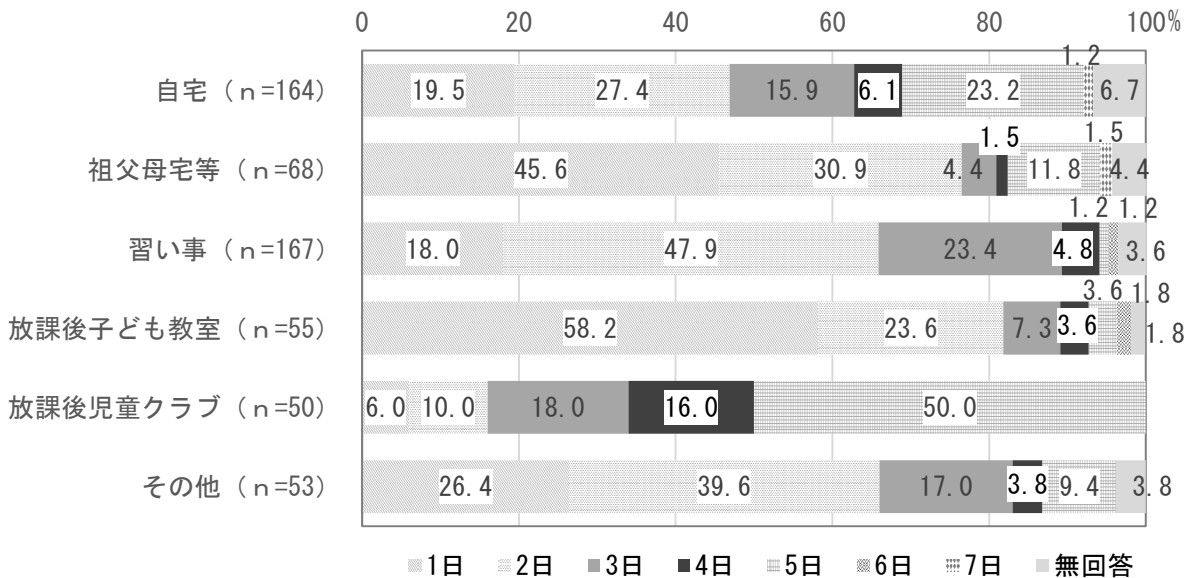
問 27 宛名のお子さまについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（複数回答、数量回答）

小学校高学年時の放課後の過ごし方は、「習い事」が70.8%で最も高く、次いで「自宅」が69.5%、「祖父母宅等」が28.8%となっています。利用したい日数では、「習い事」は2～3日の割合が高くなっています。放課後児童クラブは、低学年時と変わらず「5日」が50.0%で最も高くなっています。

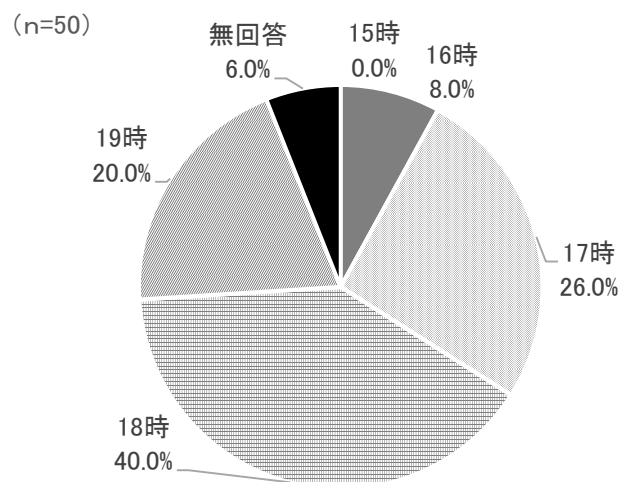
また、放課後児童クラブの利用したい時間については、「18時」が40.0%で最も高く、次いで「17時」が26.0%、「19時」が20.0%となっています。



〔希望する利用日数〕



〔放課後児童クラブを何時まで利用したいかの意向〕



※「児童館・児童センター」、「ファミリーサポートセンター」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	児童館・児童センター (n=15)	ファミリーサポートセンター (n=3)
1日	80.0	33.3
2日	13.3	0.0
3日	0.0	0.0
4日	6.7	33.3
5日	0.0	33.3
6日	0.0	0.0
7日	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0

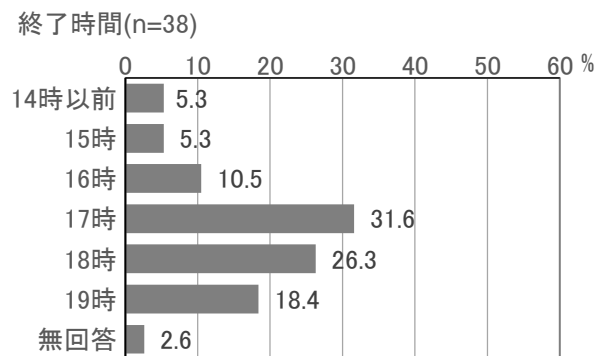
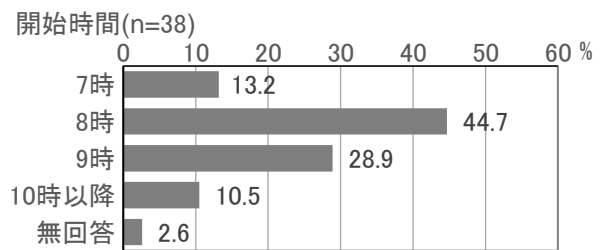
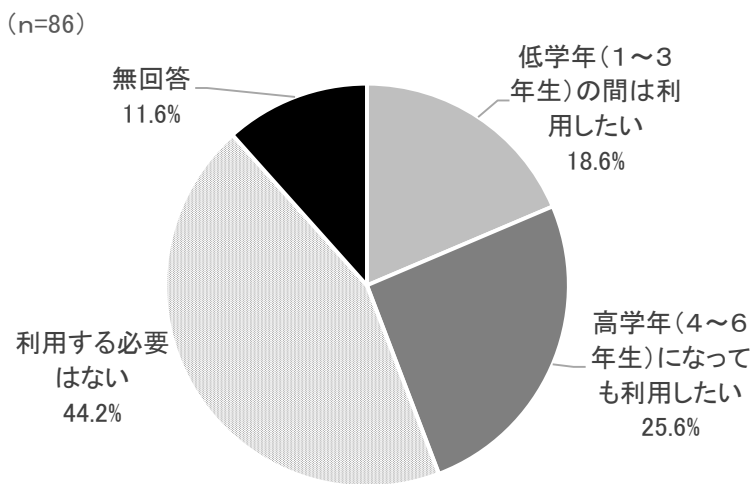
※問 26 または問 27 で「放課後児童クラブ」を選択した方

問 28 宛名のお子さまについて、長期の休暇中を除いた土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(それぞれ単数回答、数量回答)

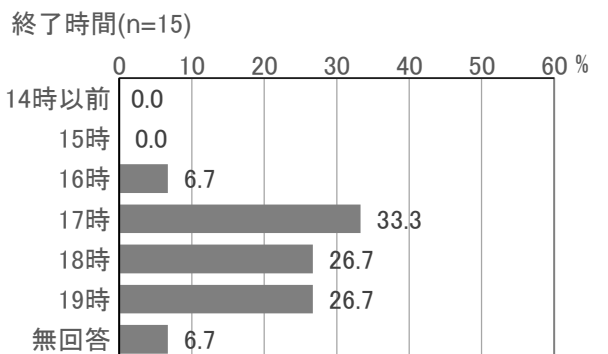
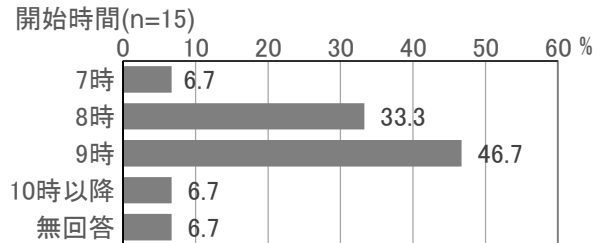
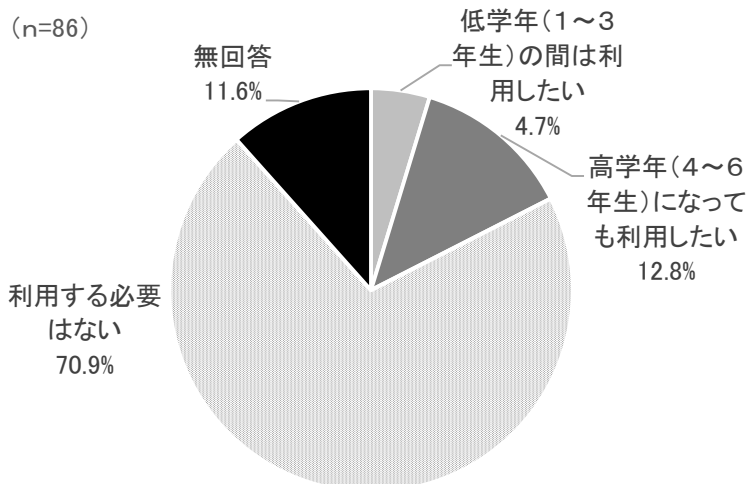
土曜日の放課後児童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が44.2%と最も高くなっていますが、「低学年の間は利用したい」の18.6%と「高学年になっても利用したい」の25.6%を合わせると44.2%となり、利用の有無の割合はおよそ半々となっています。利用時間については、「8時」から「17時」・「18時」の意向が高くなっています。

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向は、「低学年の間は利用したい」の4.7%と「高学年になっても利用したい」の12.8%を合わせて17.5%と2割近い意向がありますが、土曜日の利用意向と比べると低くなっています。

〔土曜日〕



〔日曜日・祝日〕



## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

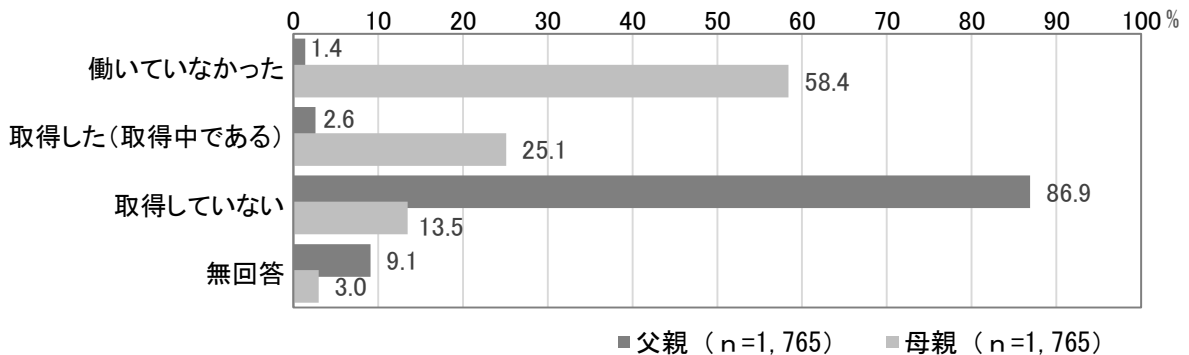
問 29 宛名のお子さまが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(単数回答)

また、取得していない方はその理由をご記入ください。(複数回答)

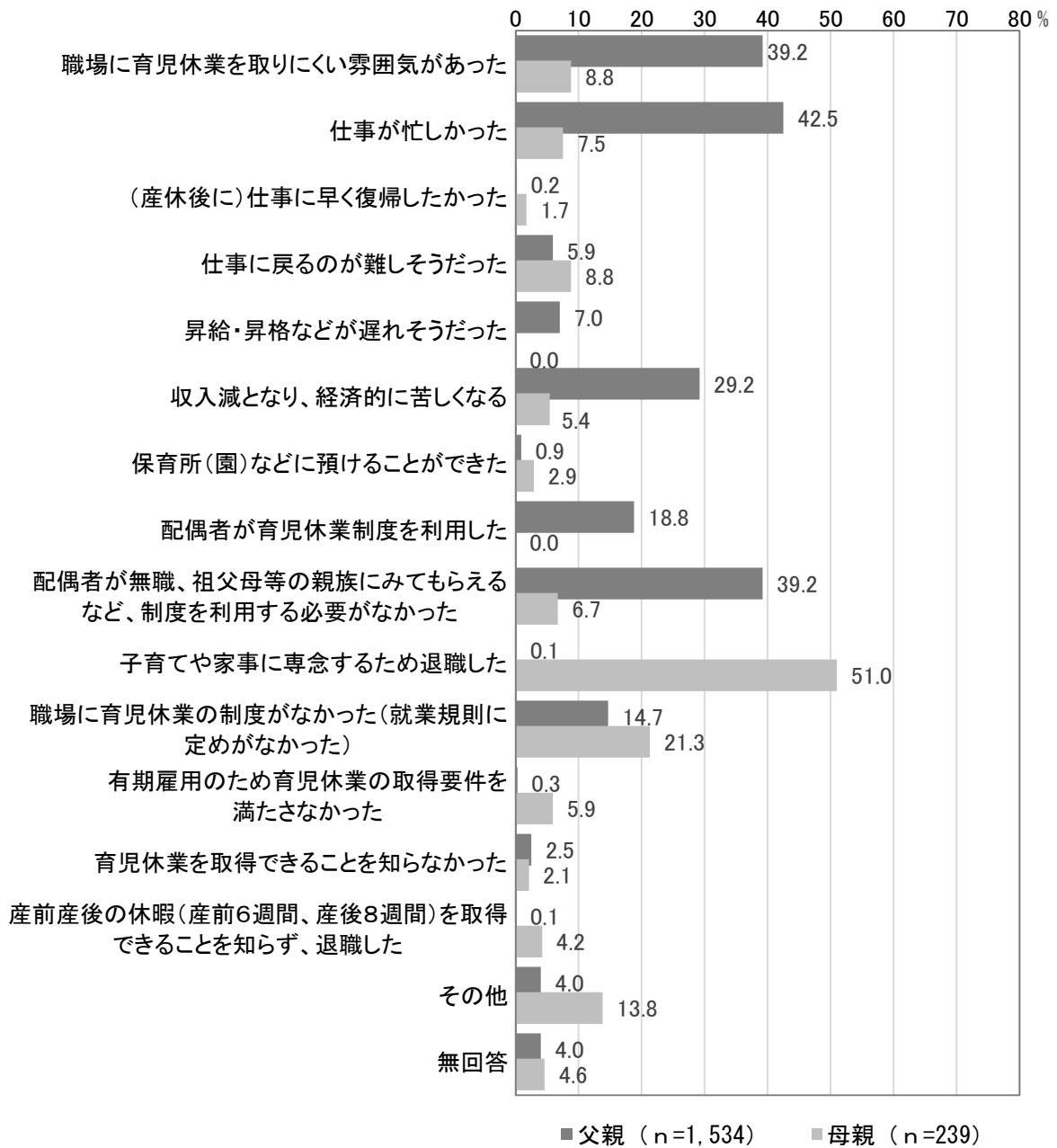
宛名のお子さまが生まれた時の育児休業取得状況は、父親は「取得していない」が86.9%で最も高く、母親は「働いていなかった」が58.4%で最も高くなっています。なお、「取得した(取得中である)」の割合は、父親で2.6%、母親で25.1%となっています。

取得していない理由については、父親は「仕事が忙しかった」が42.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がともに39.2%でそれぞれ約4割となっています。母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が51.0%で半数を超える回答があり、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が21.3%となっています。

出産時に「働いていなかった」と回答する母親が多いことから、育児休業を取得せず、妊娠・出産を期に仕事を辞めていることがうかがえます。

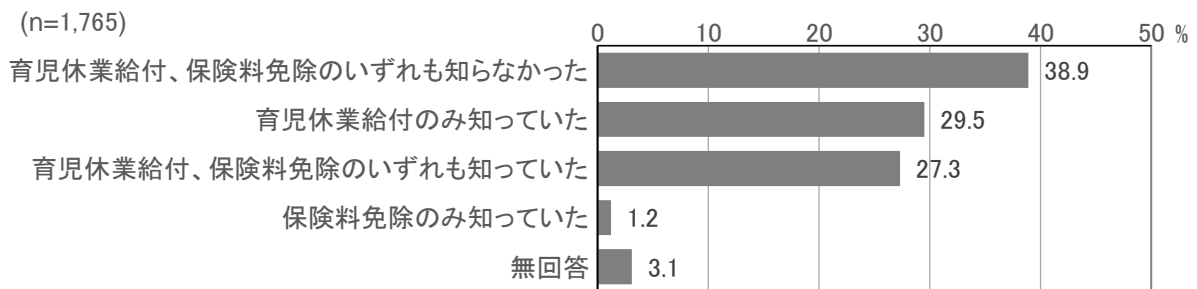


〔取得していない理由〕



問 29-1 子どもが原則1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（単数回答）

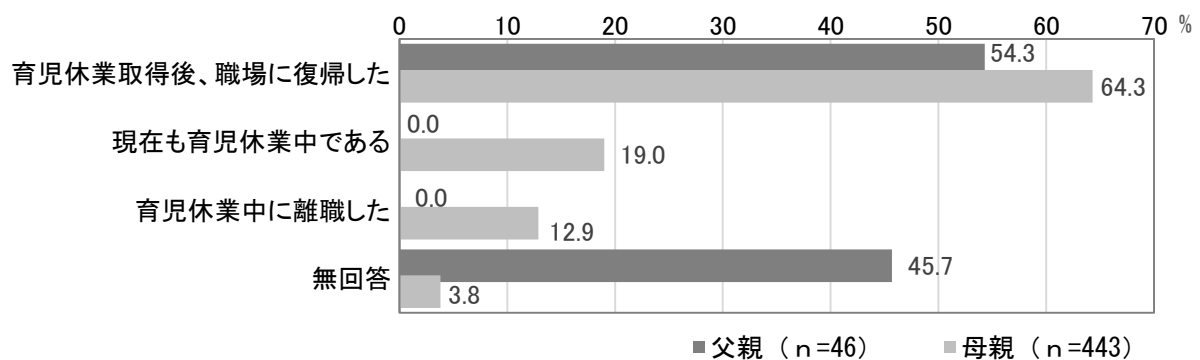
給付や免除の仕組みの周知度は、「いずれも知らなかった」が38.9%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が29.5%、「いずれも知っていた」が27.3%となっています。



※問 29 で「取得した（取得中である）」を選択した方

問 29-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ単数回答）

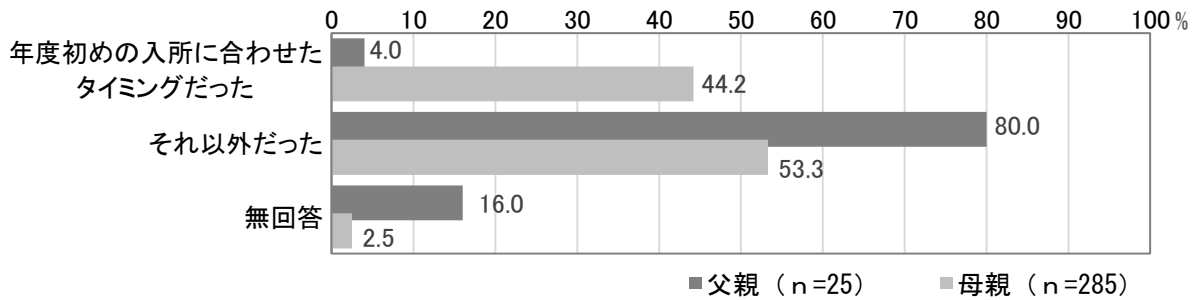
育児休業取得後の職場復帰状況は、父親・母親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が5割以上の割合で最も高くなっています。一方、「育児休業中に離職した」は母親で12.9%の回答があります。



※問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方

問 29-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(それぞれ単数回答)

職場復帰のタイミングが年度初めであったかについては、「それ以外だった」が父親・母親ともに最も高くなっていますが、母親は次いで高い「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」も44.2%で半数近い割合となっています。



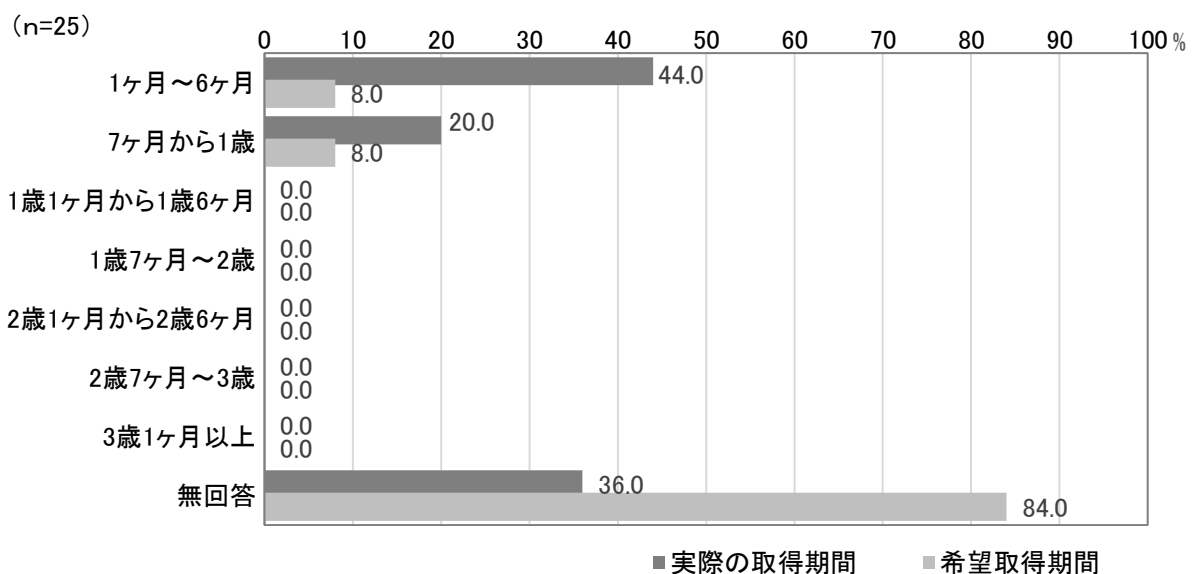
※問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方

問 29-4 育児休業からは、「実際」にお子さまが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数量回答)

父親の実際の取得期間は「1ヶ月～6ヶ月」が44.0%と最も高くなっています。

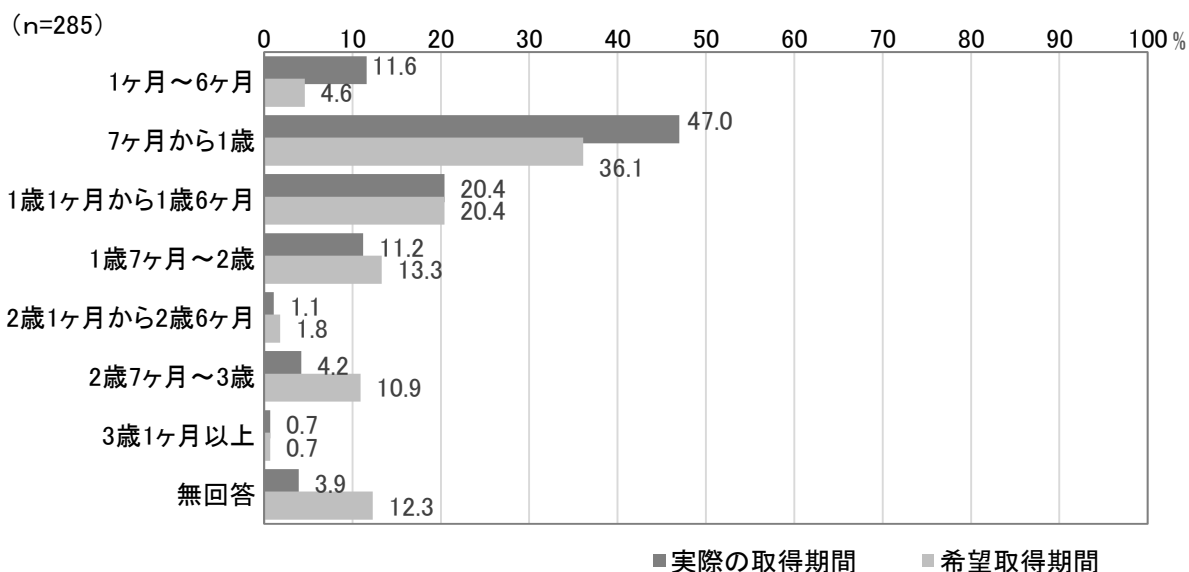
母親の実際の取得期間は「7ヶ月～1歳」が47.0%で最も高く、希望取得期間でも「7ヶ月～1歳」が36.1%で最も高くなっています。しかし、1歳7ヶ月から3歳までの期間においては、実際の取得期間よりも希望取得期間とする割合が高くなる傾向がみられます。

〔父親〕





〔母親〕



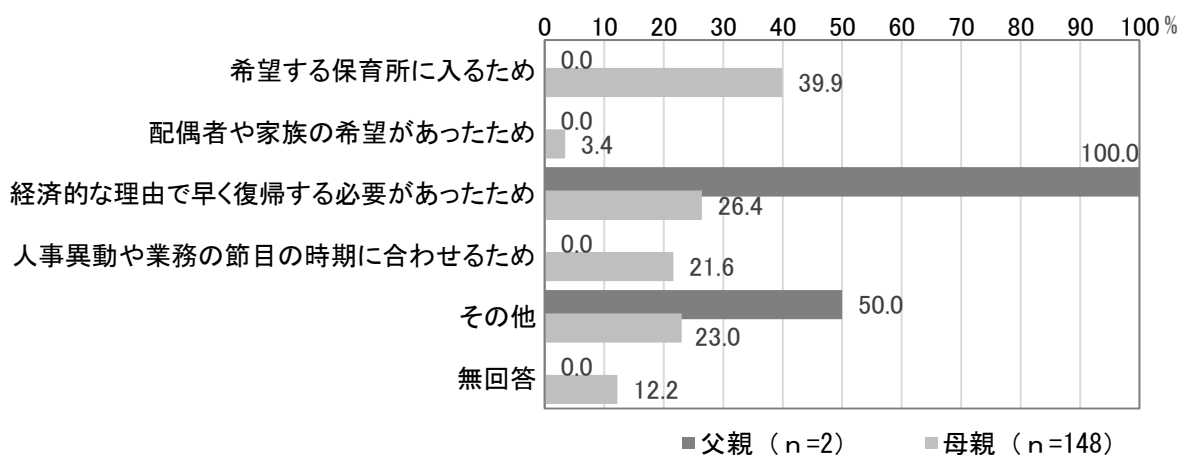
※問 29-4 で「実際」の復帰と「希望」の復帰が異なる方

問 29-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(それぞれ複数回答)

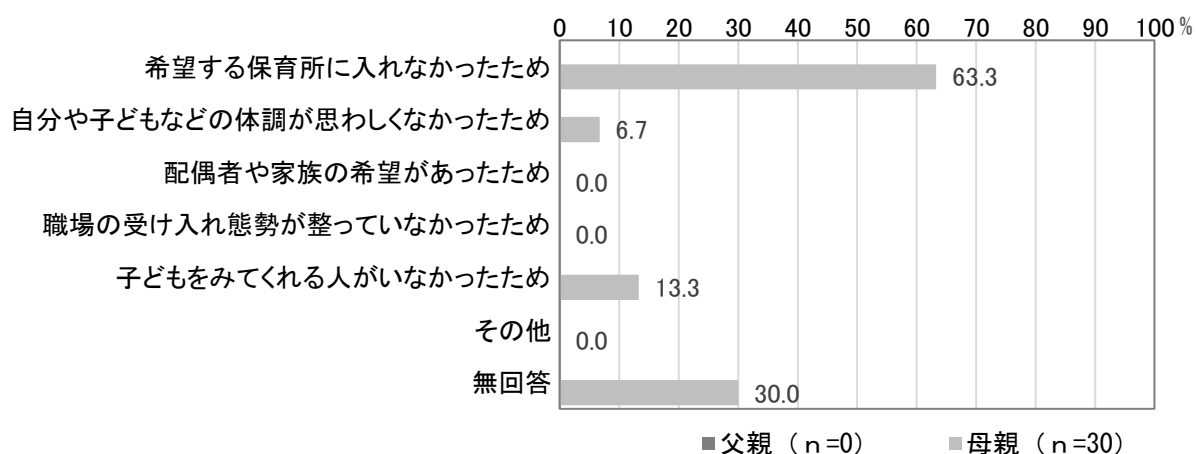
希望よりも早い期間で復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入るため」が 39.9%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 26.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 21.6%となっています。

希望よりも遅い時期に復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が 63.3%で最も高くなっており、希望より早い期間で復帰した理由同様に、保育所の入所のタイミングが育児休業の取得期間に少なからず影響を与えていることがうかがえます。

〔希望より早く復帰した理由〕



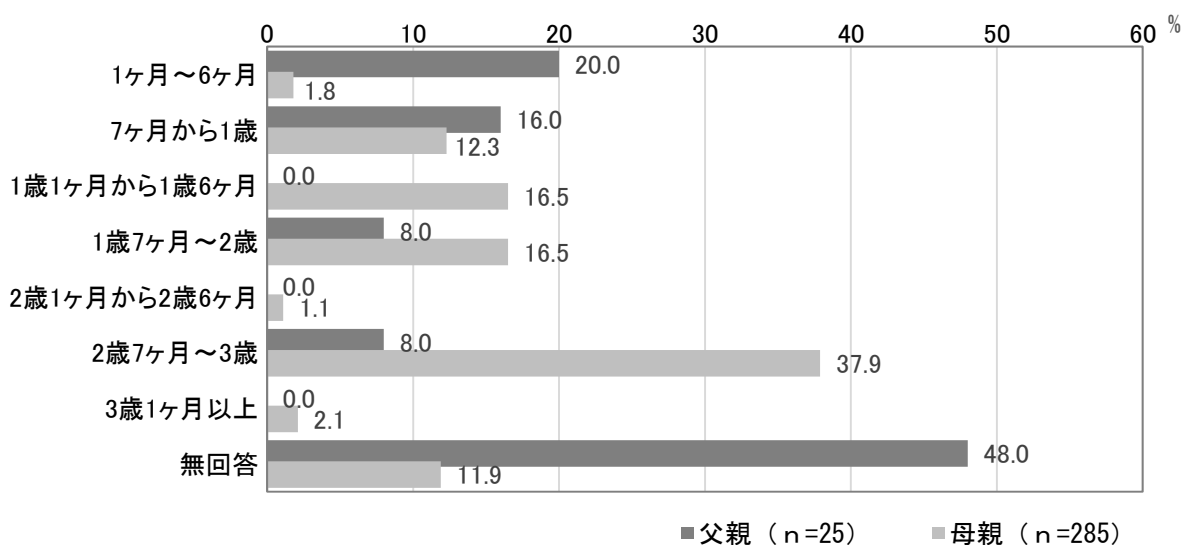
〔希望より遅く復帰した理由〕 ※父親は集計対象者なし



※問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方

問 29-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さまが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(それぞれ数量回答)

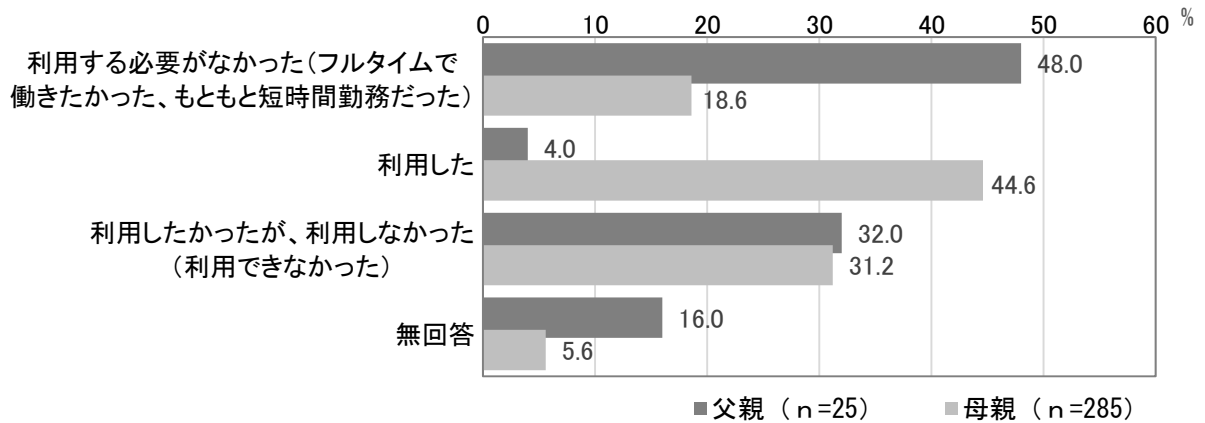
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間は、父親は「1ヶ月～6ヶ月」が20.0%で最も高くなっていますが、母親では「2歳7ヶ月～3歳」と、ほぼ3歳いっぱいまで取得したいとする回答が37.9%で最も高くなっています。



※問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方

問 29-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ単数回答)

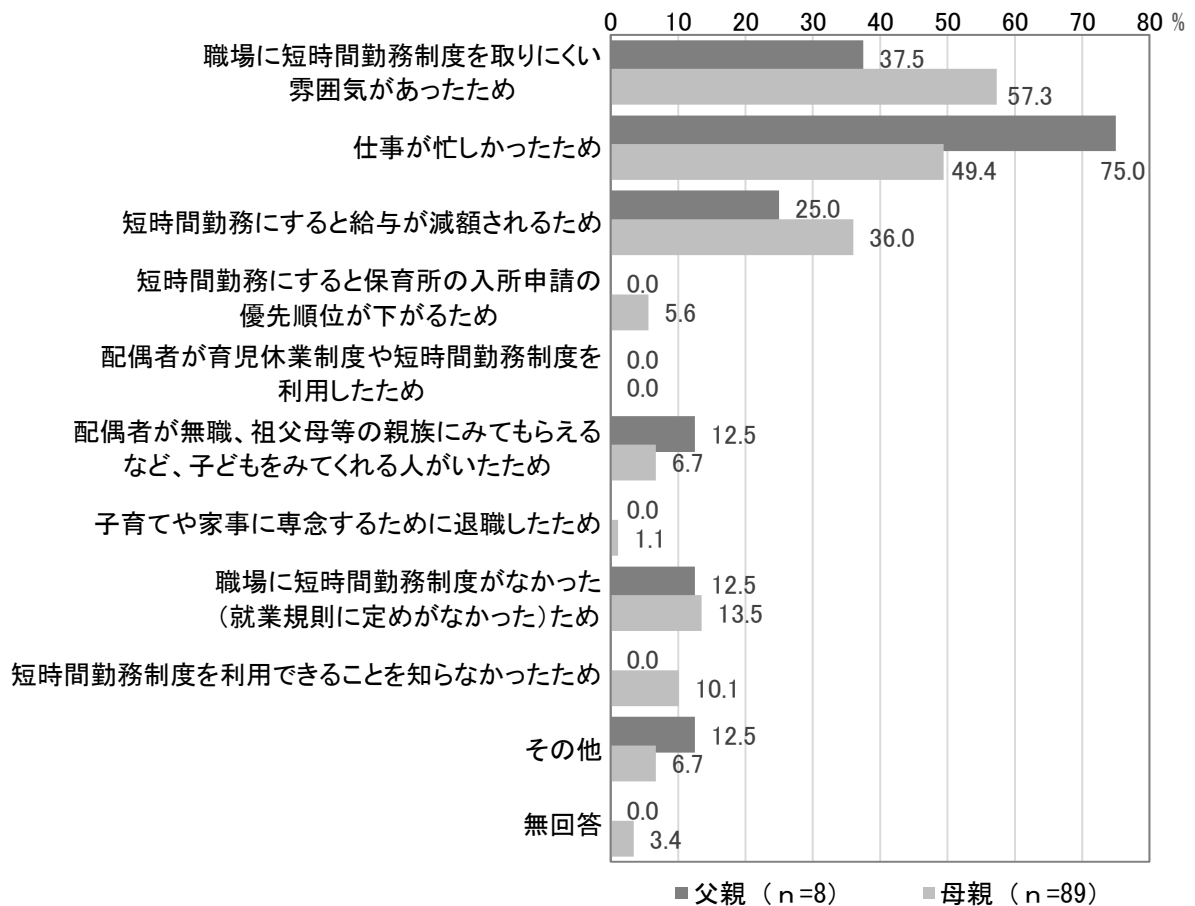
短時間勤務制度の利用状況は、父親は「利用する必要がなかった」が 48.0%で最も高くなっていますが、母親は「利用した」が 44.6%で最も高くなっています。また、父親・母親ともに「利用したかったが、利用しなかった」が約 3 割となっています。



※問 29-7 で「利用しなかった」を選択した方

問 29-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（それぞれ複数回答）

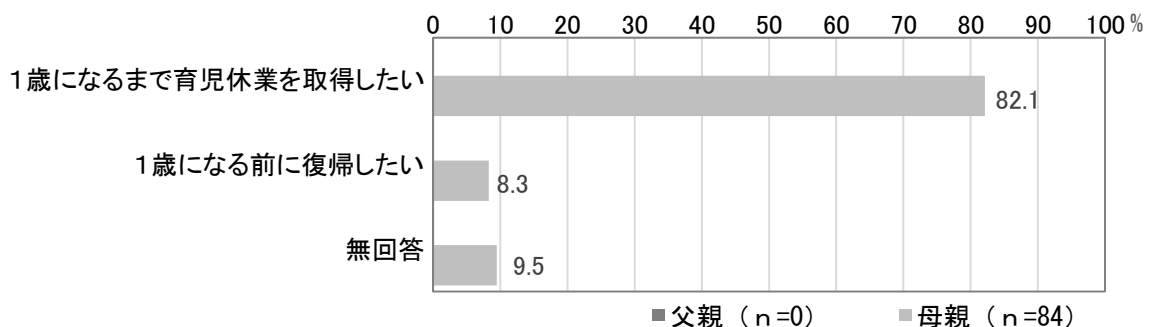
短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」が 57.3%で最も高く、次いで「仕事が忙しかったため」が 49.4%、「短時間勤務にすると給与が減額されるため」が 36.0%と、お勤め先が要因となる項目が上位 3 項目を占めています。



※問 29-2 で「現在も育児休業中である」を選択した方

問 29-9 宛名のお子さまが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。（それぞれ単数回答）

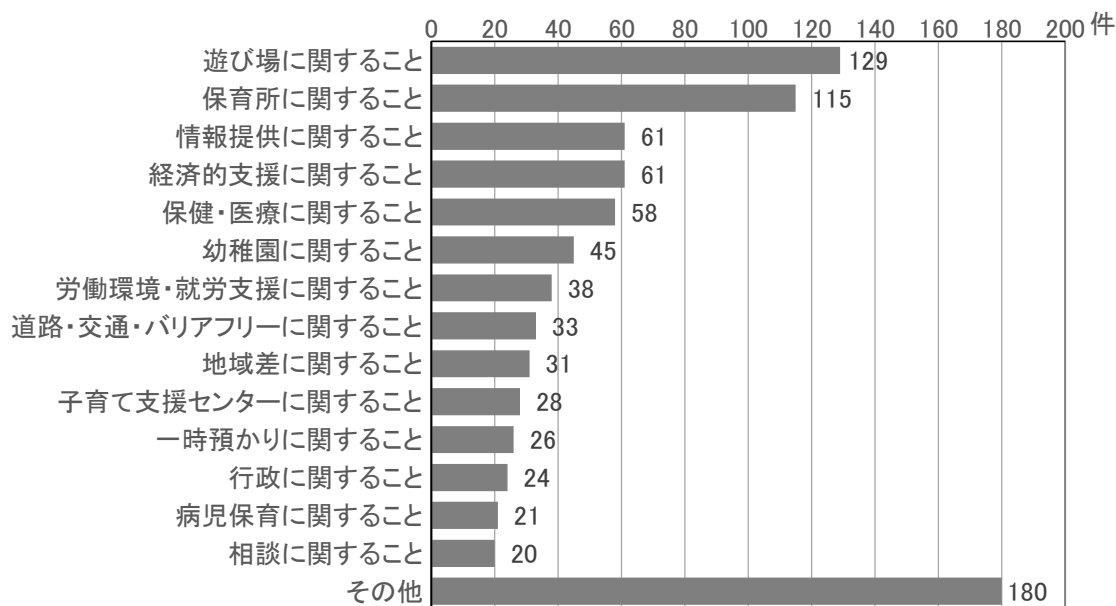
お子さまが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば 1 歳まで育児休業を取得するかについては、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」が 82.1%で高くなっています。



※父親は集計対象者なし

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら  
ご自由にご記入ください。

自由記述には、715人（1,765人の40.5%）、延べ870件の書き込みがありました。最も件数の多かった項目は「遊び場に関すること」で129件、次いで「保育所に関すること」が115件、「情報提供に関すること」、「経済的支援に関すること」が61件となっています。



※20個以上意見のあった項目を掲載、それ以下のものは「その他」にまとめて集計しています。

以下に、それぞれの項目の主な意見を抜粋して掲載します。

#### ◇遊び場に関すること

- ・近所に公園は多いのですが、老朽化、壊れている所を早く直してほしい。
- ・どこの公園に行っても雑草が高く生えていて、とても遊べる状態ではない。
- ・乳児、幼児、児童が遊べる十分な広さを確保した施設を望む。
- ・雨の日に子どもを思い切り遊ばせてあげられる施設がない。
- ・子どもたちが安心して遊べる場所を増やしてほしいです。
- ・駐車場のある公園がない。
- ・アスレチック遊具のある公園を作っていただきたい。
- ・家にこもりがちな0～1歳の親子が足を運びやすい遊び場、環境を整えてほしい。

#### ◇保育所に関すること

- ・2人目を産んだ後、産休明け、育児休業期間に保育所を退所しなければならないことに不満があります。
- ・希望する人が必ず入れるように待機児童0になる努力をしてほしい。
- ・保育所に在園しているが、保育内容に不安があります。また、担任が次々とやめ、変わっていくことにも不安。
- ・保育時間の始まりと終わりが、もう少し長くなれば最高だと思う。
- ・0歳児クラスの数や定員を増やしてほしい。そして子どもが1歳になる時に保育所に預けられるようにしてほしい。
- ・保育所を利用して働きたかったが、祖父母同居の場合は出来ないと断られた。

- ・保育所に預ける手続きや申し込みなどの情報を得るのが難しいと感じています。それから、保育所に入れるかどうか、2月上旬頃にわかるということですが、もう少し早くにわかるとありがたいです。
- ・職場の事もあるので、もっと前もって保育所に入れるかどうかわかるようになってほしい。
- ・五霞と隣接している栗橋地区の人は保育所として入所できるようにしてほしい。
- ・待機児童が多いと言いますが、調査をもう少し工夫するなどして、本当に必要な家庭の児童を受け入れる事が出来るようにお願いします。

#### ◇情報提供に関すること

- ・保育所や幼稚園の情報等が少ない。
- ・子どもの発育に沿った情報を定期的に知りたい。
- ・合併してから広報の子育て支援情報で、各地区の細かい情報が届かなくなった。
- ・子育て支援の内容、場所などを、すべて一冊にして配布してもらえると分かりやすいと思います。
- ・育児に関する事は郵送してもらえると助かります。

#### ◇経済的支援に関すること

- ・子育て世代への経済的支援がもっとあるとありがたいです。
- ・子どもが3人以上いる場合など、経済的支援の拡充を希望します。
- ・保育料をもう少し安くしてほしい。
- ・私立幼稚園の保育料を安くしてほしい。
- ・児童手当をもう少し上げてほしい。

#### ◇保健・医療に関すること

- ・小児医療の充実。救急の受入病院が少なすぎる。
- ・予防接種は無料にしてほしい。
- ・乳児健診の時、はじめの問診のスタッフが保健師や助産師の資格を持つ人でなかった。知識不足だと思いました。不安を感じた。

- ・乳幼児の検診は午後1時からではなく午前中に行ってほしいと思います。
- ・健康診断を平日にやられても仕事を休めない。

#### ◇幼稚園に関すること

- ・公立の幼稚園も3年保育になってほしい。
- ・幼稚園の保育時間はもっと長くしてほしい。
- ・公立の幼稚園は給食などにしてほしいです。
- ・公立幼稚園をもっと増やしてほしいです。
- ・市内の公立幼稚園のサービス格差をなくしてください。

#### ◇労働環境・就労支援に関すること

- ・子どもを育てている間の時短勤務をもっと普及させていただければ働きやすくなると思います。
- ・就職活動をするために子どもを預かってくれる制度がほしい。
- ・育休を取得する側、周りでサポートする側、どちらも意識改革が必要だと思いました。

#### ◇道路・交通・バリアフリーに関すること

- ・子どもたちの通る歩道等の整備。ベビーカーなど押しやすい歩道。
- ・東鷲宮駅東側にエレベーターを設置してください。
- ・道路が狭い割には交通量が多く、子どもを連れて歩くには歩道も無く危険な場所が多い。

#### ◇地域差に関すること

- ・鷲宮地区は乳幼児が多い割には教育、保育環境の整備が遅れていると思う。
- ・公立の保育所が栗橋地区にはない。
- ・菖蒲町は保育所が少なく、空きもなく入所する事ができずあきらめました。

#### ◇子育て支援センターに関すること

- ・支援センターが土曜日にも開放されると嬉しいですよ。
- ・もう少し広いスペースにいただけると子どもものびのび遊ぶ事ができると思います。

#### ◇一時預かりに関すること

- ・一時保育を手軽にできるとうれしいです。
- ・公立幼稚園でも一時保育を行ってほしい。
- ・急でもいいから少しの間でも見てくれる人がいれば助かります。一時保育を頼みたいのに定員なので今日はダメというのが多くて困る。

#### ◇行政に関すること

- ・同じ地区にある幼稚園と小学校もしくは中学校の横の連絡が無いと感じます。
- ・小学校で両親が働いていることを想定していない対応が多いので、その点について考えてほしい。

#### ◇病児保育に関すること

- ・病児を預かってくれる施設がないのも就労について不利な状況をつくっていると思う。
- ・久喜市には病後児保育はありますが、病児保育も取り入れてほしいです。
- ・病後児保育ができる保育所をもっと増やしてほしいです。

#### ◇相談に関すること

- ・相談窓口等、利用したくても結果どこを利用して良いかが分からず利用できていません。
- ・臨床心理士の資格を持った方の相談窓口を増やしてください。
- ・子どものこと、育児のことをもう少し気軽に相談できる場を設けてほしい。



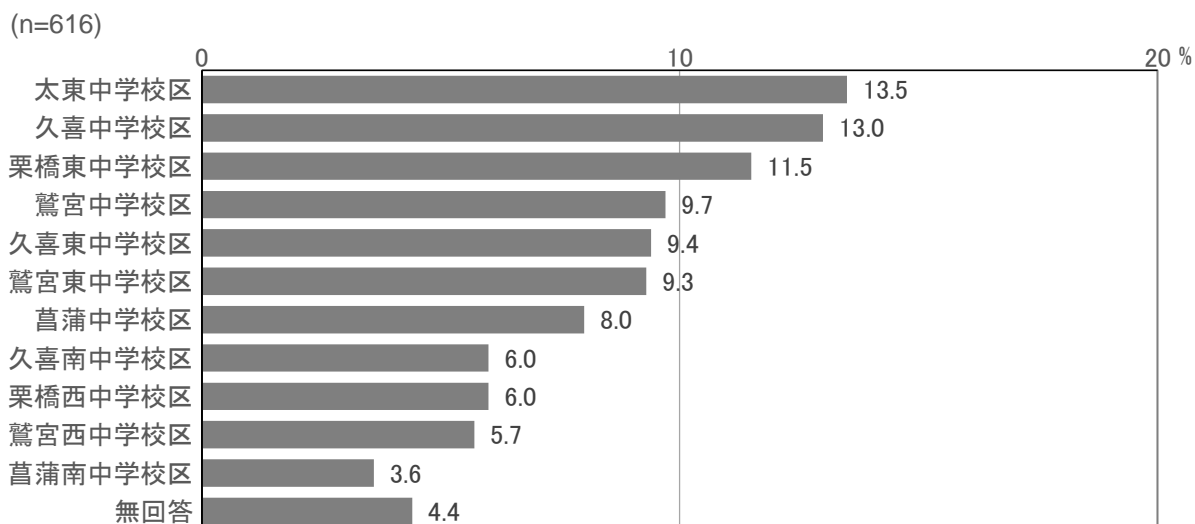


## 第2章 就学児童調査結果

# 1 お子さまとご家族の状況について

## 問1 お住まいの地区はどちらですか。(単数回答)

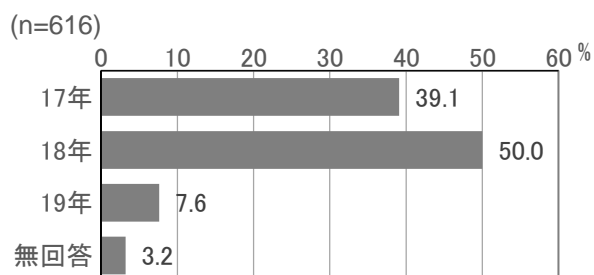
お住まいの地区については、「太東中学校区」が13.5%、「久喜中学校区」が13.0%、「栗橋東中学校区」が11.5%でそれぞれ1割を超える割合となっており、「菖蒲南中学校区」が3.6%で最も低くなっています。



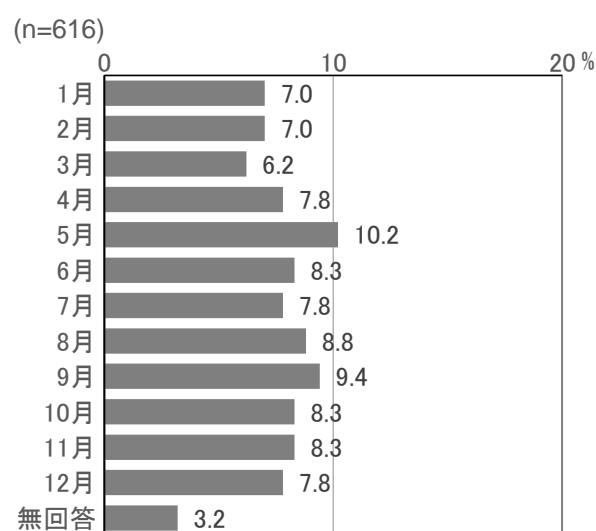
## 問2 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。(数量回答)

宛名のお子さまの年齢は「7歳」が51.3%で最も高く、「6歳」と「8歳」がそれぞれ約20%となっています。

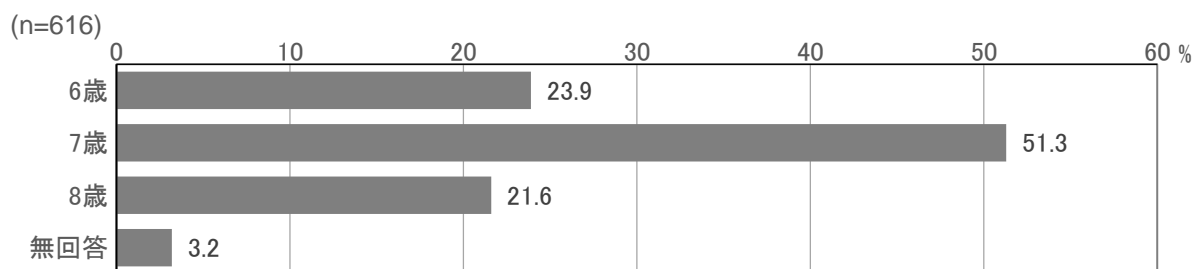
### 〔生まれ年〕



### 〔生まれ月〕



〔年齢（基準日：平成 25 年 9 月 1 日）〕

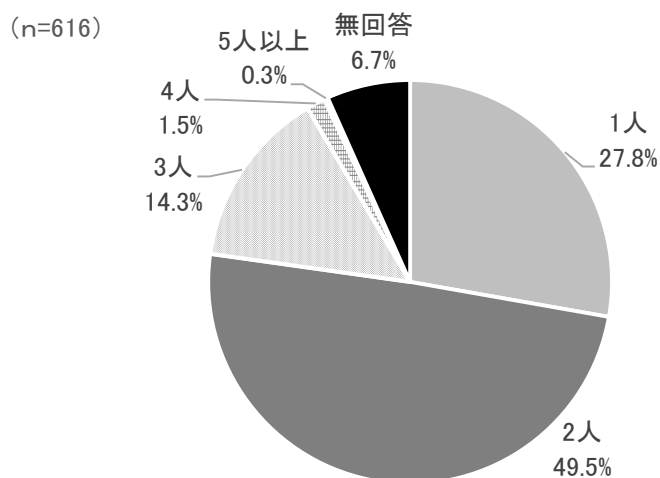


問3 宛名のお子さまのきょうだいは、何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さまがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（数量回答）

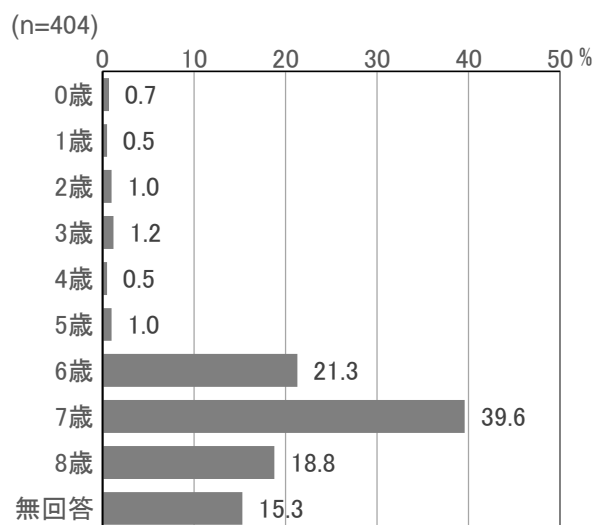
きょうだい数は、「2人」が49.5%で最も高く、次いで「1人」が27.8%となっています。

また、末子の年齢は「7歳」が39.6%で最も高く、「6歳」と「8歳」が約20%、5歳以下はそれぞれ1%前後の割合となっています。

〔きょうだい数〕

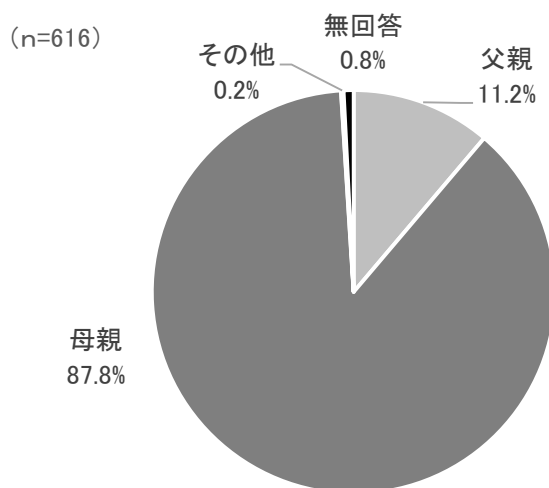


〔末子の年齢（きょうだい2人以上のみ）〕



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。(単数回答)

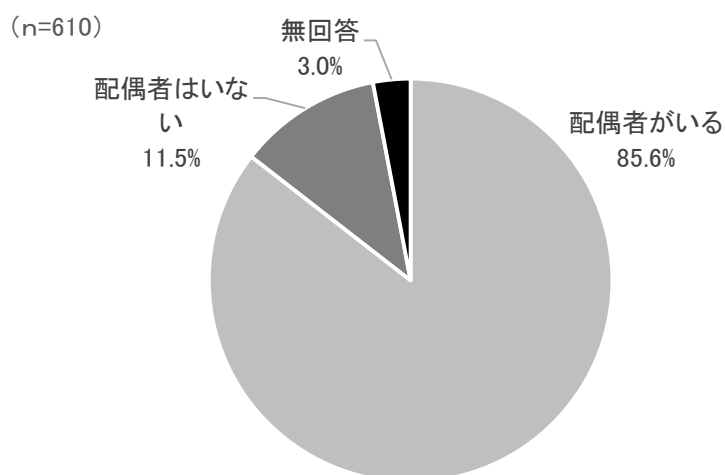
調査の回答者は、「母親」が87.8%で多数を占めており、「父親」は11.2%となっています。



※問4で「父親」、「母親」と回答した方

問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(単数回答)

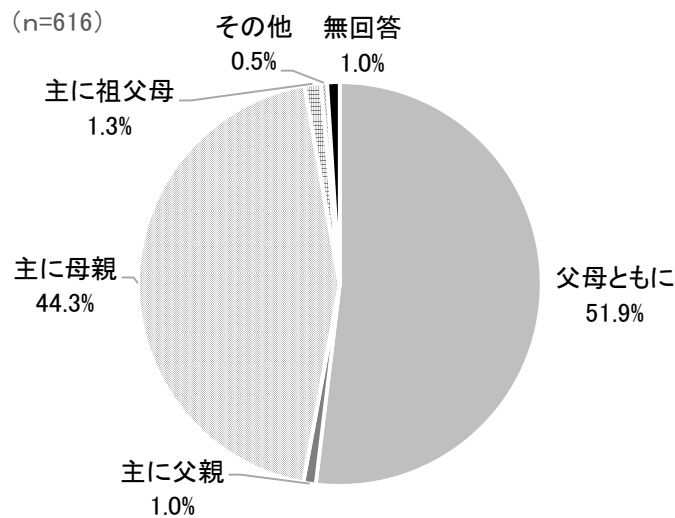
調査回答者(お子さまの保護者)の配偶関係については、「配偶者がいる」が85.6%で多数を占め、「配偶者がいない」は11.5%となっています。



**問6 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。（単数回答）**

お子さまの子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が 51.9%で過半数を占め、「主に母親」が 44.3%となっています。「主に父親」は 1.0%となっています。

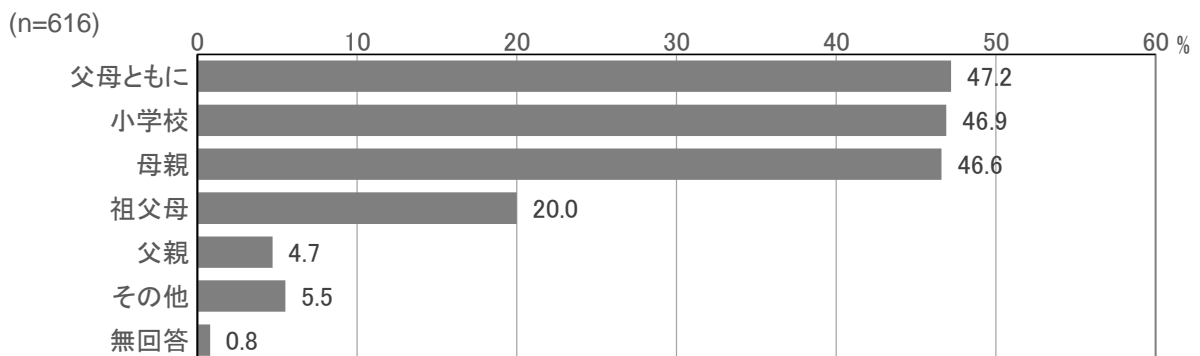
就学前調査の結果と同様に「主に母親」の回答も多く、就学児童世帯においても母親に子育ての負担が偏っている家庭が多いことがうかがえます。



## 2 子育てをめぐる環境について

**問7 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。（複数回答）**

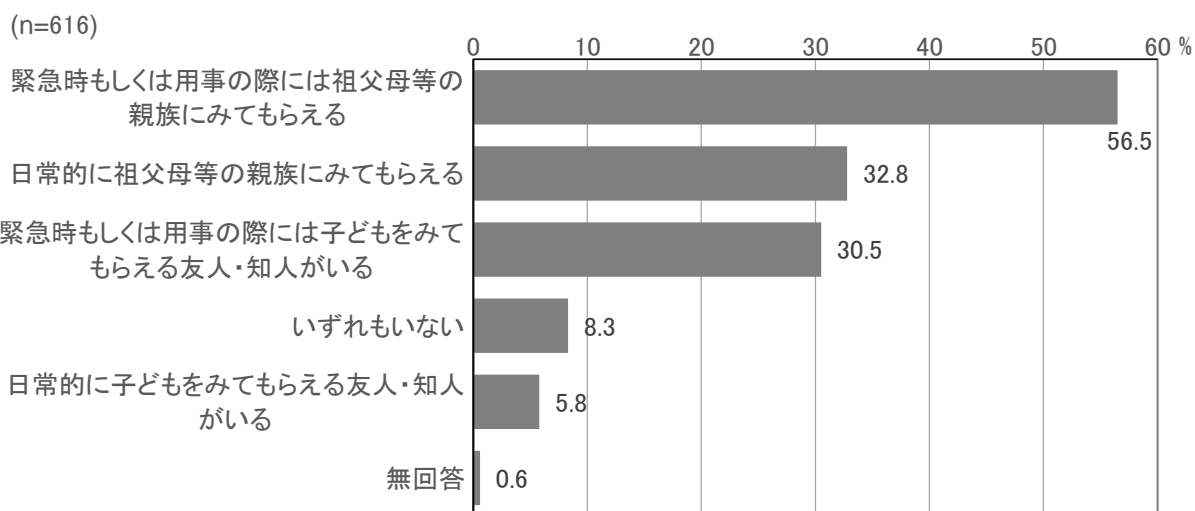
お子さまの子育てに日常的に関わっている人（施設）では、「父母ともに」が 47.2%、「小学校」が 46.9%、「母親」が 46.6%でそれぞれ5割近くとなっています。



**問8 日頃、宛名のお子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)**

日頃、お子さまをみてもらえる親族や知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が56.5%で半数を超える割合となっています。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.8%で次いで高くなっており、就学前児童の調査同様に、子育てにおける親族の大きな関わりがうかがえます。

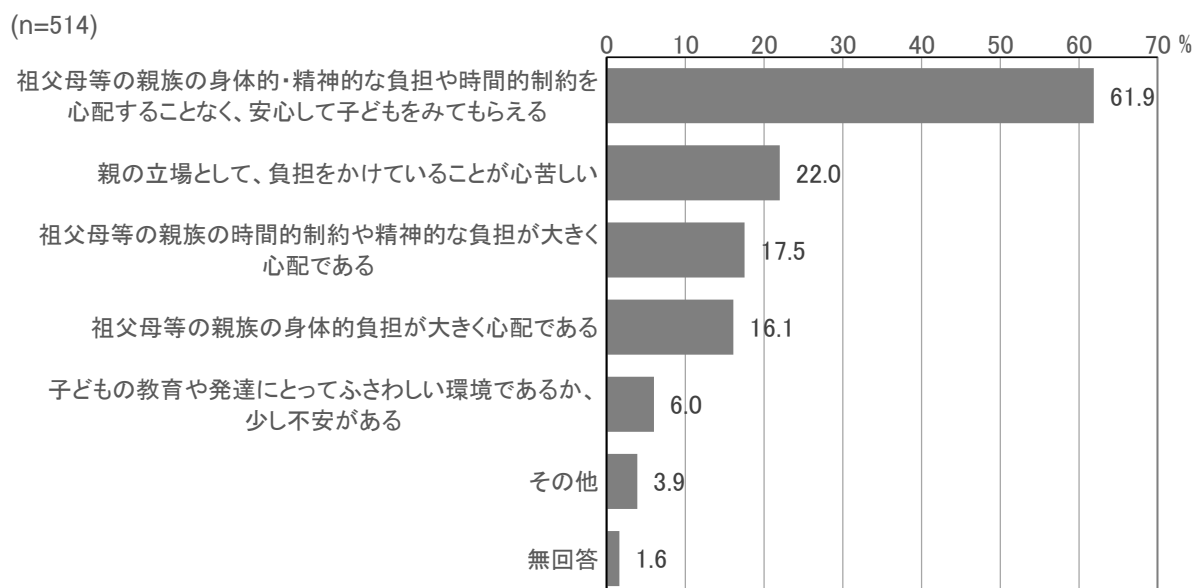
就学前調査の結果と同様に「いずれもない」に約10%の回答があり、潜在的に支援が必要な家庭であるといえます。



**※問8で「祖父母等の親族にみてもらえる」を選択した方**

**問8-1 祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)**

祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況は、「安心して子どもをみてもらえる」が61.9%で半数以上となっています。次いで、「負担をかけていることが心苦しい」が22.0%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.5%となっています。

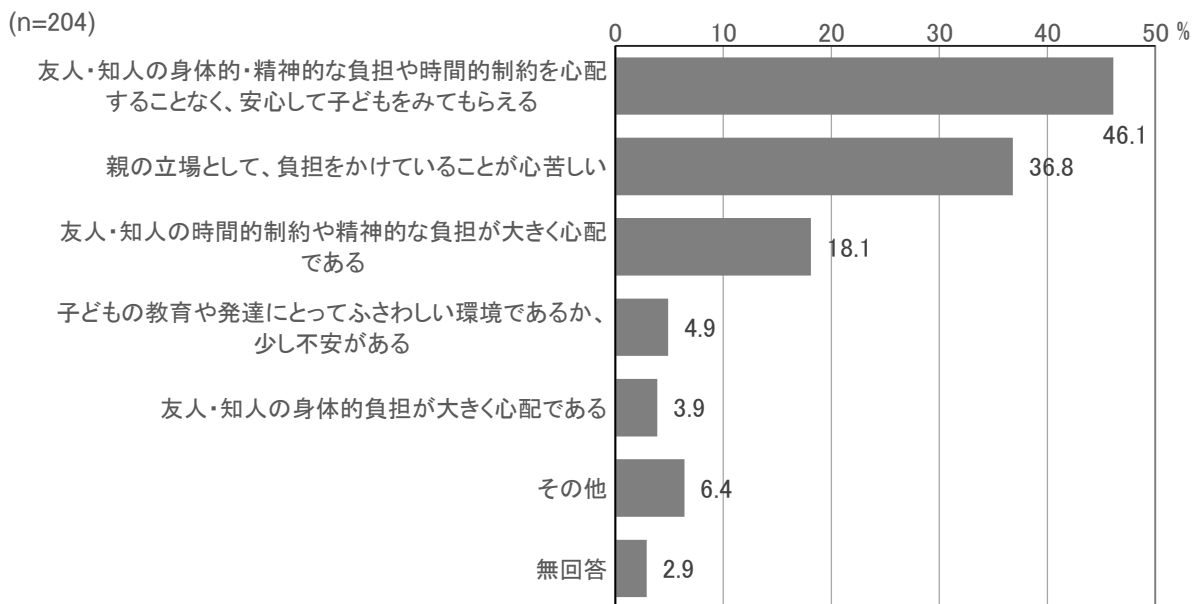


※問8で「友人・知人にみてもらえる」を選択した方

問8-2 友人・知人にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

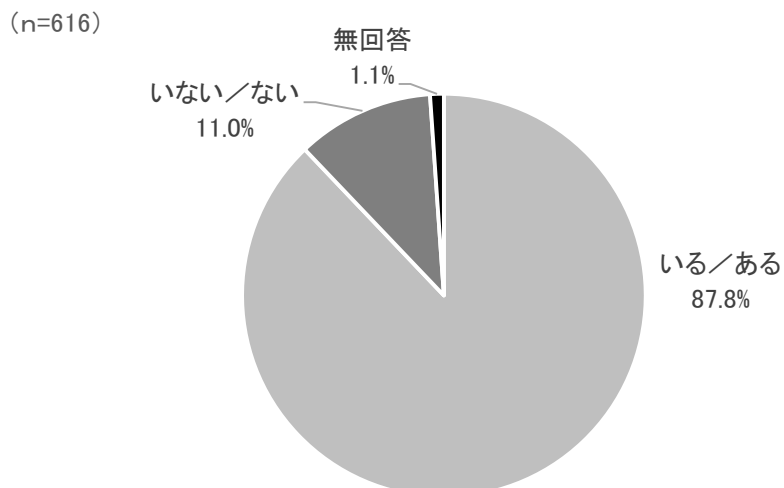
友人・知人にお子さまをみてもらっている状況は、「安心して子どもをみてもらえる」が46.1%で最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が36.8%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が18.1%となっています。

問8-1の祖父母等の親族にみてもらっている状況に比べると、「安心して子どもをみてもらえる」の割合が15%近く低く、友人・知人に何らかの負担をかけていることに対して心苦しきや心配を感じている親が多いことがうかがえます。



問9 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(単数回答)

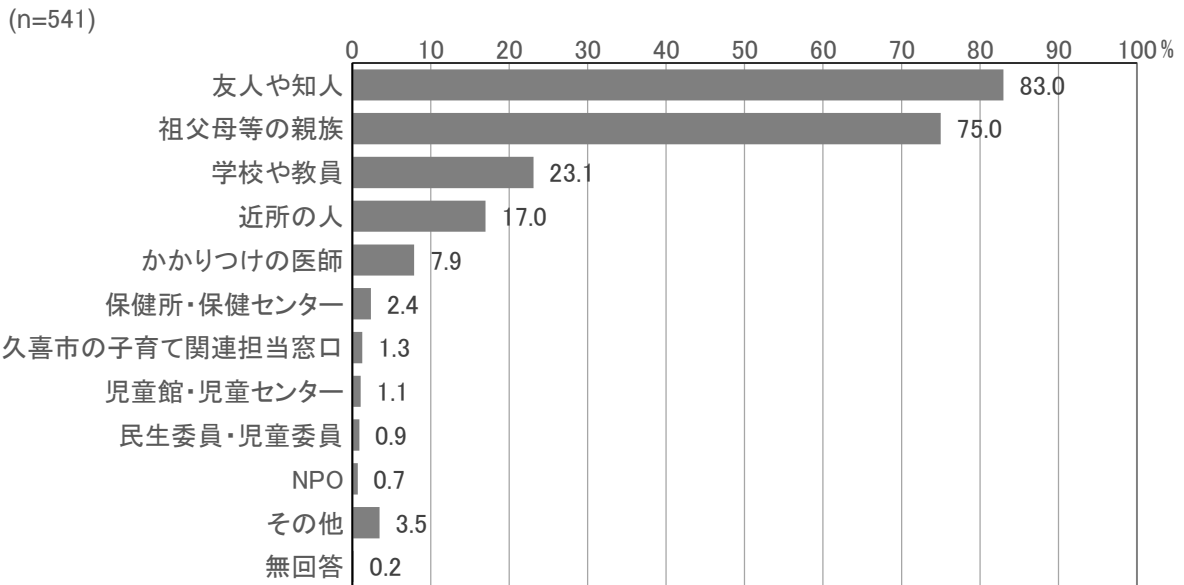
相談相手(場所)の有無は、「いる/ある」が87.8%で多数を占めており、「いない/ない」は11.0%となっています。



※問9で「いる／ある」を選択した方

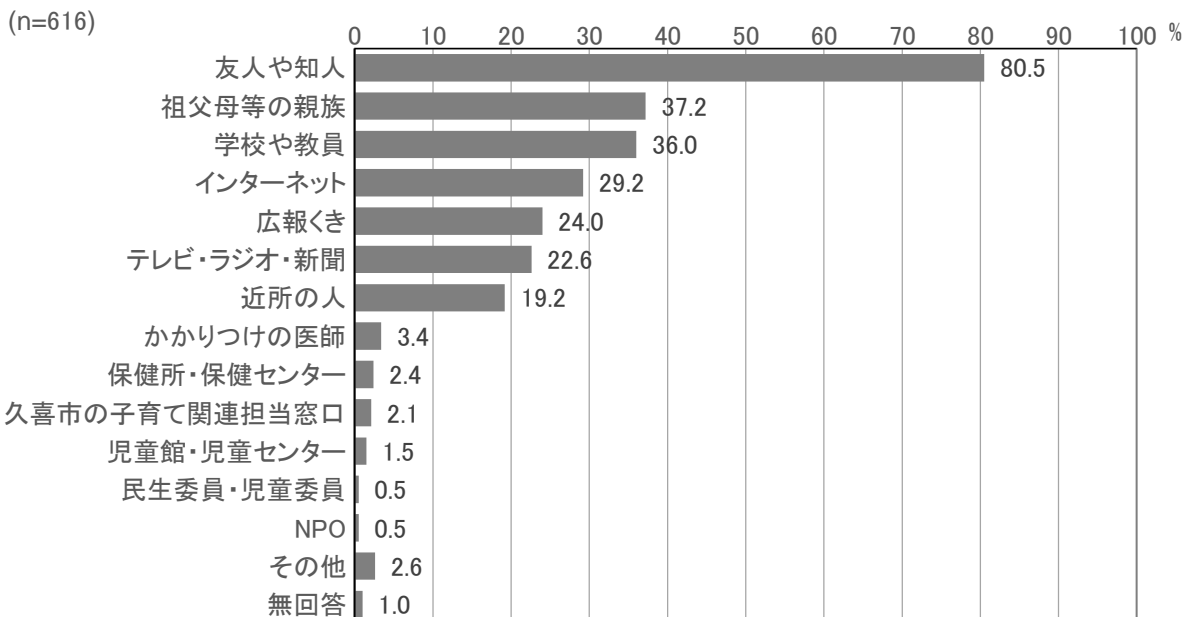
問9-1 お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

相談相手（場所）は、「友人や知人」が83.0%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が75.0%とこの2項目の割合が高くなっています。次いで「学校や教員」の23.1%、「近所の人」の17.0%となっています。



問10 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。（複数回答、3つまで○）

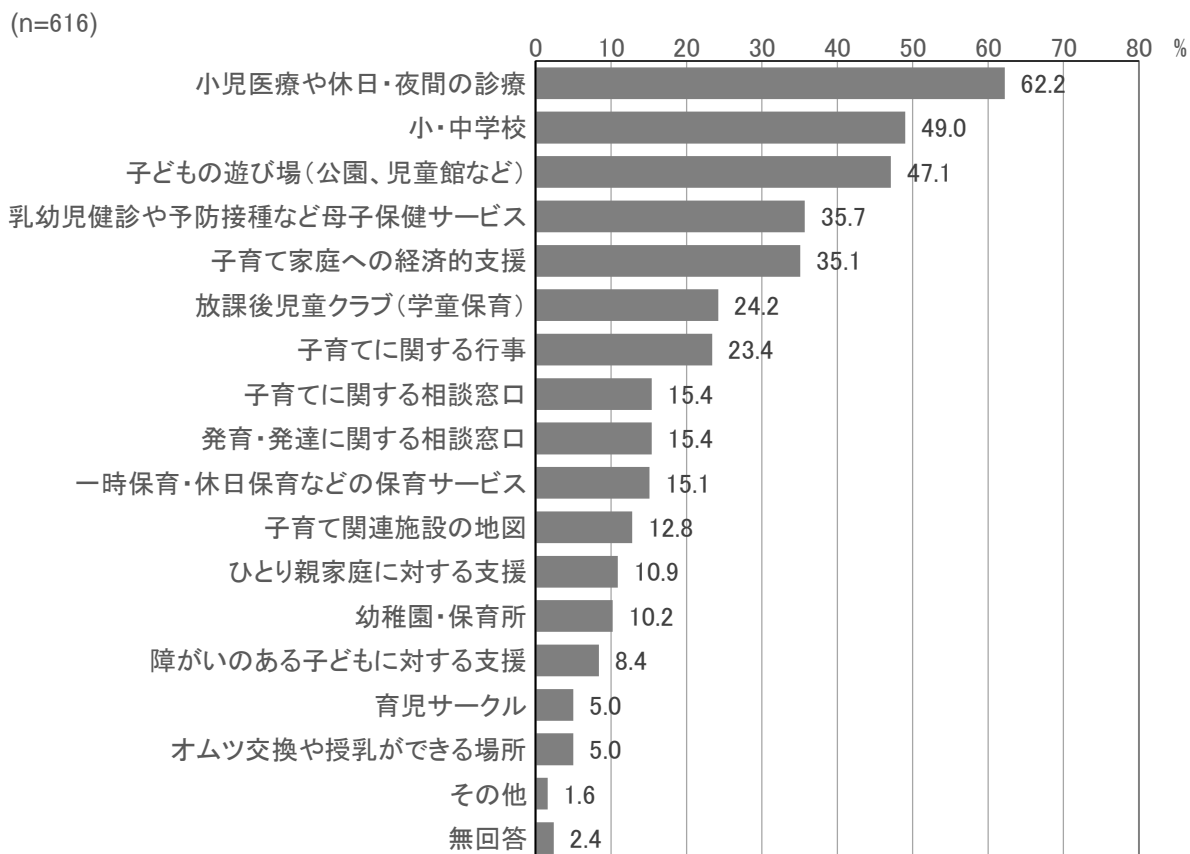
子育てに関する情報の入手は、「友人や知人」が80.5%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が37.2%、「学校や教員」が36.0%となっています。また、次いで高いのが「インターネット」、「広報くき」や「テレビ・ラジオ・新聞」といった媒体物でそれぞれ20%台の回答があります。





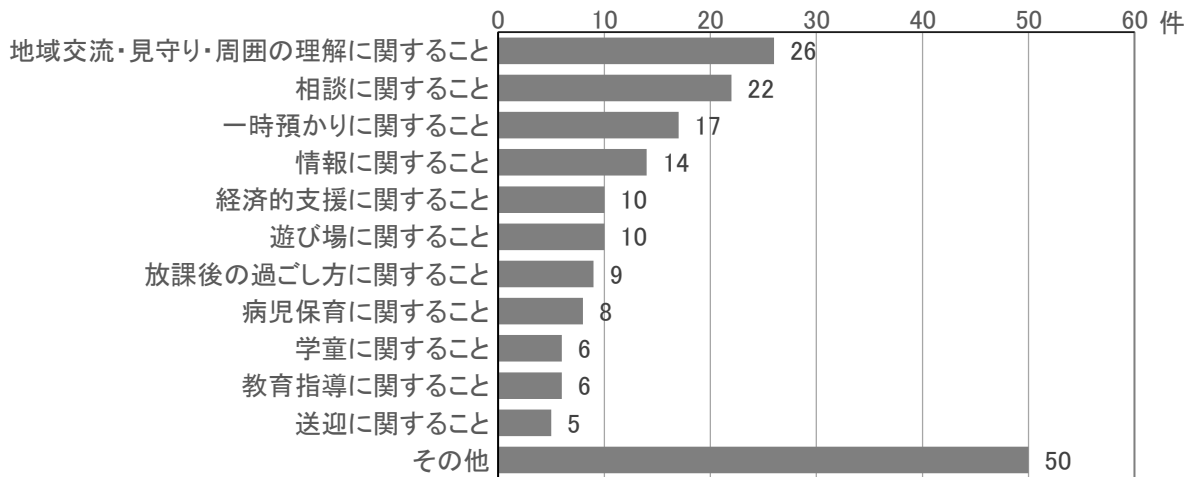
**問 11 子育てに関する情報について、どのような情報が必要ですか。（複数回答）**

必要な子育て情報は、「小児医療や休日・夜間の診療」が 62.2%、「小・中学校」が 49.0%、「子どもの遊び場」が 47.1%となっています。「乳幼児健診や予防接種など母子保健サービス」と「子育て家庭への経済的支援」はともに約 35%でおよそ 3 人に 1 人の割合となっています。



**問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（自由記述）**

自由記述には、173 人（616 人の 28.1%）、延べ 183 件の書き込みがありました。最も件数の多かった項目は「地域交流・見守り・周囲の理解に関すること」で 26 件、次いで「相談に関すること」が 22 件、「一時預かりに関すること」が 17 件となっています。



※10個以上意見のあった項目を掲載、それ以下のものは「その他」にまとめて集計しています。

以下に、それぞれの項目の主な意見を抜粋して掲載します。

#### ◇地域交流・見守り・周囲の理解に関すること

- ・近所の方からの声かけ（あいさつ等の日常のこと）をいただきたい。行政はハードよりもソフトを充実させて。
- ・下校時の見守りがあると助かります。
- ・子どもが安全に生活出来るように公園等にも見守ってくれる人がいれば良い。

#### ◇相談に関すること

- ・心の問題や専門的知識を要する状況に子どもが居る時に、すぐに相談できる所が少ないです。
- ・気軽にいつでも相談できる電話相談とかあったら、なかなか話せない人も電話なら気軽に話せるのでは。
- ・子どもに関して悩み事があった時、気兼ねなく話を聞いたり相談できる場が必要だと思います。

#### ◇一時預かりに関すること

- ・ちょっとした用事などで予約などの手続きがなくすぐに預けられる場所があると良い。
- ・一時保育や学童保育に気軽に預けられる環境が望ましいです。
- ・仕事が遅くなる時に気軽に見てもらいたいで、そんな環境がほしい。

#### ◇情報に関すること

- ・子が育つタイミングに必要な情報（予防接種等）や親の都合による情報（保育所、幼稚園、小学校、中学校等）、行政からの第三者情報がほしい。
- ・こういう相談ができて、こういう活動等紹介しているといった分かりやすい情報がほしいです。
- ・家に引きこもり状態の人でも手に入れられる情報の発信の仕方があると思う。

#### ◇経済的支援に関すること

- ・もう少し手当てが上ってほしいです。
- ・医療費さえ出ればなんとかなるか。

#### ◇遊び場に関すること

- ・公園や児童館等の施設を充実してほしい。
- ・公園がほしい。遊具を充実してほしい。

#### ◇放課後の過ごし方に関すること

- ・学童保育も限られている為、校庭開放等、皆で安全に遊ぶ事ができる制度等があると良いと思う。
- ・保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用できるという放課後子ども教室を増やしてほしい。

#### ◇病児保育に関すること

- ・病気の子の預け先が小学生になるとなくなってしまふ。病児保育のようなシステムがあると万が一の時に安心できる。
- ・インフルエンザ等、熱が下がっても幼稚園や学校に行ってはいけない期間、子どもを預かっていただける所があると働きやすいです。

#### ◇学童に関すること

- ・日曜、祝日も学童保育をやってほしい。
- ・長期休みのみ預かっていただけるようにしていただきたいです。

#### ◇教育指導に関すること

- ・長期休暇中の子どもの教育事業の充実。
- ・低学年のうちはまだ心配な点もたくさんあるので、担任の先生だけでなく補助の先生を1クラスに2～3人位いてくれたら子どもたちも親も安心できると思います。

#### ◇送迎に関すること

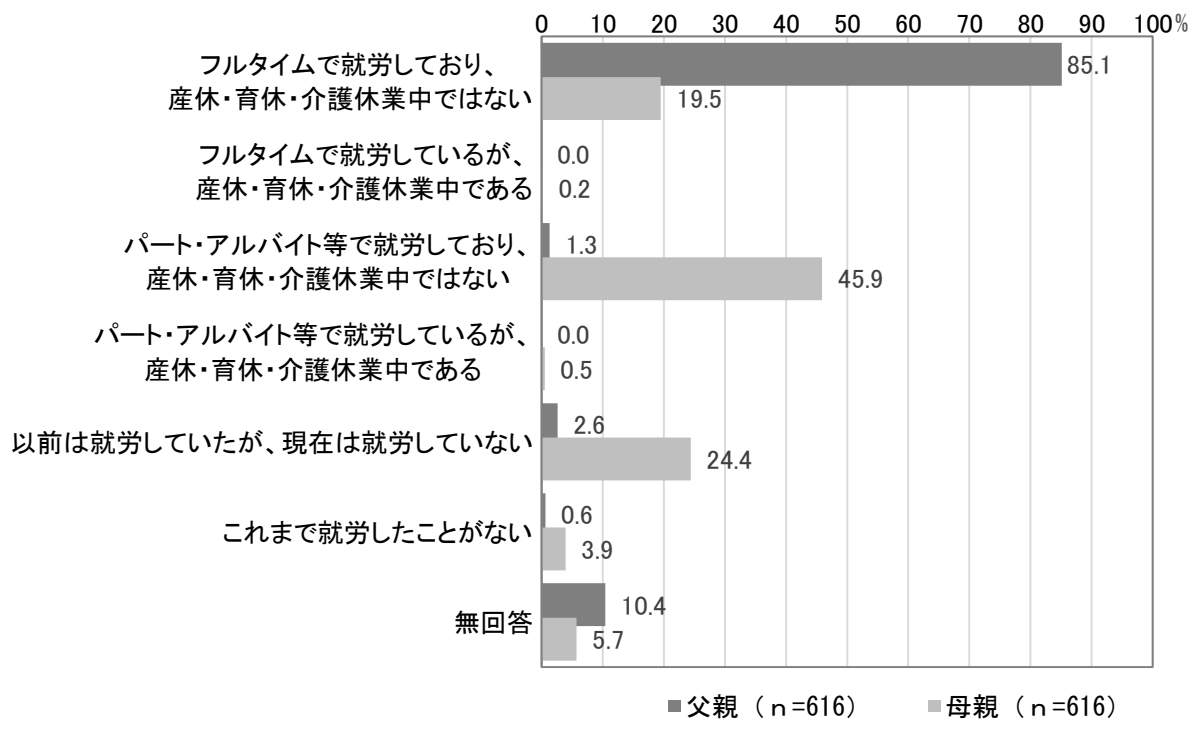
- ・学童保育に預けているので、平日はお迎えに行かなければなりません、急な残業で困った事があります。気軽に迎えを頼めるようなものがもっとあるといいと思います。
- ・子どもの習い事への送迎サービスがあれば良いなと思います。

### 3 お子さまの保護者の就労状況について

問 13 宛名のお子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

父親の就労状況では、「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が 85.1%で多数となっています。

母親の就労状況では、「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」が 45.9%で最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 24.4%、「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が 19.5%となっています。



※問 13 で「就労している」を選択した方

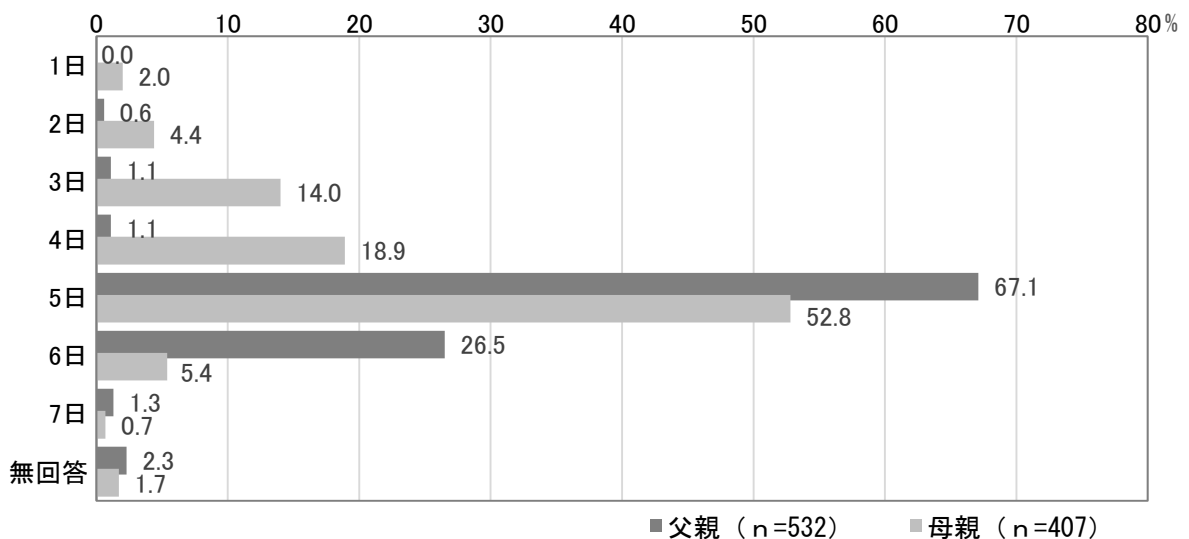
問 13 ①-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数量回答）

週当たりの就労日数は、父母ともに「5日」が最も高く、次いで、父親は「6日」が26.5%、母親は「4日」が18.9%で高くなっています。

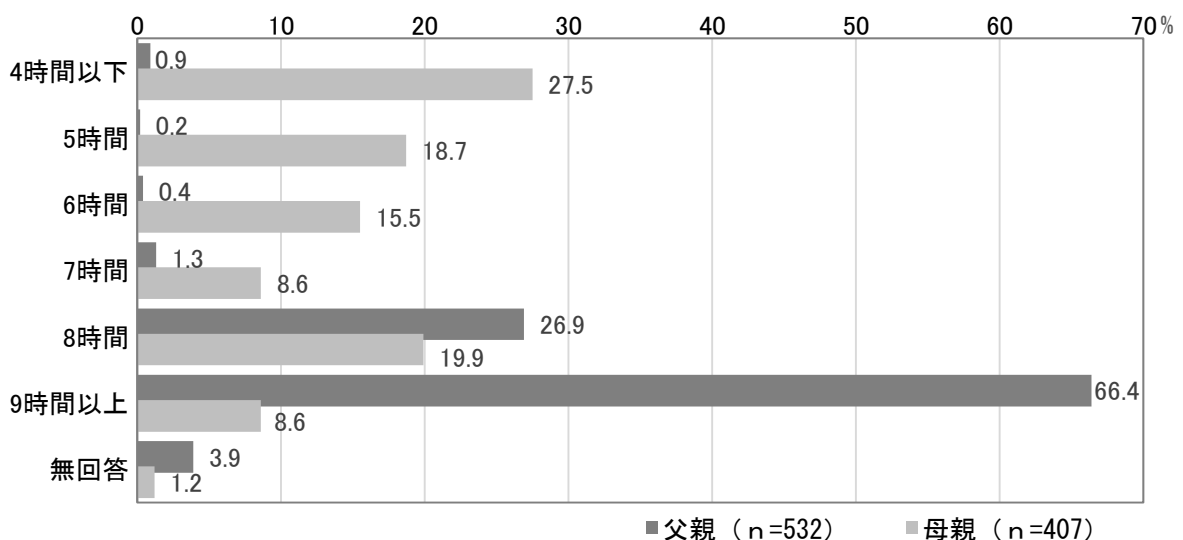
1日当たりの就労時間では、母親は「4時間以下」が27.5%で最も高いものの、次いで高いのが「8時間」で19.9%となっています。一方で、父親は「9時間以上」が66.4%で最も高く、次いで高い「8時間」は26.9%となっています。

就学前児童調査の結果同様に、父親は「9時間以上」が多数で、長時間労働がうかがえられ、ワークライフバランスの実践が課題といえます。

〔週当たり就労日数〕



〔1日当たり就労時間〕



※問 13 で「就労している」を選択した方

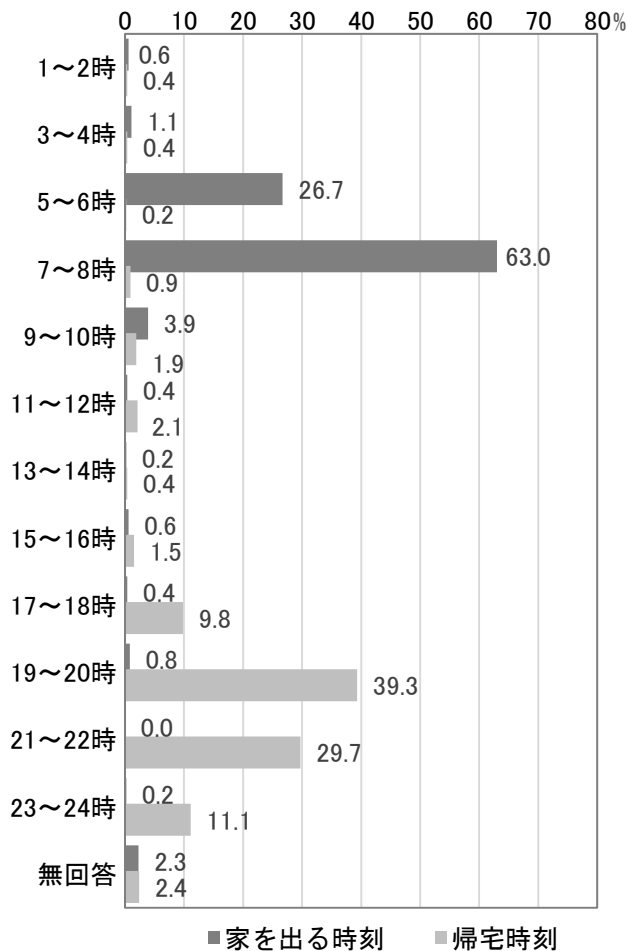
問 13 ①-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数量回答)

家を出る時刻は、父親は「5～6時」で割合は高くなりはじめ、父母ともに「7～8時」が60%強でピークを迎えています。

帰宅時刻では、母親は「15～16時」と「17～18時」がそれぞれ20%台後半の割合で高くなっています。父親は「19～20時」が39.3%で最も高くなっていますが、21時以降の合計割合は40.8%となっています。

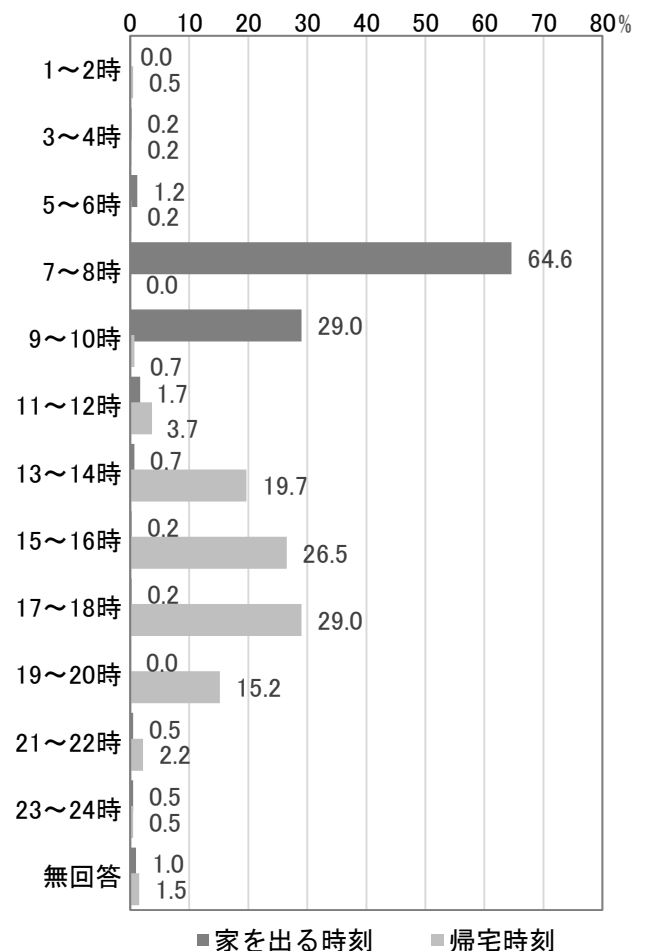
〔父親〕

(n=532)



〔母親〕

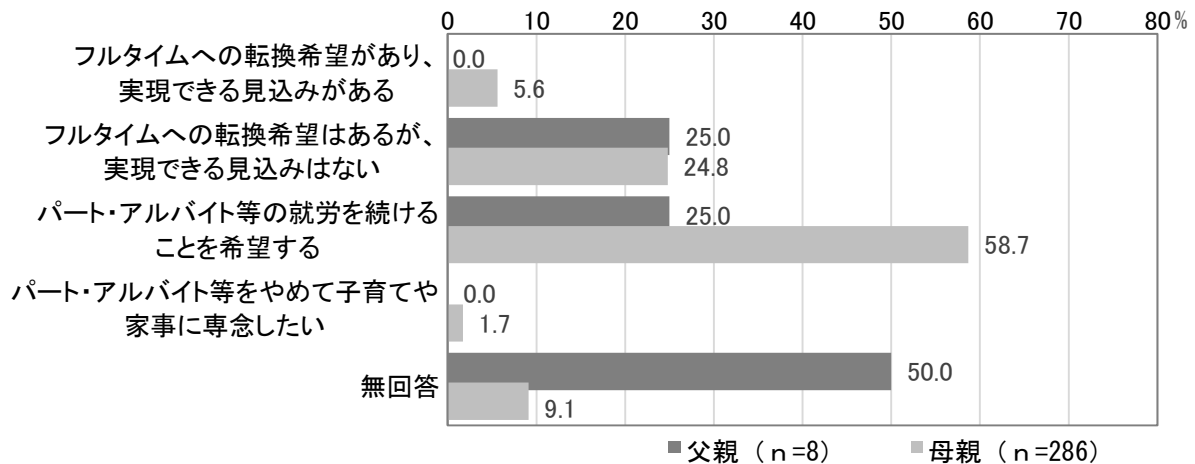
(n=407)



※問 13 で「パート・アルバイト等で就労」を選択した方

問 13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

フルタイムへの転換希望は、母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 58.7%で最も高くなっています。約 30%はフルタイムへの転換希望があるものの、「実現できる見込みはない」が 24.8%となっています。

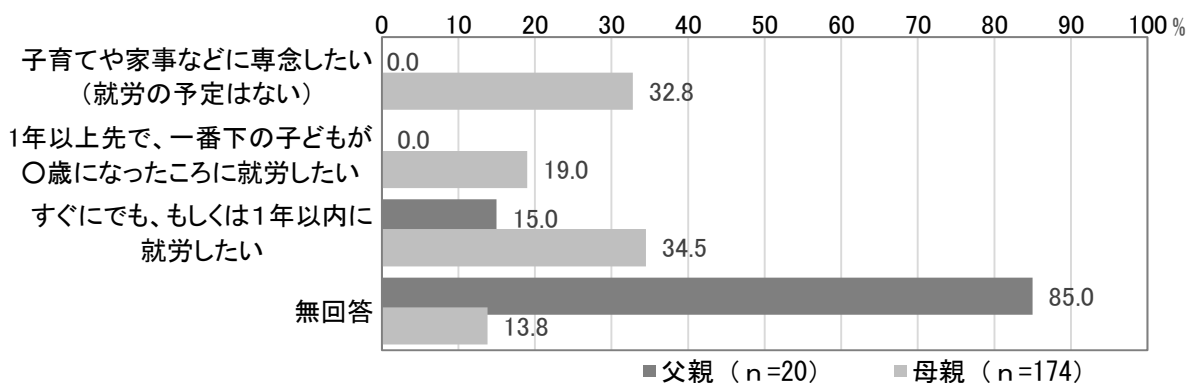


※問 13 で「就労していない・就労したことがない」を選択した方

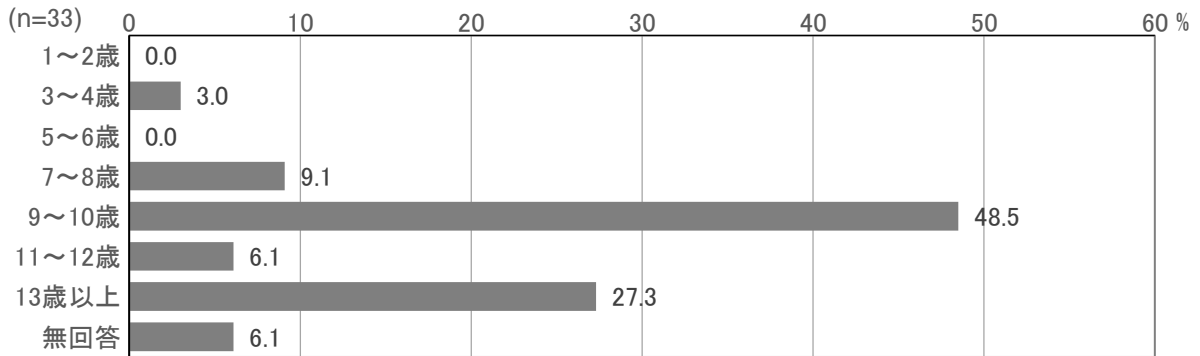
問 13-2 就労したいという希望はありますか。(単数回答)

現在就労していない保護者の今後の就労希望は、母親は「子育てや家事などに専念したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に 30%強の回答があります。「1年以上先で、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」は 19.0%となっており、就労するタイミングの一番下の子の年齢は、「9～10歳」が 48.5%で最も高くなっています。

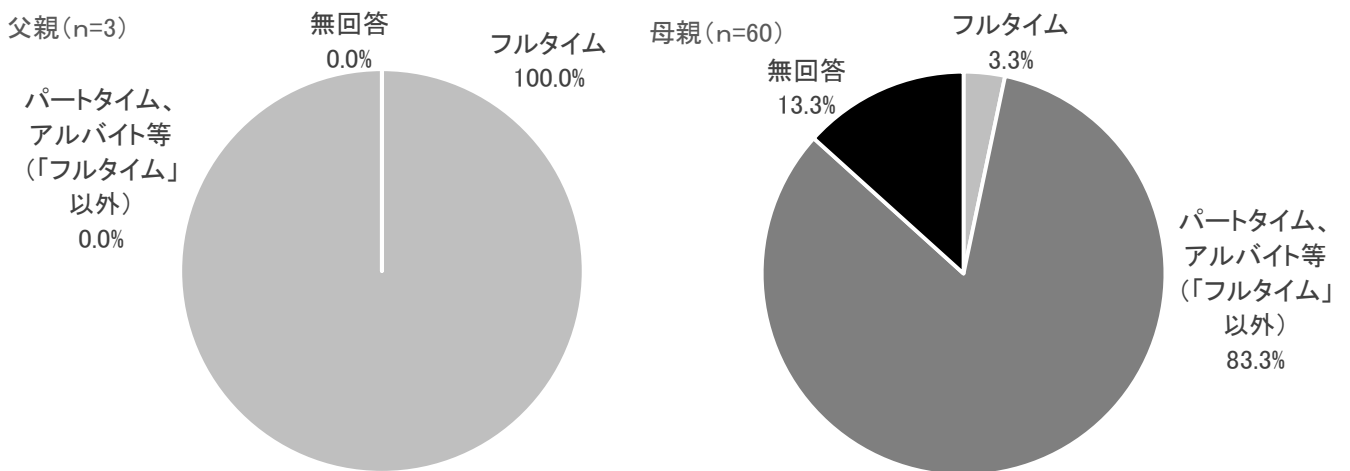
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」とした母親の大半は「パート・アルバイト等」を希望しており、就業条件としてはおおむね週当たり3日で1日当たり5時間程度を希望していることがうかがえます。



〔就労を考える一番下の子どもの年齢〕 ※「父親」は対象サンプルがないため省略

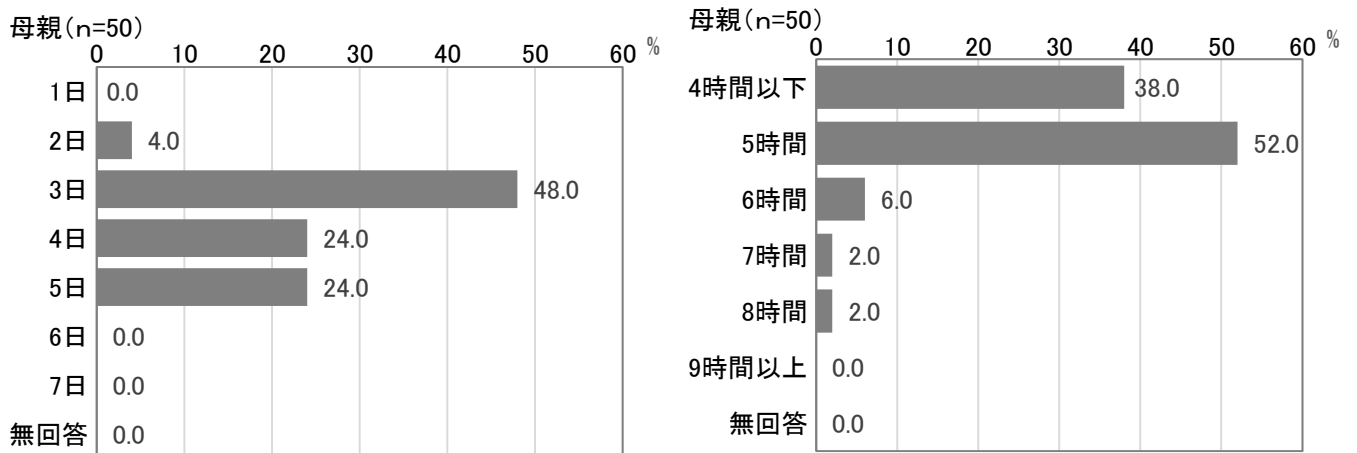


〔すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態〕



〔上記で「パートタイム・アルバイト等」を選んだ方の希望就労日数 (左)、就労時間 (右)〕

※「父親」は対象サンプルがないため省略





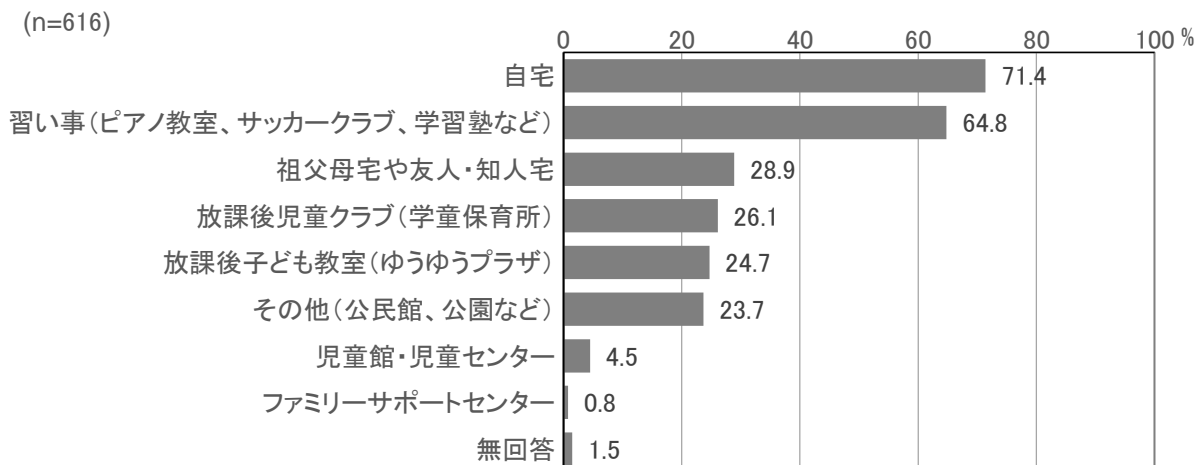
## 4 放課後の過ごし方について

問 14 宛名のお子さまについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（複数回答、数量回答）

小学校低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が71.4%で最も高く、次いで「習い事」が64.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が28.9%となっています。利用したい日数では、「祖父母宅等」、「習い事」、「放課後子ども教室」は週に1～2日の割合が高くなっていますが、放課後児童クラブは「5日」が65.8%で最も高くなっています。

学年別でみると、いずれも「自宅」と「習い事」の回答が高くなっていますが、「放課後児童クラブ」の回答で、1年生が31.3%、2年生で22.0%と1割近い差がみられます。

また、放課後児童クラブの利用したい時間については、「18時」が45.3%で最も高く、次いで「17時」と「19時」がともに約20%となっています。

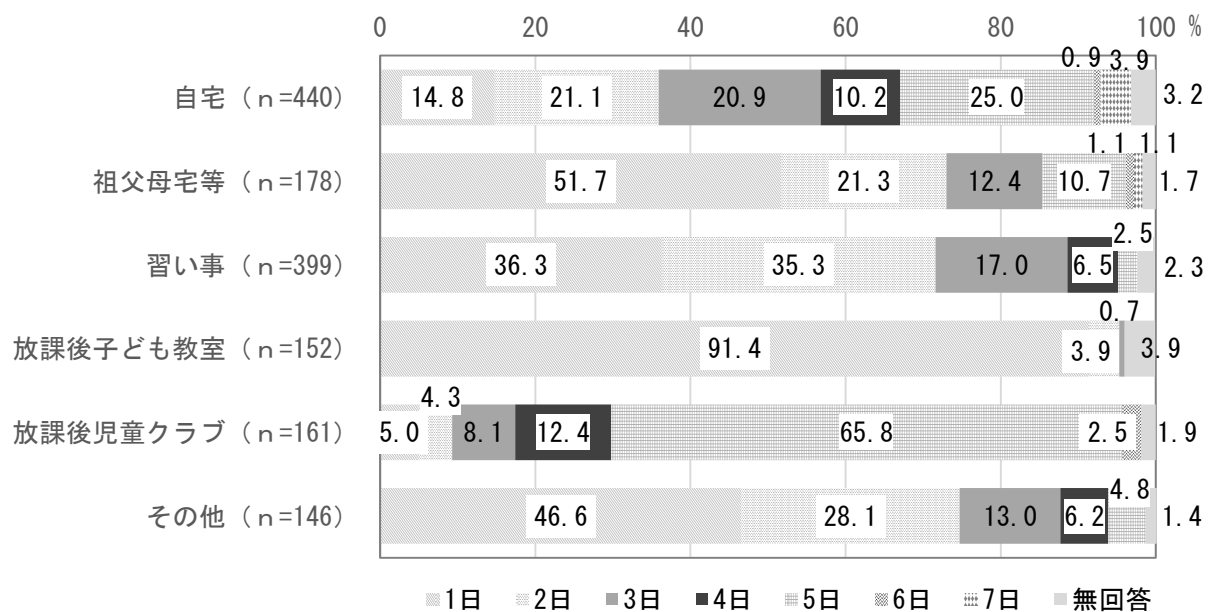


### ◇学年別

表示: %

	n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童館・児童センター	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)	放課後児童クラブ(学童保育所)	ファミリーサポートセンター	その他(公民館、公園など)	無回答
1年生	278	70.5	27.0	61.9	4.3	22.7	31.3	1.4	21.6	1.1
2年生	318	72.0	29.9	67.9	4.7	26.4	22.0	0.3	25.8	1.9

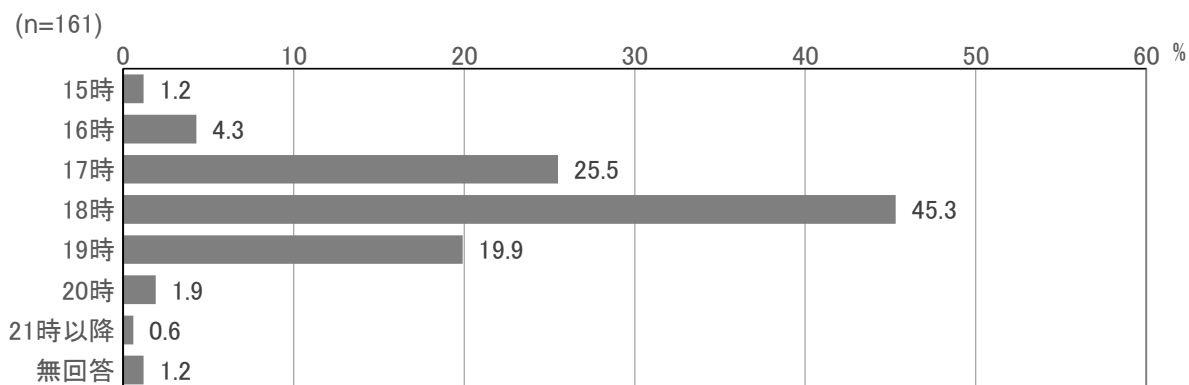
〔希望する利用日数〕



※「児童館・児童センター」、「ファミリーサポートセンター」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	児童館・児童センター (n=28)	ファミリーサポートセンター (n=5)
1日	64.3	20.0
2日	28.6	20.0
3日	7.1	40.0
4日	0.0	20.0
5日	0.0	0.0
6日	0.0	0.0
7日	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0

〔放課後児童クラブを何時まで利用したいかの意向〕

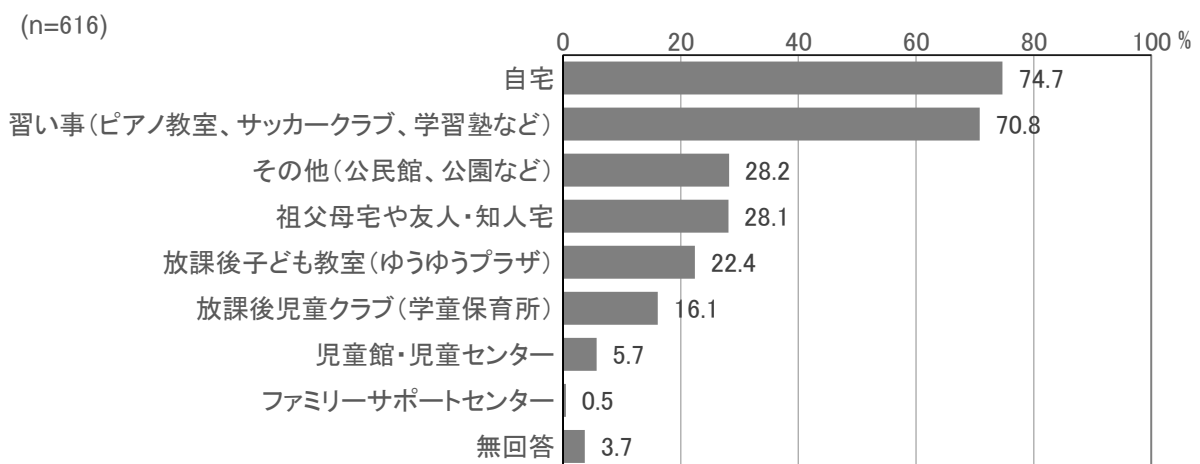


問 15 宛名のお子さまについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（複数回答、数量回答）

小学校高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が74.7%で最も高く、次いで「習い事」が70.8%、「その他」が28.2%となっています。利用したい日数では、「習い事」は2～3日の割合が高くなっています。放課後児童クラブは、低学年時と変わらず「5日」が49.5%で最も高くなっています。

学年別でみると、いずれも「自宅」と「習い事」の回答が高く、問14同様に「放課後児童クラブ」の回答で、1年生が20.1%、2年生で12.9%と1割近い差がみられます。

また、放課後児童クラブの利用したい時間については、「18時」が40.4%で最も高く、次いで「19時」が29.3%、「17時」が21.2%となっています。

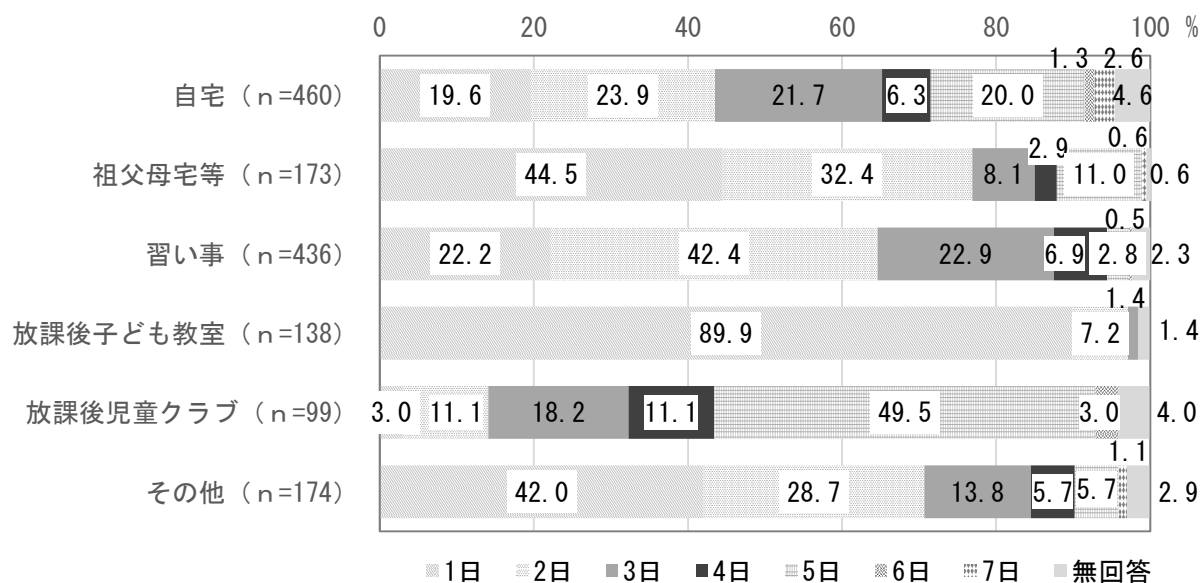


#### ◇学年別

表示: %

	n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童館・児童センター	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)	放課後児童クラブ(学童保育所)	ファミリーサポートセンター	その他(公民館、公園など)	無回答
1年生	278	72.7	27.7	67.3	4.7	22.7	20.1	1.1	24.1	3.6
2年生	318	76.7	28.9	73.6	6.6	21.7	12.9	-	31.8	3.8

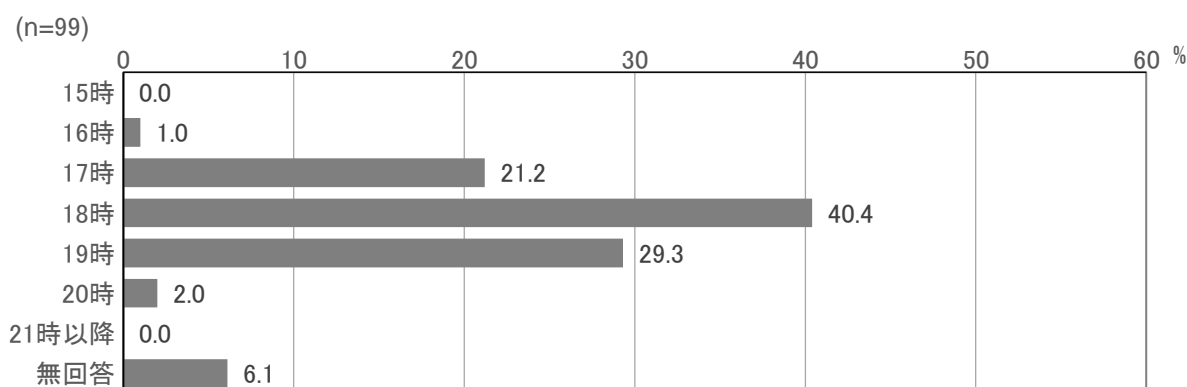
〔希望する利用日数〕



※「児童館・児童センター」、「ファミリーサポートセンター」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	児童館・児童センター (n=35)	ファミリーサポートセンター (n=3)
1日	51.4	0.0
2日	28.6	66.7
3日	8.6	0.0
4日	2.9	33.3
5日	2.9	0.0
6日	0.0	0.0
7日	0.0	0.0
無回答	5.7	0.0

〔放課後児童クラブを何時まで利用したいかの意向〕



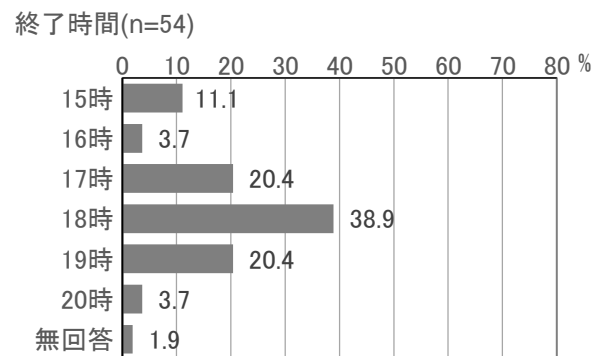
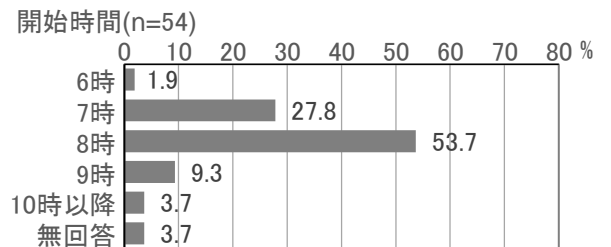
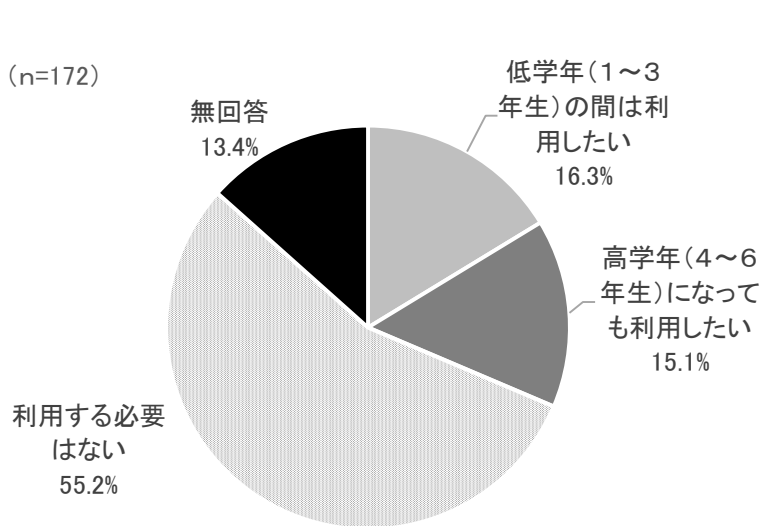
※問 14 または問 15 で「放課後児童クラブ」を選択した方

問 15-1 宛名のお子さまについて、長期の休暇中を除いた土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(それぞれ単数回答、数量回答)

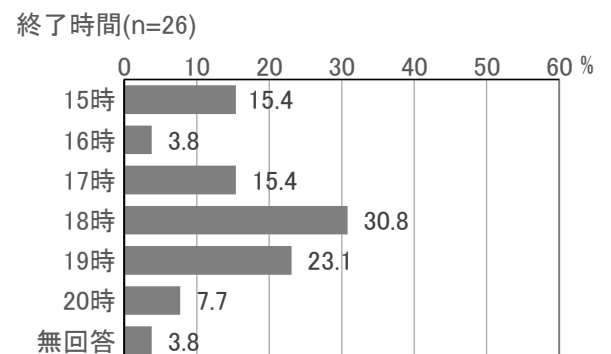
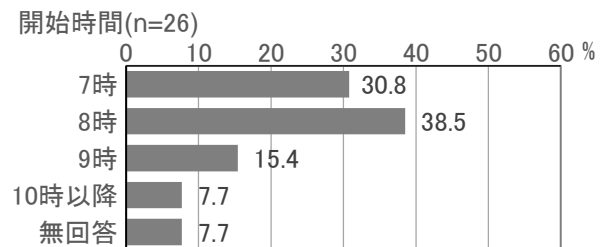
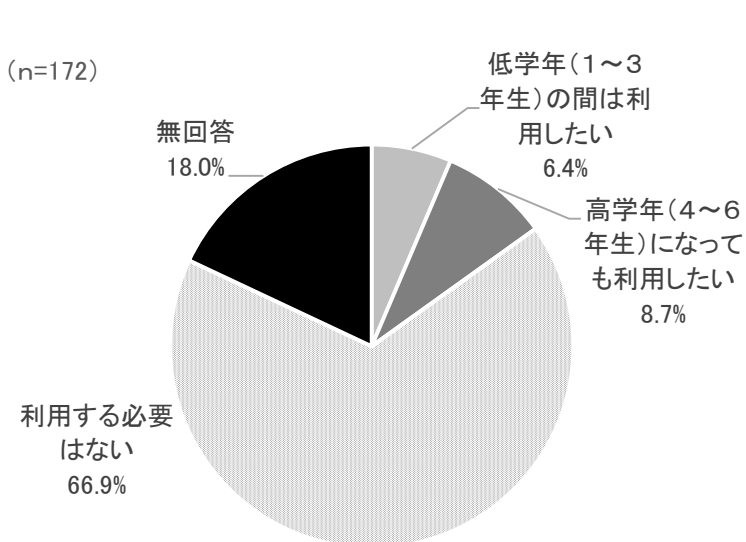
土曜日の放課後児童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が 55.2%と最も高くなっています。一方、「低学年の間は利用したい」の 16.3%と「高学年になっても利用したい」の 15.1%を合わせると、利用意向は 31.4%となります。利用時間については、「8時」から「18時」の意向が高くなっています。

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向は、「低学年の間は利用したい」の 6.4%と「高学年になっても利用したい」の 8.7%を合わせて 15.1%となり、土曜日の利用意向の半分ほどの割合となります。

〔土曜日〕



〔日曜日・祝日〕

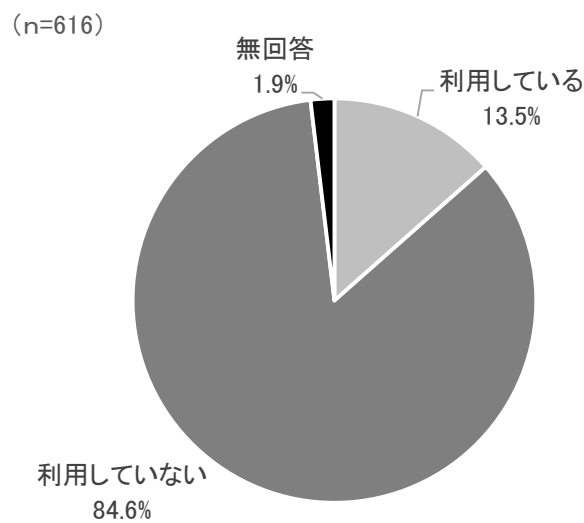


## 5 児童センター・児童館の利用について

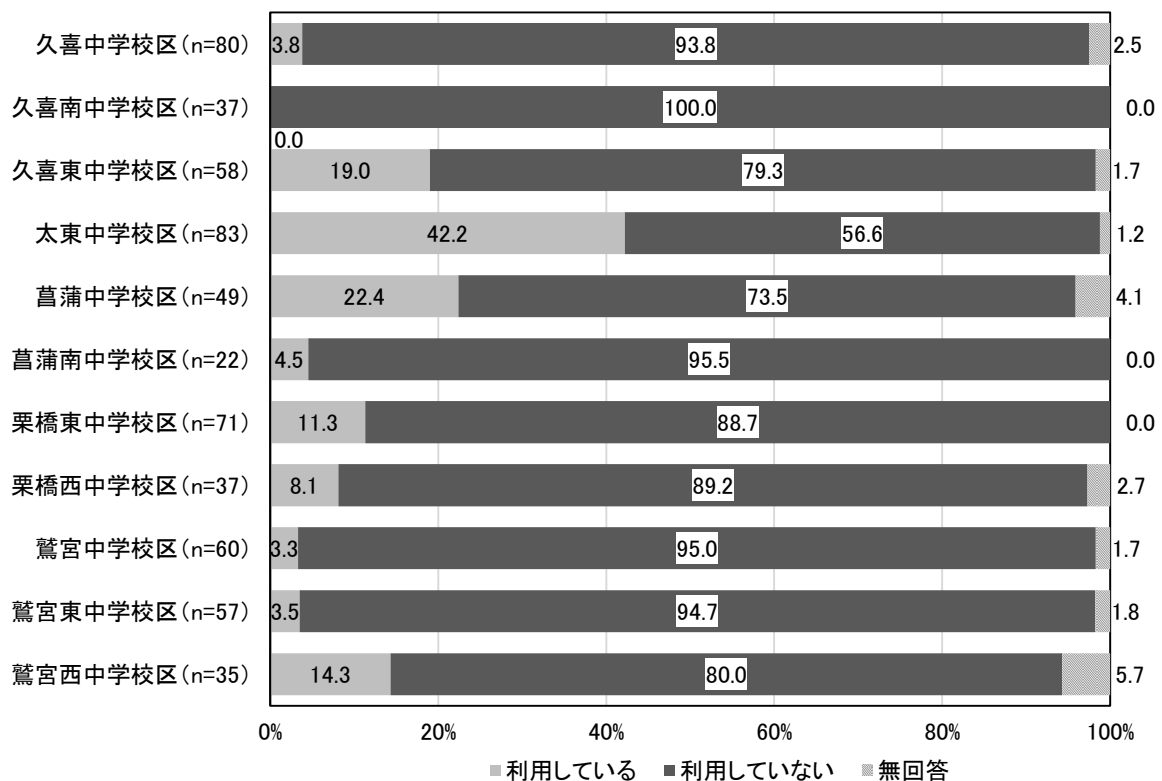
問 16 宛名のお子さまは、ふだん児童センターまたは児童館を利用していますか。(単数回答)

児童センターや児童館の利用状況は、「利用していない」が 84.6%で多数となっており、「利用している」は 13.5%となっています。

地区別でみると、「利用している」の回答が太東中学校区で 42.2%と高く、久喜東中学校区と菖蒲中学校区で約 2 割となっています。



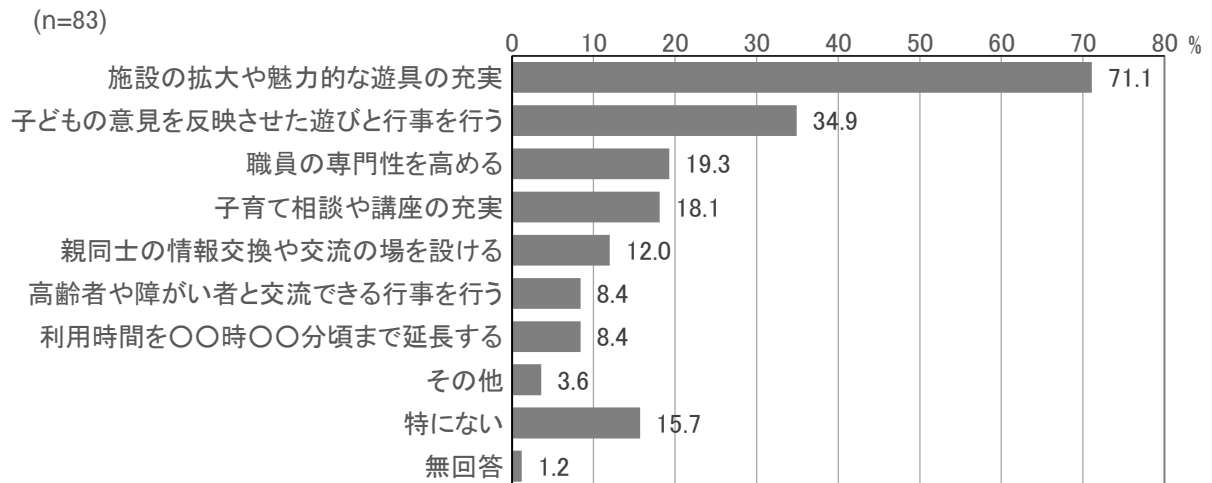
### ◇地区別



※問 16 で「利用している」を選択した方

問 16-1 児童センターまたは児童館への要望を次の中からお選びください。(複数回答、○は3つまで)

児童センターや児童館への要望は、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が 71.1%で最も高く、次いで「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」が 34.9%、「職員の専門性を高める」が 19.3%となっています。



〔希望する延長利用時間〕 ※サンプル数が少ないため、件数で表示。

	(n=7)
9:17	1件
17:30	1件
18:00	2件
20:00	1件
20:18	1件
21:17	1件
無回答	0件

※問 16 で「利用していない」を選択した方

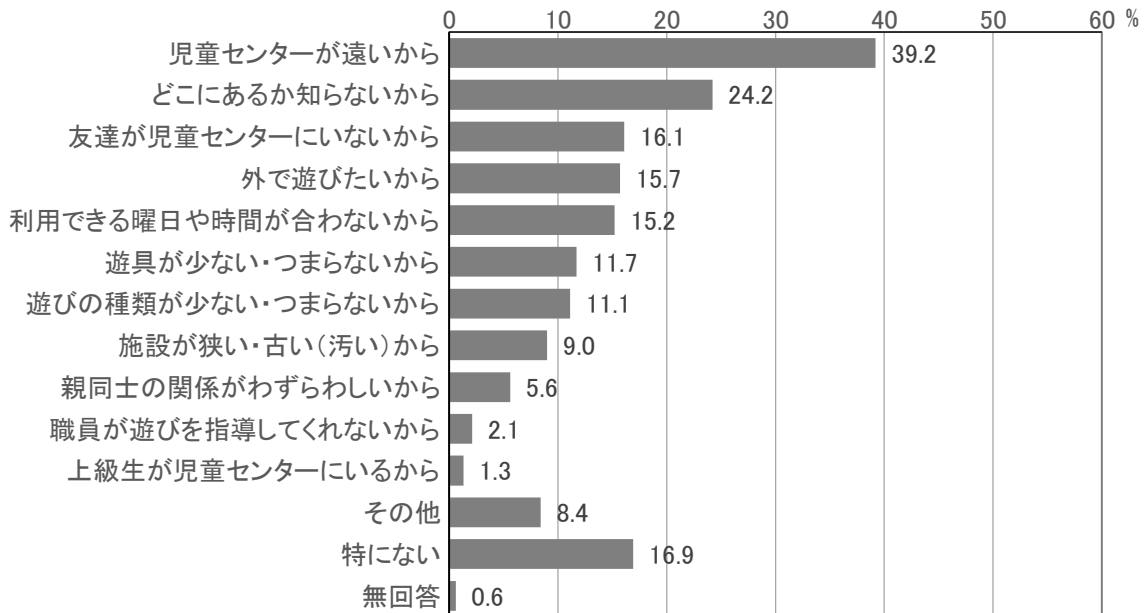
問 16-2 児童センターや児童館を利用していない理由は何ですか。(複数回答)

児童センターや児童館を利用していない理由は、「児童センターが遠いから」が 39.2%で最も高く、次いで「どこにあるか知らないから」が 24.2%、「特にない」が 16.9%となっています。

地区別でみると、栗橋東中学校区、栗橋西中学校区、鷺宮中学校区では「どこにあるか知らないから」が3割を超えて最も高くなっています。また、問 16 で利用割合の高かった太東中学校区では「施設が狭い・古い(汚い)から」が、菖蒲中学校区では「利用できる曜日や時間が合わないから」がそれぞれ2割強となっています。

「遠いから」や「どこにあるか知らない」といった項目に対する回答が多く、身近な存在の児童センターや児童館が求められているといえます。

(n=521)



◇地区別

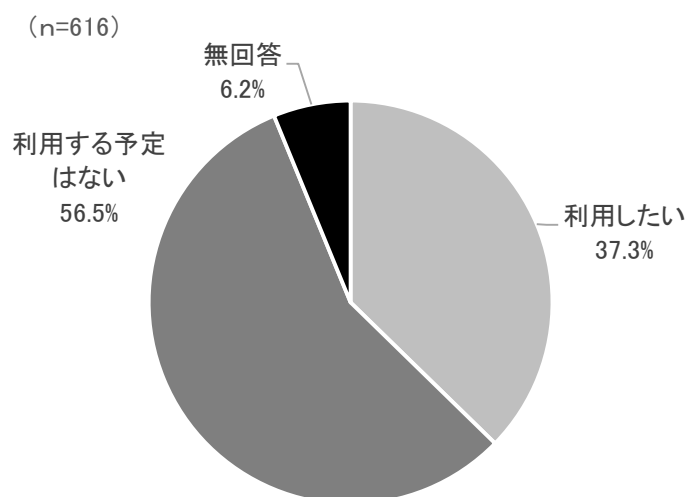
地区	n	表示: %													
		どこにあるか知らないから	児童センターが遠いから	遊具が少ないから・つまらないから	遊びの種類が少ないから	外で遊びたいから	友達が児童センターにいないから	上級生が児童センターにいるから	親同士の関係がわずらわしいから	職員が遊びを指導してくれないから	(汚い)から・古い施設が狭いから	利用できる曜日や時間が合わないから	その他	特にない	無回答
久喜中学校区	75	29.3	58.7	13.3	10.7	4.0	9.3	-	5.3	1.3	10.7	16.0	4.0	6.7	-
久喜南中学校区	37	21.6	70.3	8.1	16.2	13.5	16.2	-	8.1	-	10.8	16.2	2.7	13.5	-
久喜東中学校区	46	10.9	37.0	21.7	13.0	26.1	28.3	2.2	13.0	2.2	10.9	17.4	13.0	8.7	-
太東中学校区	47	2.1	27.7	23.4	19.1	14.9	23.4	-	4.3	8.5	25.5	19.1	10.6	14.9	-
菖蒲中学校区	36	13.9	47.2	11.1	11.1	11.1	16.7	2.8	5.6	2.8	2.8	25.0	11.1	19.4	5.6
菖蒲南中学校区	21	23.8	42.9	-	4.8	9.5	4.8	-	9.5	4.8	4.8	4.8	9.5	28.6	4.8
栗橋東中学校区	63	36.5	31.7	7.9	7.9	19.0	9.5	1.6	3.2	-	1.6	17.5	7.9	20.6	-
栗橋西中学校区	33	30.3	21.2	12.1	9.1	15.2	15.2	6.1	9.1	6.1	3.0	15.2	9.1	24.2	-
鷺宮中学校区	57	33.3	31.6	7.0	5.3	17.5	14.0	-	3.5	-	10.5	8.8	12.3	14.0	-
鷺宮東中学校区	54	27.8	38.9	14.8	16.7	24.1	27.8	-	1.9	1.9	13.0	7.4	7.4	18.5	-
鷺宮西中学校区	28	25.0	21.4	7.1	10.7	17.9	10.7	7.1	3.6	-	3.6	10.7	14.3	32.1	-



問 16-3 児童センターや児童館を、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

児童センターや児童館の今後の利用意向は、「利用したい」が 37.3%、「利用する予定はない」が 56.5%となっています。

現在の利用割合の約 3 倍にあたる割合で利用意向があり、ニーズの高さがうかがえます。

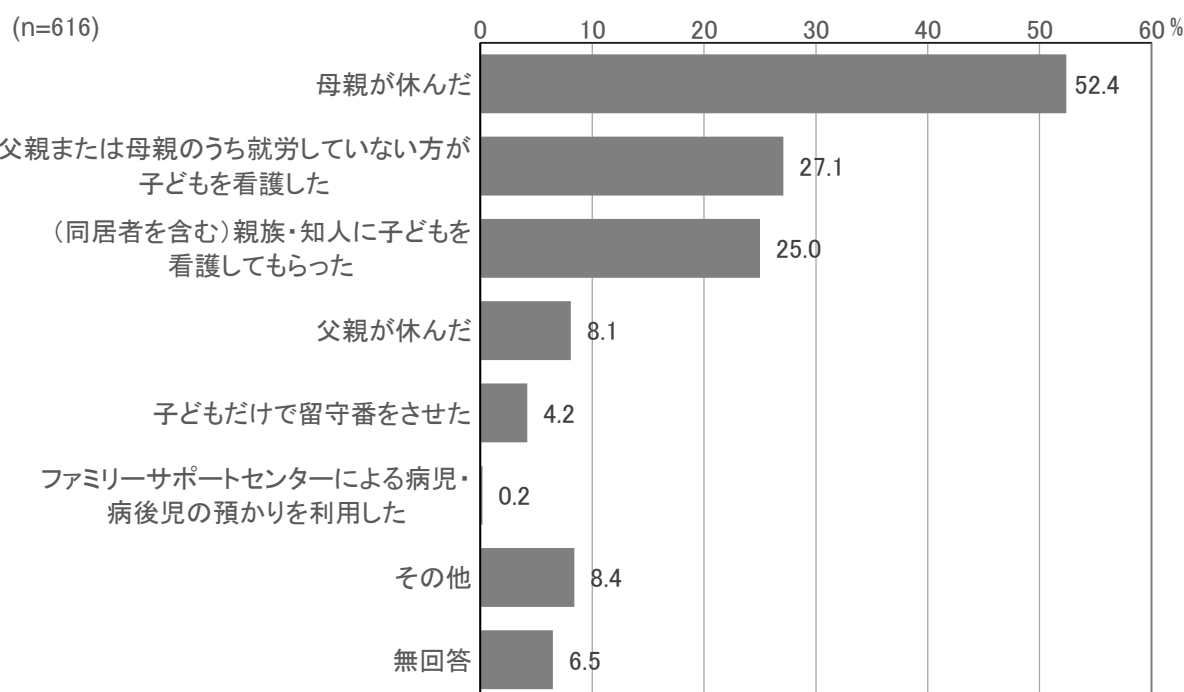


## 6 病気の際の対応について

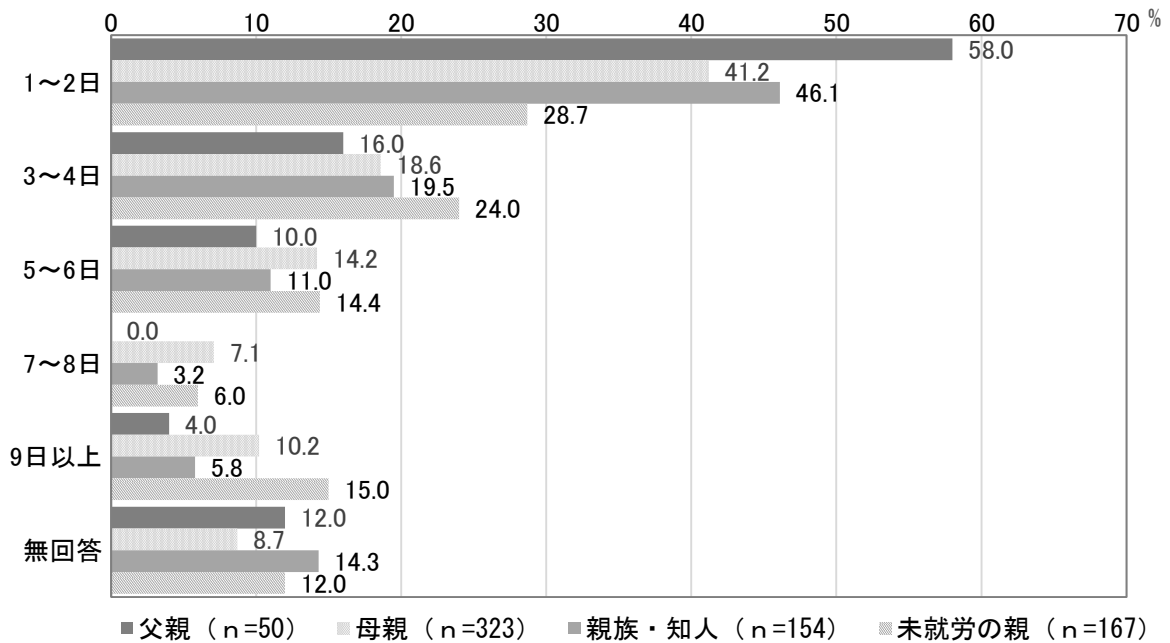
問 17 宛名のお子さまが病気やけがで学校等を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対応はどれですか。それぞれの日数(おおよそ)もご記入ください。(複数回答、数量回答)

病気やけがで学校を休まなければならなかった場合の対応は、「母親が休んだ」が52.4%で最も高く、次いで、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看護した」が27.1%、「親族・知人に子どもを看護してもらった」が25.0%となっています。

対応に要した日数では、父親、母親、親族・知人、未就労の親の対応はいずれも「1～2日」が最も高くなっています。



〔対応に要した日数〕



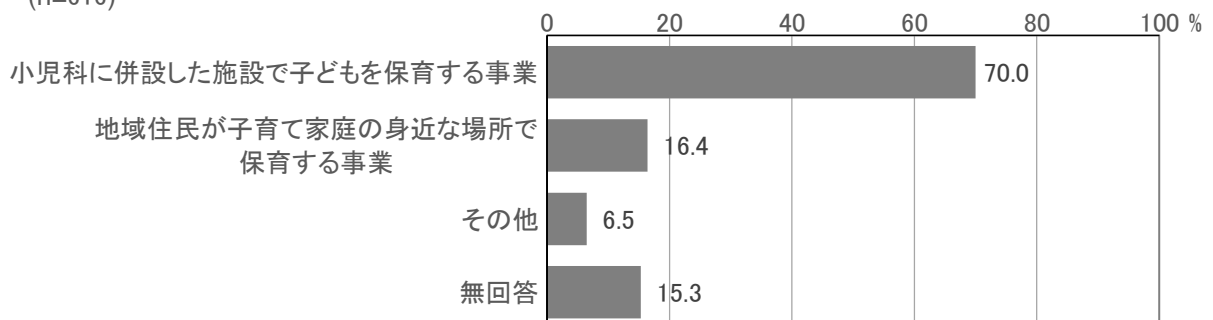
※「ファミリーサポートセンター」、「子どもが留守番」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。また、「その他」は無回答が多いため、同じく結果表のみ掲載。

	ファミリーサポートセンター (n=1)	子どもが留守番 (n=26)	その他 (n=52)
1~2日	0.0	61.5	7.7
3~4日	100.0	11.5	3.8
5~6日	0.0	3.8	0.0
7~8日	0.0	3.8	0.0
9日以上	0.0	0.0	1.9
無回答	0.0	19.2	86.5

問 17-1 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

望ましい事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.0%で高くなっています。

(n=616)



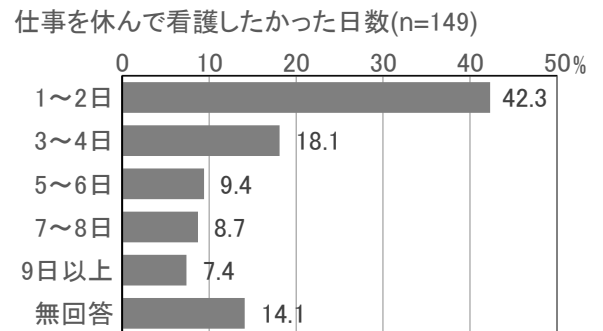
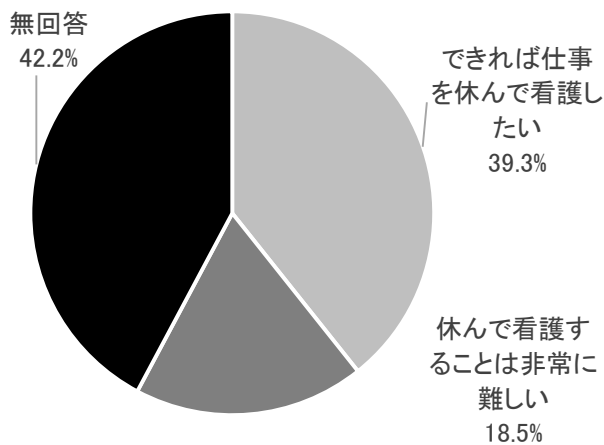
※問 17 で両親が休む以外の対応を選択した方

問 17-2 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。また、問 17 の選択肢「親族・知人」～「その他」で回答した日数のうち、仕事を休んで看護したかった日数（おおよそ）についてもご記入ください。（単数回答、数量回答）

仕事を休んで対応したかどうかについては、「できれば仕事を休んで看護したい」が 39.3%、「休んで看護することは非常に難しい」が 18.5%となっています。

また、休んで看護したかった日数は、「1～2日」が 42.3%で最も高く、次いで「3～4日」が 18.1%、「5～6日」が 9.4%となっています。

(n=379)

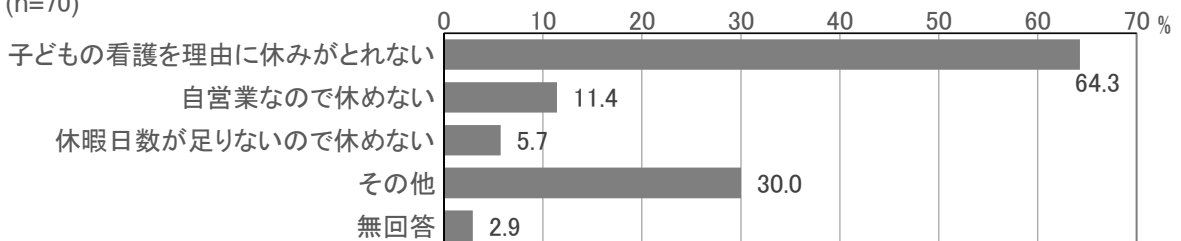


※問 17-2 で「休んで看護することは非常に難しい」を選択した方

問 17-3 そう思われる理由は何ですか。（複数回答）

仕事を休んで看護することは難しいと思う理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 64.3%で最も高く、次いで、「その他」が 30.0%、「自営業なので休めない」が 11.4%となっています。

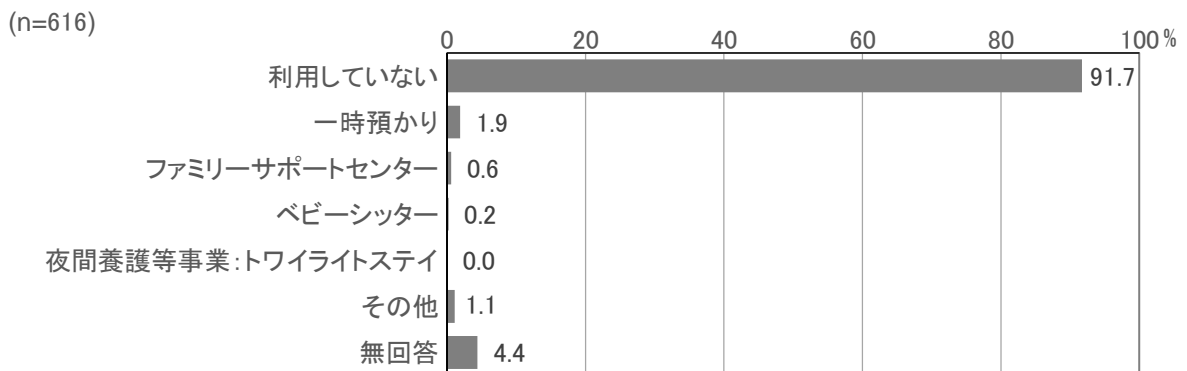
(n=70)



## 7 一時預かりの利用について

問 18 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（複数回答、数量回答）

不定期に利用している事業は、「利用していない」が 91.7%で高く、ほかの項目は 2%未満となっています。



### 〔1年間の利用日数〕

※ 「一時預かり」から「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

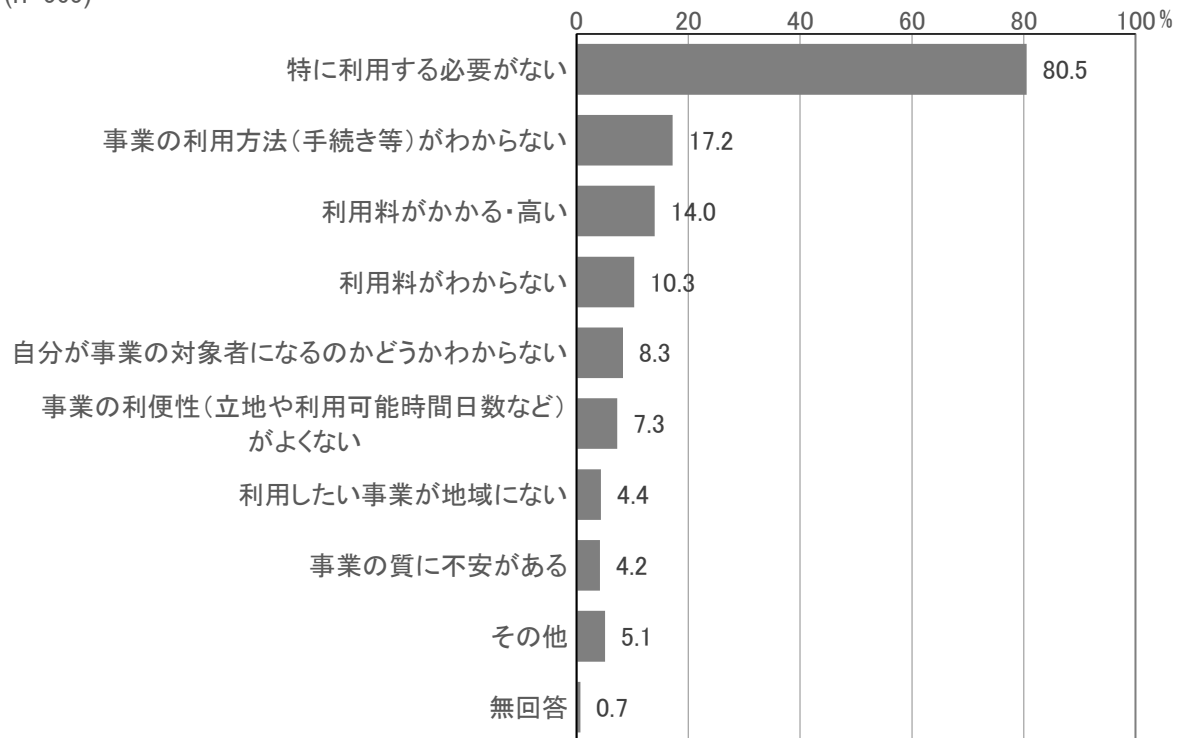
	一時預かり (n=12)	ファミリーサ ポートセンター (n=4)	トワイライトス テイ (n=0)	ベビーシッター (n=1)	その他 (n=7)
1～2日	25.0	25.0	-	0.0	14.3
3～5日	16.7	0.0	-	0.0	0.0
6～9日	0.0	0.0	-	0.0	0.0
10～14日	16.7	0.0	-	0.0	0.0
15日以上	25.0	50.0	-	0.0	71.4
無回答	16.7	25.0	-	100.0	14.3

※問 18 で「利用していない」を選択した方

問 18-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 80.5%と高くなっています。次いで、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 17.2%、「利用料がかかる・高い」が 14.0%となっています。

(n=565)

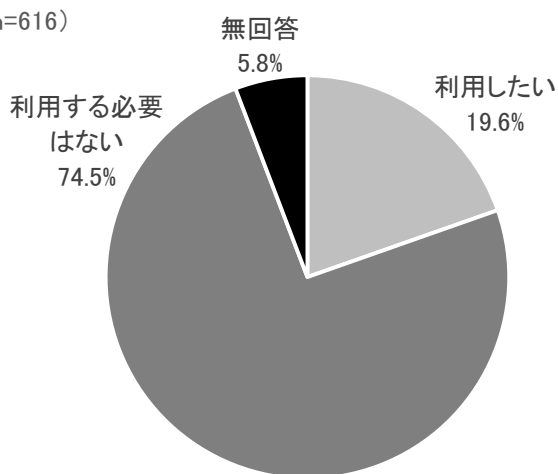


問 19 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。(複数回答、数量回答)

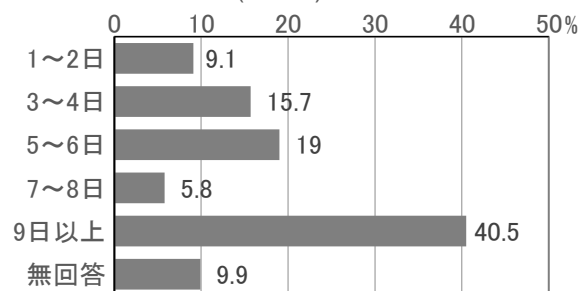
一時預かりの利用希望は、「利用したい」が 19.6%、「利用する必要はない」が 74.5%で多数の割合となっています。また、利用の目的では「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 63.6%で最も高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」が 33.9%、「不特定の就労」が 24.0%となっています。

利用したい日数の合計は、「9日以上」が 40.5%となっています。

(n=616)

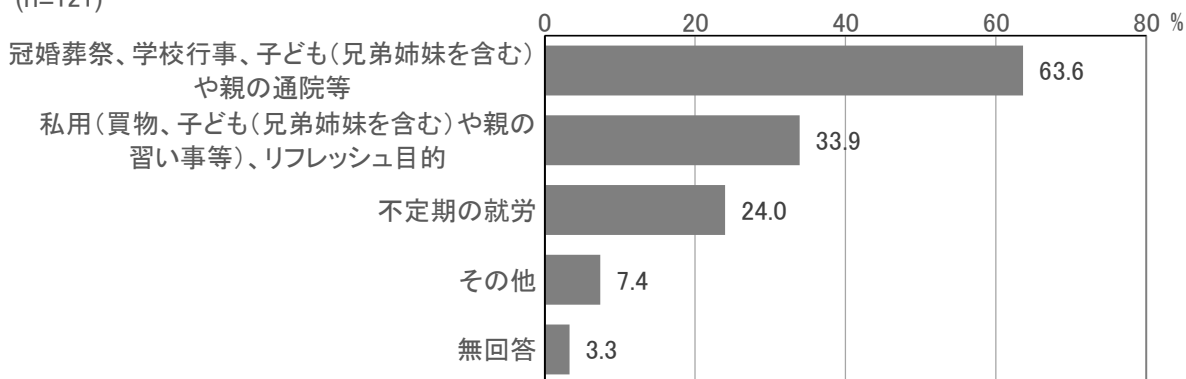


利用したい合計日数(n=121)

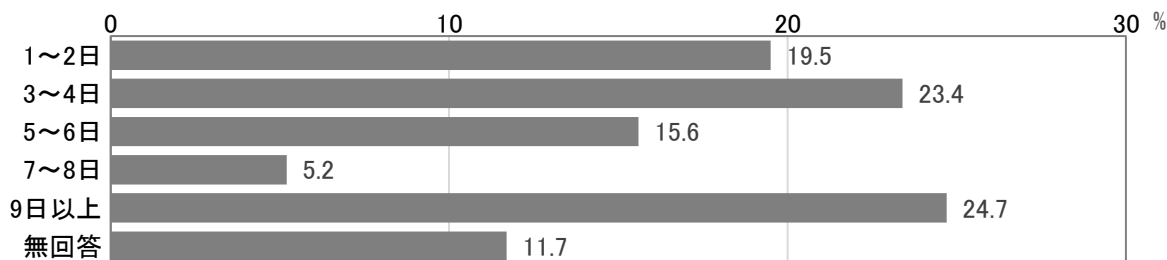


〔利用目的〕

(n=121)



〔利用目的別の利用したい日数〕



■ 冠婚葬祭等 (n=77)

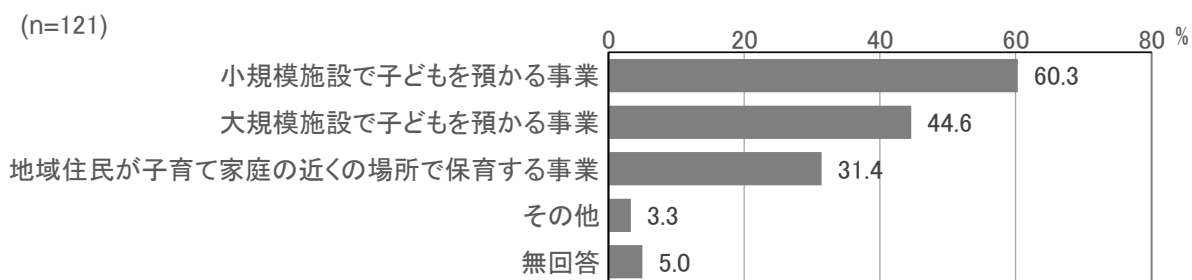
※「私用」、「不特定の就労」、「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	私用 (n=41)	不特定の就労 (n=29)	その他 (n=9)
1～2日	12.2	20.7	0.0
3～4日	24.4	6.9	11.1
5～6日	24.4	24.1	11.1
7～8日	0.0	3.4	0.0
9日以上	26.8	31.0	44.4
無回答	12.2	13.8	33.3

※問 19 で「利用したい」を選択した方

問 19-1 問 19 の目的でお子さまを預ける場合、望ましいと思われる事業形態は何ですか。(複数回答)

お子さまを一時預かりで預ける場合の望ましい事業形態では、「小規模施設で子どもを預かる事業」が 60.3%で最も高く、次いで、「大規模施設で子どもを預かる事業」が 44.6%、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業」が 31.4%となっています。

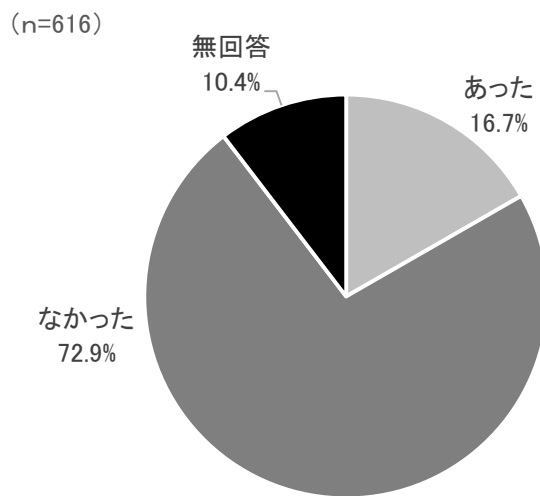




問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さまを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応を選択し、それぞれの日数もご記入ください。（複数回答、数量回答）

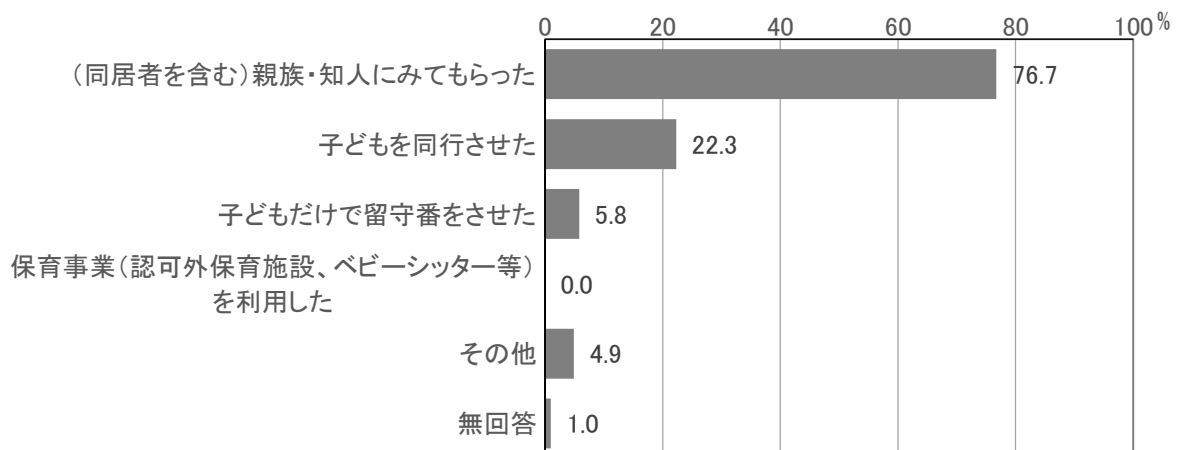
泊りがけでお子さまを家族以外にみてもらわなければならないことは、「あった」が16.7%、「なかった」が72.9%となっています。

あった場合の対応では、「親族・知人にみてもらった」が76.7%で高く、次いで、「子どもを同行させた」が22.3%となっています。対応に要した日数では、「親族・知人にみてもらった」は「1～2泊」が46.8%で最も高くなっています。

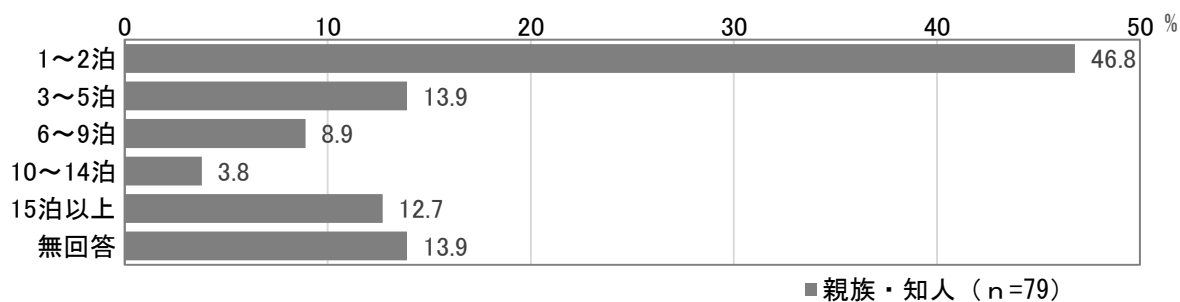


〔泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったときの対応〕

(n=103)



〔対応に要した日数〕



※ 「保育事業利用」、「子どもを同行」、「子ども留守番」、「その他」の項目は、サンプル数が少ないため結果表のみ掲載。

	保育事業利用 (n=0)	子どもを同行 (n=23)	子ども留守番 (n=6)	その他 (n=5)
1~2泊	-	60.9	50.0	0.0
3~5泊	-	4.3	0.0	0.0
6~9泊	-	0.0	0.0	20.0
10~14泊	-	4.3	0.0	0.0
15泊以上	-	4.3	16.7	40.0
無回答	-	26.1	33.3	40.0

## 8 子育て支援施策について

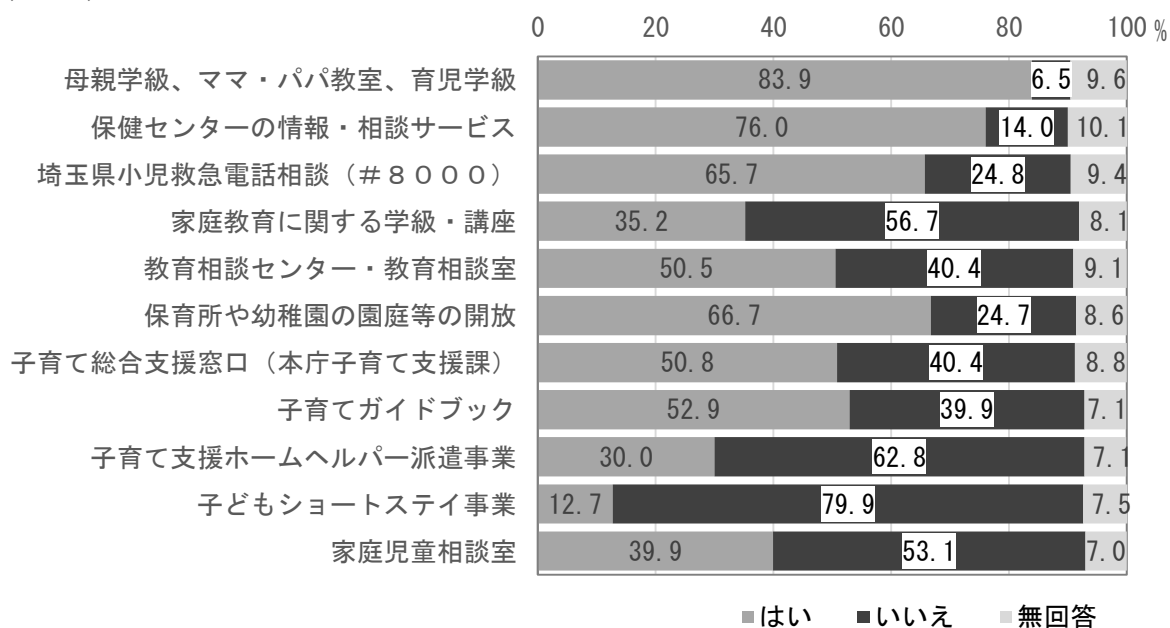
問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(1~11それぞれ、A~Cの項目ごとに単数回答)

周知度の高いものとして、「母親学級、ママ・パパ教室、育児学級」、「保健センターの情報・相談サービス」、「埼玉県小児救急電話相談」、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」の「はい」の割合は65%以上となっています。

一方で、周知度の低いものについては、「子どもショートステイ事業」の「はい」が12.7%で最も低く、次いで、「子育て支援ホームヘルパー派遣事業」が30.0%、「家庭教育に関する学級・講座」が35.2%となっています。

### 〔周知度〕

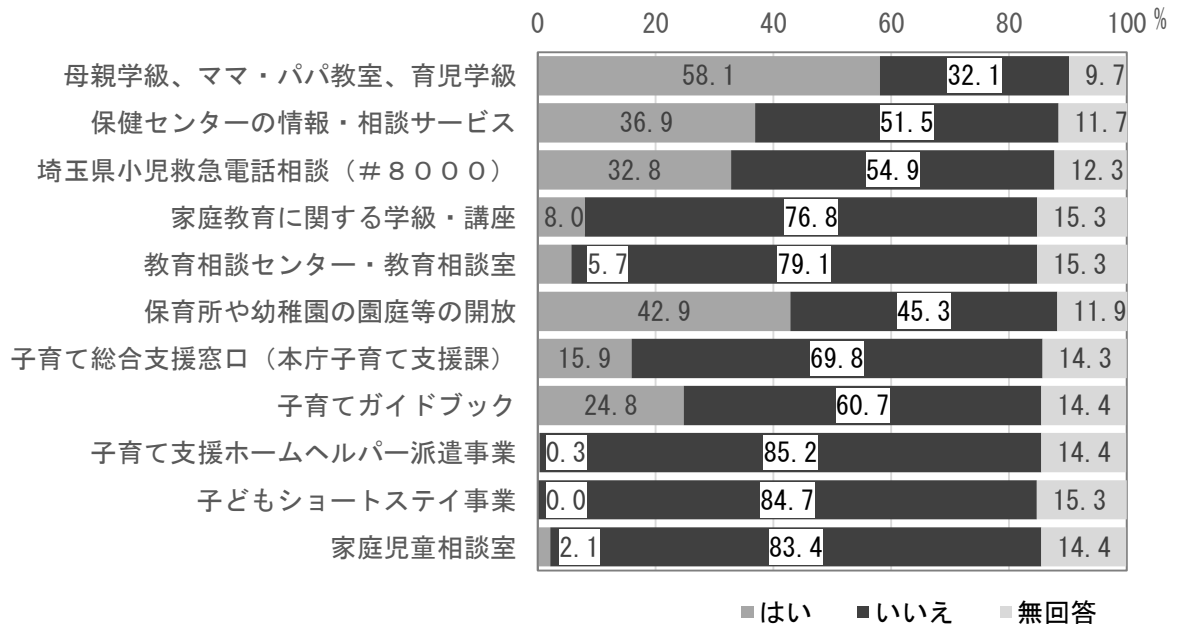
(n=616)



利用経験のあるものでは、「母親学級、ママ・パパ教室、育児学級」が58.1%で最も高く、次いで、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が42.9%、「保健センターの情報・相談サービス」の36.9%となっています。

### 〔利用経験の有無〕

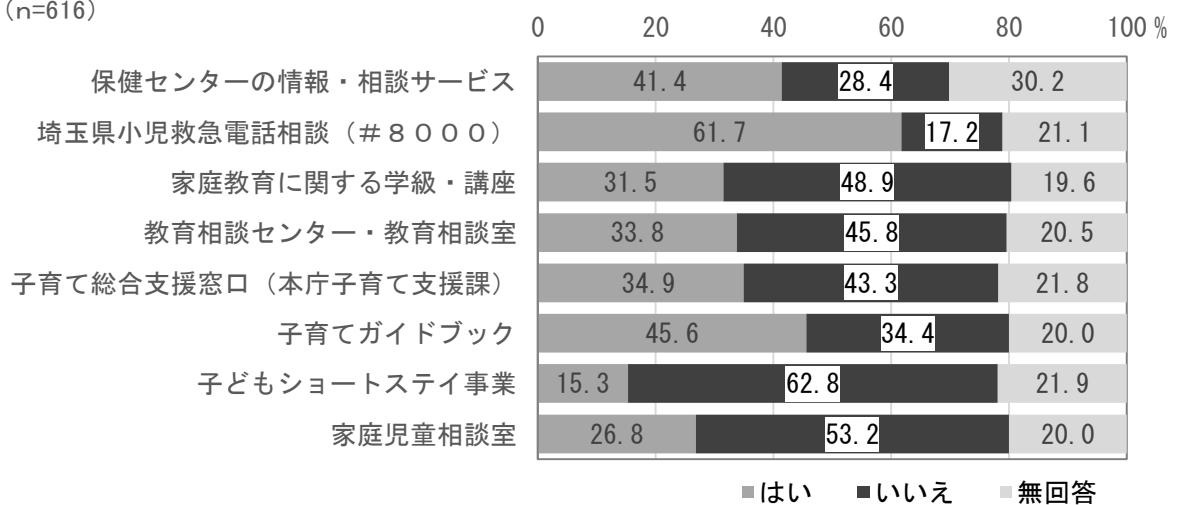
(n=616)



今後の利用意向が高いものは、「埼玉県小児救急電話相談」が61.7%で最も高く、次いで、「子育てガイドブック」が45.6%、「保健センターの情報・相談サービス」が41.4%となっています。

### 〔今後の利用意向〕

(n=616)

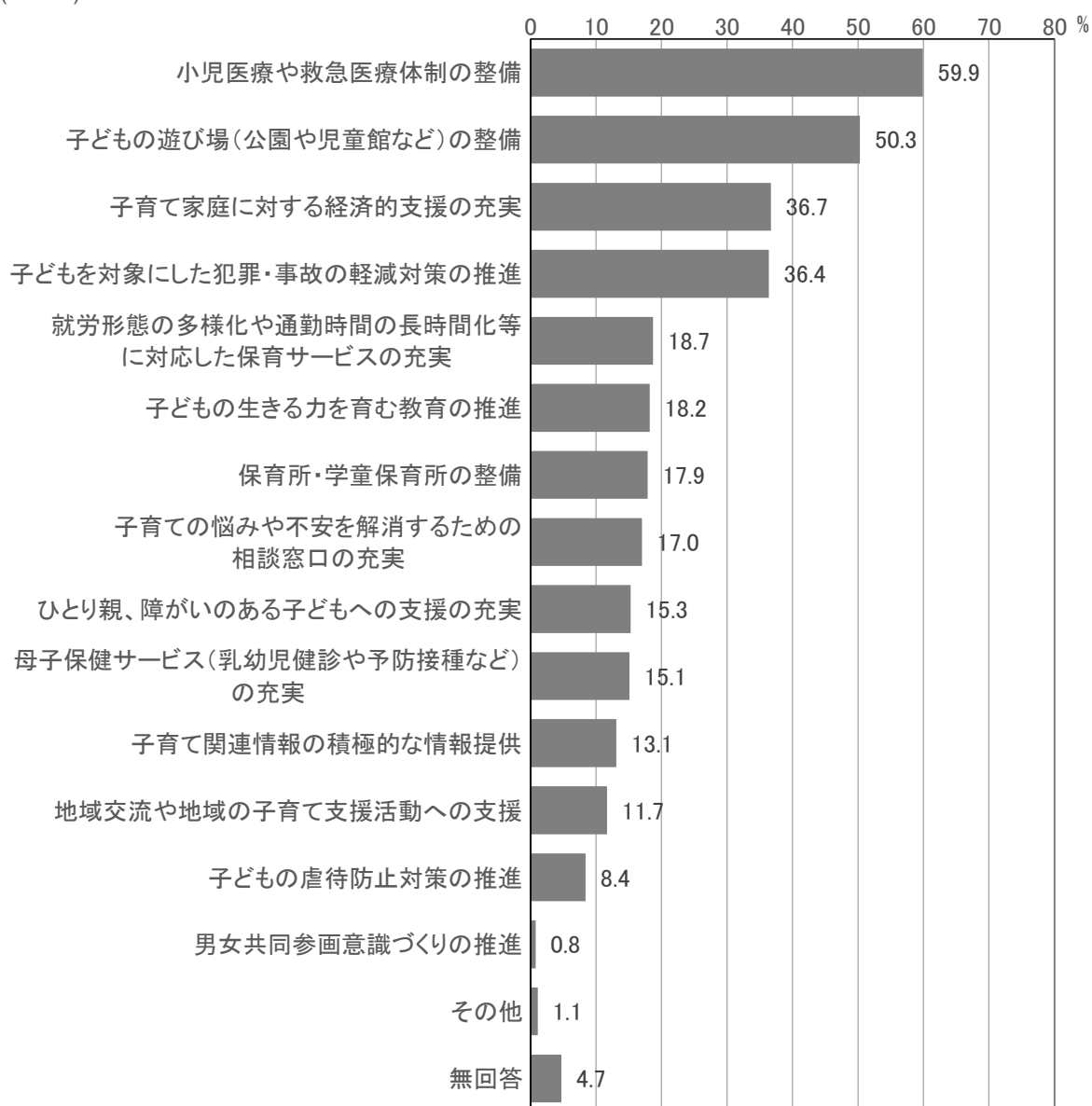


問 22 今後、久喜市の子育て環境を良くしていくために、ぜひ充実していくべきだと思うものはありますか。(複数回答、3つまで○)

充実していくべきと思うものでは、「小児医療や救急医療体制の整備」が 59.9%で最も高く、次いで、「子どもの遊び場の整備」が 50.3%、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が 36.7%となっています。

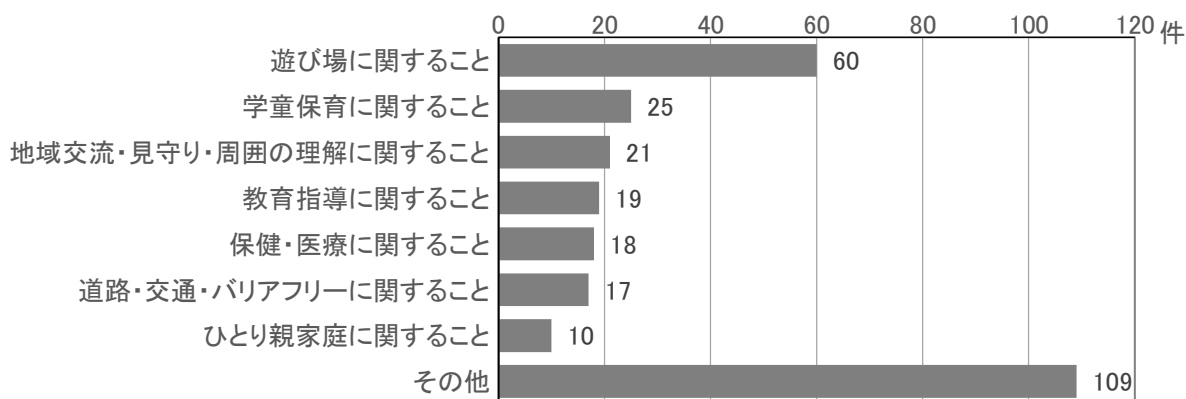
「小児医療や救急医療体制の整備」と「子どもの遊び場の整備」の回答の高さは、就学前児童調査や問 11 の必要とする情報の結果とも符合しており、「医療サービス」と「遊び場」に対する児童、保護者のニーズは高いといえます。

(n=616)



最後に、教育・子育ての環境や支援に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

自由記述には、244人（616人の39.6%）、延べ279件の書き込みがありました。最も件数の多かった項目は「遊び場に関すること」で60件、次いで「学童保育に関すること」が25件、「地域交流・見守り・周囲の理解に関すること」が21件となっています。



※10個以上意見のあった項目を掲載、それ以下のものは「その他」にまとめて集計しています。

以下に、それぞれの項目の主な意見を抜粋して掲載します。

#### ◇遊び場に関すること

- ・公園がとにかく少なく、近所では外遊びをしている子どもがほとんどいません。
- ・外で子ども同士が安心して遊ぶ事が難しくなっていると感じます。子ども同士で考える力等を学ぶ場も少なくなっている気がします。
- ・公園はたくさんあると思いますが、遊具が充実していないのが残念に思います。
- ・子どもは集団の中での心の成長がとても大切だと思います。公園の設備を充実してもらいたいです。
- ・子どもプレイパーク（冒険あそび場）など久喜市の子どもたちが安心して元気に遊べる場所づくりを是非つくっていただけたらと思います。

#### ◇学童保育に関すること

- ・長期休みのみの受け入れも可能としてほしいです。
- ・6年生まで学童保育を利用できると安心して働けます。

- ・学童保育所に預けていますが、子どもの人数に対し支援してくださっている方の人数が少ないのか、いろいろトラブルが多いように感じます。

#### ◇地域交流・見守り・周囲の理解に関すること

- ・悪い事は必ず注意し、子どもばかりじゃなく大人も変わるべき。
- ・朝の登校時の旗振り当番は保護者もしておりますが、共働き家庭はどうしても下校時は時間がとれない方もおりますので、地域のシルバー世代の方に協力していただけるとありがたいと思います。
- ・子どもたち自身が考えて行動できる環境を大人が配慮してあげたいと考えます。

#### ◇教育指導に関すること

- ・小学校のクラスを25～30人にすべき。一人ひとりに教育がいきわたるようにすれば学力向上にもつながり、先生方の負担も軽減する。

- ・小学校にもスクールカウンセラーを配置してほしい。
- ・道徳規準を高めるための授業や教え方、教育プログラムをもっと増やしてほしいと思います。

#### ◇保健・医療に関すること

- ・インフルエンザの予防接種についてもっと助成があれば良いと思う。
- ・夜中、子どもが体調が悪くなった時、頼れる医療機関がありません。年末年始、土日、祝日も同様です。
- ・小児救急電話相談を使ったことがあります、あまり役に立たないと感じました。医者情報を教えてくれるだけで、実際見てもらえるかどうかは自分で電話して確認するしかない。もう少し何とかならないのでしょうか。

#### ◇道路・交通・バリアフリーに関すること

- ・通学路の整備（ガードレールの設置等）を早くやってほしいです。
- ・通学路に歩道が無い所が多く、子どもたちの安全がとても心配です。
- ・外灯を明るく、増やしてほしい。

#### ◇ひとり親家庭に関すること

- ・父子家庭にも手厚い対策をしてほしい。
- ・フルタイムで働いていてもひとり親家庭で学童を利用するのは経済的に厳しいです。利用している人の中には共働きの人もあるから利用料金を収入別にするか、ひとり親家庭は割安にするとかあれば良いと思います。

## 久喜市子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書

---

発行年月：平成 26 年 3 月

発行編集：久喜市 福祉部 子育て支援課

〒346-8501

埼玉県久喜市下早見 85-3

Tel：0480（22）1111

Fax：0480（22）3319